

# SHARP®

## シアタープロジェクター

エックス プイ ゼット

# 形名 XV-Z9000

## 取扱説明書



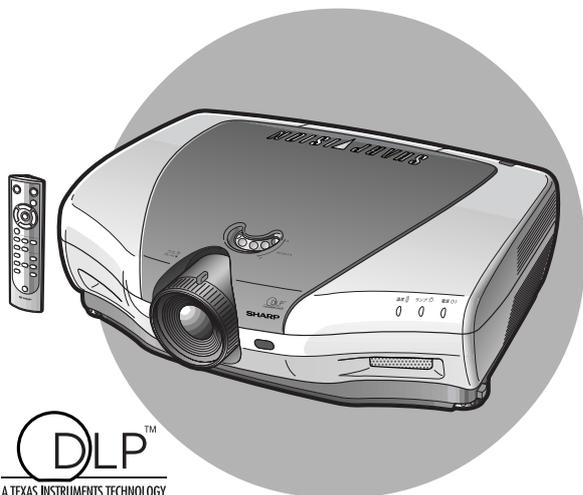
このたびはシャープシアタープロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……6ページ

保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保管してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。



DLP™  
A TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY

はじめに

設置と接続のしかた

基本操作

便利な機能を使う

付録

正しくお使いいただくために

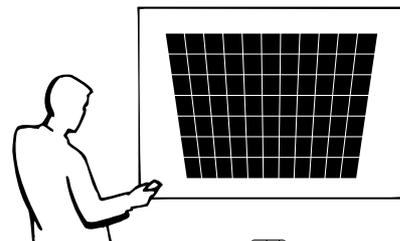
# 特長

## 高精細 / 高画質設計

1. ワイドハイビジョン(1280×720)DLP™方式採用  
表示方式に次世代の映画上映システムとしても注目を集めるDLP™方式採用  
1280×720画素というワイドアスペクト比のDMD™素子を搭載、750pのハイビジョン信号などのワイド画面ソフトも劣化のない高精細映像で再生可能
2. 高コントラスト比(1100:1)を実現  
映画フィルム並みの深い黒を再現し、暗部が引き締まった階調豊かな映像を表現  
プライマリーカラーホイールや5倍速シーケンシャル方式など、映画鑑賞用に最適化した光学システムにより、高い色再現性を実現
3. 高品質なビデオ映像を実現する、シャープ独自の高画質IC搭載  
様々な画像を最適化する「高性能動き適応型IP変換」、「高性能スケーリング技術」、「高画質輪郭補正」、「10ビットダイナミックガンマ補正」機能を1チップに集約し搭載

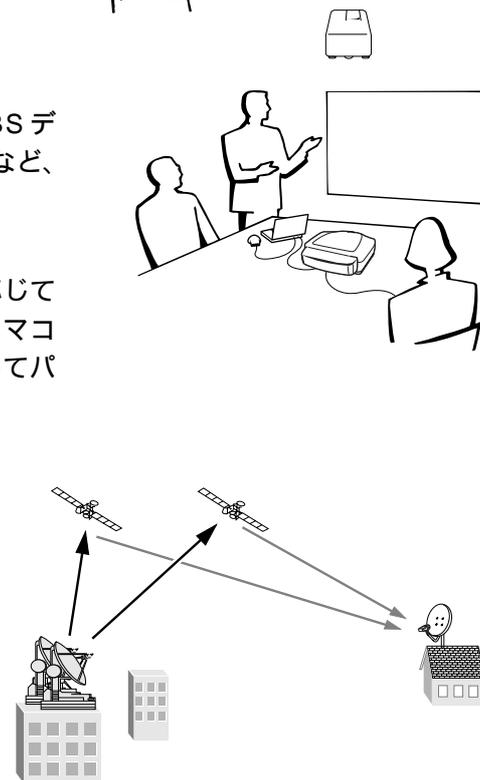
## 快適なホームシアター環境を提供

1. 静音設計  
排気ファンに風切り音が少ないシロッコファンを採用。またファンから排気口までの間に設けたダクトは長風路化と音をいくつかの仕切られた消音室を通すことにより、静音を実現しました。
2. 様々な設置環境に対応する多彩な機能  
画面を上下に移動できる“レンズシフト機能”、画面の拡大/縮小が可能な“ズームレンズ”(1.35倍)および天吊対応など様々な設置環境にフレキシブルに対応します。
3. 映画ソフトの再生に適した「シアターモード」  
視聴する部屋の環境に応じて明るさを切換えられる「シアターモード切換機能」を搭載。映画鑑賞に快適なシアター環境を実現します。  
(シアターモード：ブライต์時800ANSIルーメン、シアターモード：標準時600ANSIルーメン)



## その他の特長

1. BSデジタルハイビジョン放送対応  
通常のビデオ信号はもちろん、DVDのコンポーネント信号、BSデジタルハイビジョン信号(525i / 525p / 750p / 1125i)など、最新の画質映像ソースに対応します。
2. ユーザーガンマ調整機能  
ガンマ補正値を4モード(プリセット)内蔵し、映像ソースに応じて切換えが可能。さらに“ユーザー設定モード”では同梱のガンマコントロールソフトウェア“Sharp Vision Manager”を使用してパソコン上できめ細かく調整できます。(RGB独立で調整可能)
3. 色温度設定機能  
5500Kから11000Kまで7つの色温度設定値から視聴ソースに応じたお好みの色温度が選択できます。
4. 使い勝手の良い調整メニュー/リモコン  
明るさ、コントラスト、色あいなど、多彩な画質の調整が視覚的に行えるアイコンベースのプルダウン式調整メニューを装備。また、使用頻度の高いガンマ補正や色温度設定、入力切換えがワンタッチでダイレクトに行える新設計のリモコン(バックライト付き)を採用しています。





# もくじ

## はじめに

	ページ
特長 .....	2
もくじ .....	3
PDF 取扱説明書の見かた( Windows, Macintosh) ..	4
付属品を確認する .....	5
安全に正しくお使いいただくために .....	6
使用上のご注意 .....	10
海外でご使用になるときは .....	11
各部のなまえ .....	12
本体 .....	12
リモコン .....	15
ターミナルカバーの取り付けかた .....	16
レンズキャップの取り付け・取り外しかた .....	16
リモコンの使いかた .....	17
乾電池の入れかた .....	17
リモコンの使用範囲 .....	17
ワイヤードリモコン端子について .....	18

## 設置と接続のしかた

設置のしかた .....	20
アジャスターの使いかた .....	20
スクリーンを設置する .....	21
接続のしかた .....	24
接続例 .....	24
電源コードの接続 .....	24
プロジェクターに AV 機器を接続する .....	25
コンピュータと接続する .....	29
シリアル RS-232C 端子へ接続する .....	30

## 基本操作

投射のしかた .....	32
電源を入れてから切るまで .....	32
シアター(明るさ)モードを切換えるとき .....	34
色温度を調整するとき .....	34
レンズ調整 .....	35
レンズシフトダイヤルの使いかた .....	35
画面の台形歪みを補正する .....	36
メニューの使いかた .....	37
メニュー表示内容一覧 .....	37
メニュー項目別の設定調整内容一覧 .....	39
メニューの基本操作 .....	40
映像を調整する .....	42
ビデオ、DVD プレーヤーなどの映像を調整する ..	42
RGB またはコンポーネント(色差)信号の種類を選ぶ ..	43
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する ..	44
映像に合ったプログレッシブモードを選択する ..	46
コンピュータの画面を調整する .....	47
コンピュータの映像を調整する .....	47
自動同期調整が OFF のとき .....	48
自動同期調整を設定する .....	50
自動同期調整時の画面表示機能 .....	52
画面調整の内容をメモリー登録する / 呼び出す ..	54
特殊モード設定 .....	58
映像の左右反転 / 上下反転のしかた .....	60

## 便利な機能を使う

	ページ
ガンマ補正 .....	62
画像表示モードを選ぶ .....	63
省電力モードを選ぶ .....	64
自動電源オフ機能 .....	65
画面表示設定機能 .....	66
ノイズを軽減する( DNR ) .....	68
字幕調整をする .....	69
D 端子制御を設定する .....	70
入力信号を確認する .....	71
無信号時に表示する画面を設定する .....	72
シアター(明るさ)モード切換えのしかた .....	74
RS-232C の通信速度を設定する .....	75
画面表示言語を選ぶ .....	76
調整内容を一覧表示する .....	77
ランプについて .....	78
ランプ使用時間を確認するには .....	78

## 付録

本体のコネクタのピン配置 .....	80
RS-232C ポート仕様 .....	81
コンピュータによるプロジェクターの制御について ..	81
コマンド一覧 .....	82
ワイヤードリモコン端子仕様 .....	84
RGB 入力信号(推奨信号)について .....	85

## 正しくお使いいただくために

お手入れのしかた .....	88
フィルターのお手入れ .....	89
お知らせ表示について .....	90
ランプについて .....	91
ランプ交換お知らせ機能について .....	91
故障かな?と思ったら .....	92
アフターサービスについて .....	93
お客様ご相談窓口のご案内 .....	94
仕様 .....	96
寸法図 .....	97
用語集 .....	98
索引 .....	99



# PDF 取扱説明書の見かた(Windows, Macintosh)

本機に付属の CD-ROM の中には、「Sharp Vision Mmanager」の PDF 取扱説明書が添付されています。この PDF 取扱説明書を見るためには、Adobe 社の Acrobat Reader4.0J が必要です。お持ちのコンピュータ (Windows や Macintosh コンピュータ) に Acrobat Reader4.0J がインストールされていない場合は、付属の CD-ROM からインストールすることができます。

## Acrobat Reader を付属の CD-ROM からインストールする

### Windows コンピュータの場合

- ① CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- ② "マイ コンピュータ" アイコンをダブルクリックする。
- ③ "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- ④ "ACROBAT" フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "WINDOWS" フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ "JAPANESE" フォルダをダブルクリックする。
- ⑦ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

### Macintosh コンピュータの場合

- ① CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- ② "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- ③ "ACROBAT" フォルダをダブルクリックする。
- ④ "MAC" フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "JAPANESE" フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

その他のオペレーティングシステムをご使用の場合

インターネット (<http://www.adobe.co.jp>) から、Acrobat Reader4.0J をダウンロードしてください。

## PDF 取扱説明書にアクセスする

### Windows コンピュータの場合

- ① CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- ② "マイ コンピュータ" アイコンをダブルクリックする。
- ③ "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- ④ "MANUALS" フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "SVM\_J" フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ Sharp Vision Manager (SVM) の取扱説明書を見たいとき  
"SVM\_J.PDF" ファイルをダブルクリックする

### Macintosh コンピュータの場合

- ① CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- ② "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- ③ "MANUALS" フォルダをダブルクリックする。
- ④ "SVM\_J" フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ Sharp Vision Manager (SVM) の取扱説明書を見たいとき  
"SVM\_J.PDF" ファイルをダブルクリックする

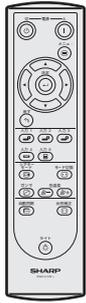
### ! 注意

マウスを使ってダブルクリックしても PDF ファイルを開くことができない場合は、Acrobat Reader4.0J をまず起動させてから、"ファイル" "開く" メニューを使って PDF ファイルを開いてください。

CD-ROM に保存されている readme.txt ファイルには、この取扱説明書に含まれていない重要な情報がありますので、必ずお読みください。



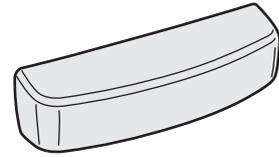
# 付属品を確認する



リモコン



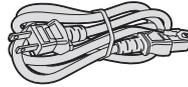
単3形乾電池(2本)



ターミナルカバー



レンズキャップ



電源コード

CD-ROM(SharpVision Manager)  
取扱説明書(本書)  
SharpVision Manager  
取扱説明書  
保証書

## 別売品のご案内

### ケーブル

RS-232Cケーブル(10m)	AN-C10RS(クロス・メス・メスタイプ)
コンピュータRGBケーブル(10m)	AN-C10BM IBM-PC系・PC9821系・PC98NX系用
	AN-C10PC PC98系用(PC9821系・PC98NX系除く)

・パソコン側の接続端子の形状によっては、そのまま接続できない場合がありますので、パソコンの仕様をご確認ください。変換コネクタ(市販品)が必要な場合があります。

25 ページに使用します D 端子ケーブルは、市販品をご使用ください。



# 安全に正しくお使いいただくために

はじめに

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



## 警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



## 注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

## 警告

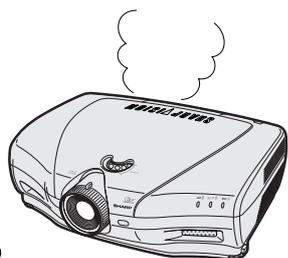
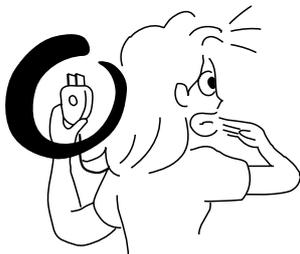
煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



●異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●画面が映らないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



キャビネットは絶対にあけない



●この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

### 高圧注意

●サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

指定された電圧電圧で使用する



●表示された電源電圧(交流100~240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

## 警告

### シアタープロジェクターを落としたときは

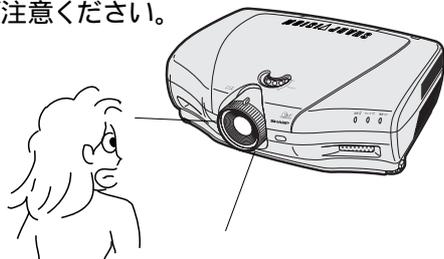


- この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

### レンズをのぞかない



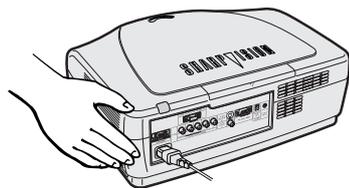
- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



### 高温部には触れない



- 投映中は、排気孔、光源ランプ交換カバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



### 不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

### 天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

### 風呂、シャワー室では使用しない



- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

### 内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

### 上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

### 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

### 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



# 安全に正しくお使いいただくために(つづき)

はじめに

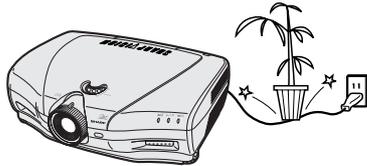
安全に正しくお使いいただくために(つづき)

## 警告

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



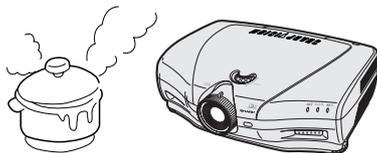
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 注意

湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置かない



- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。冷却ファン部(排気側)は、壁などから30cm以上はなして設置してください。次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。



置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

## ⚠ 注意

### 移動させるときは必ず接続線ははずす



- 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

### 指定以外の電池は使わない

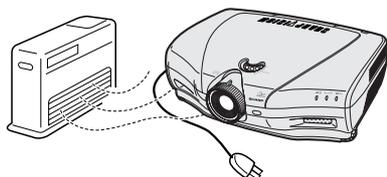


- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

### 電源コードを熱器具に近づけない



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



### 電池を入れるときは極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意する



- 電池をリモコン内に挿入する場合極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

### 電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

### 長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



- 旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

### お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

### 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んででもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

### 3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する



- 3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。



# 使用上のご注意

はじめに

使用上のご注意

## 設置するときにはつぎの点にご注意ください。

### ホコリ、湿気の少ないところへ

湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

### 直射日光や、照明の光はさけてください

スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

### 本機を 5° 以上傾けないように設置してください

設置範囲(水平に対する角度)+ 5°

### 高温、低温の場所はさけてください

使用温度範囲 5 ~ 35

保存温度範囲 - 20 ~ 60

### 排気孔や吸気孔をふさがないように

排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm 以上スキ間をあけて設置してください。

吸気孔をふさがないように設置してください。

冷却ファンがふさがれると、保護機構が働き自動的にランプの電源が切れます。これは故障ではありません。電源プラグをコンセントから抜き、少なくとも 10 分間はそのままにしてください。その後もう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。



温度

### 温度モニター機能

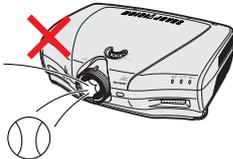
設置状況やフィルターの目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高くなると、「温度」マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度モニターお知らせ表示(ランプ)が点滅し、90 秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については 90 ページの「お知らせ表示について」をご参照ください。

### 注意

冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

### 衝撃を与えないでください

本機のレンズには、特にご注意ください。いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



### 目をときどき休めてください

連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

### 持ち運びのご注意

持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。



### 接続機器について

プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。



## 海外でご使用になるときは

お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、もよりのお客様相談窓口の「一般ご相談窓口」(95 ページ)にお問い合わせください。

- この製品は、クラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

- DLP™ ( Digital Light Processing )、DMD™ ( Digital Micromirror Device ) は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国々における登録商標です。
- PS/2、PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- Adobe Acrobat はアドビシステムズ社の商標です。  
その他製品名等の固有名称は各社の商標または登録商標です。
- 本製品の IC チップの中には、米国 Texas Instruments 社の営業秘密が含まれている IC チップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられております。



# 各部のなまえ

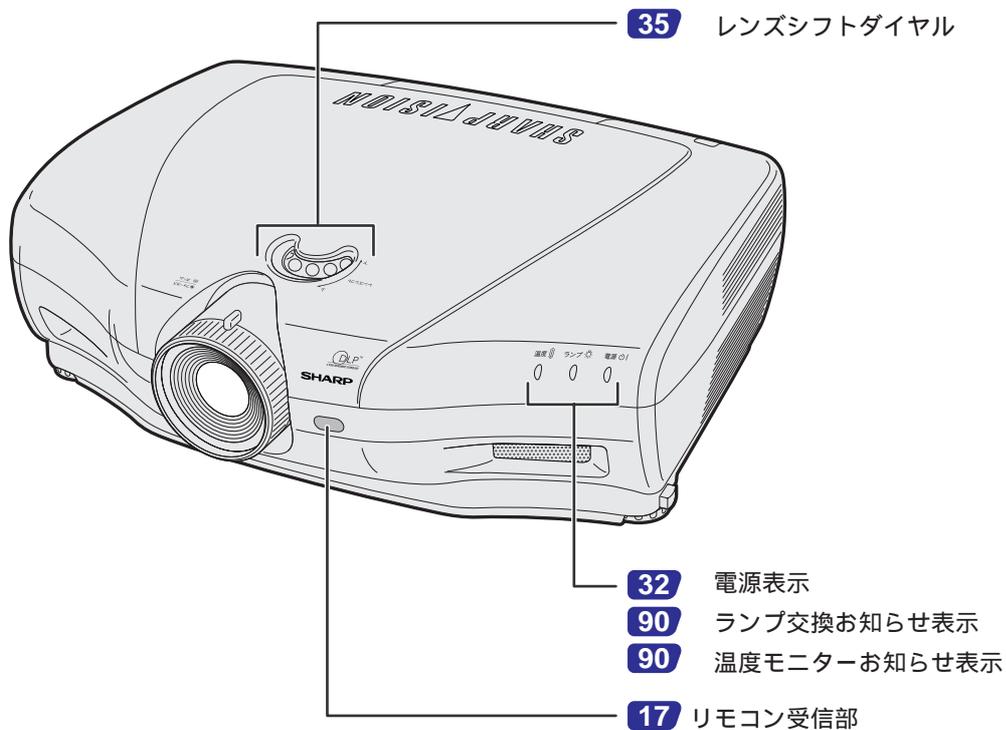
はじめに

各部のなまえ

## 本体

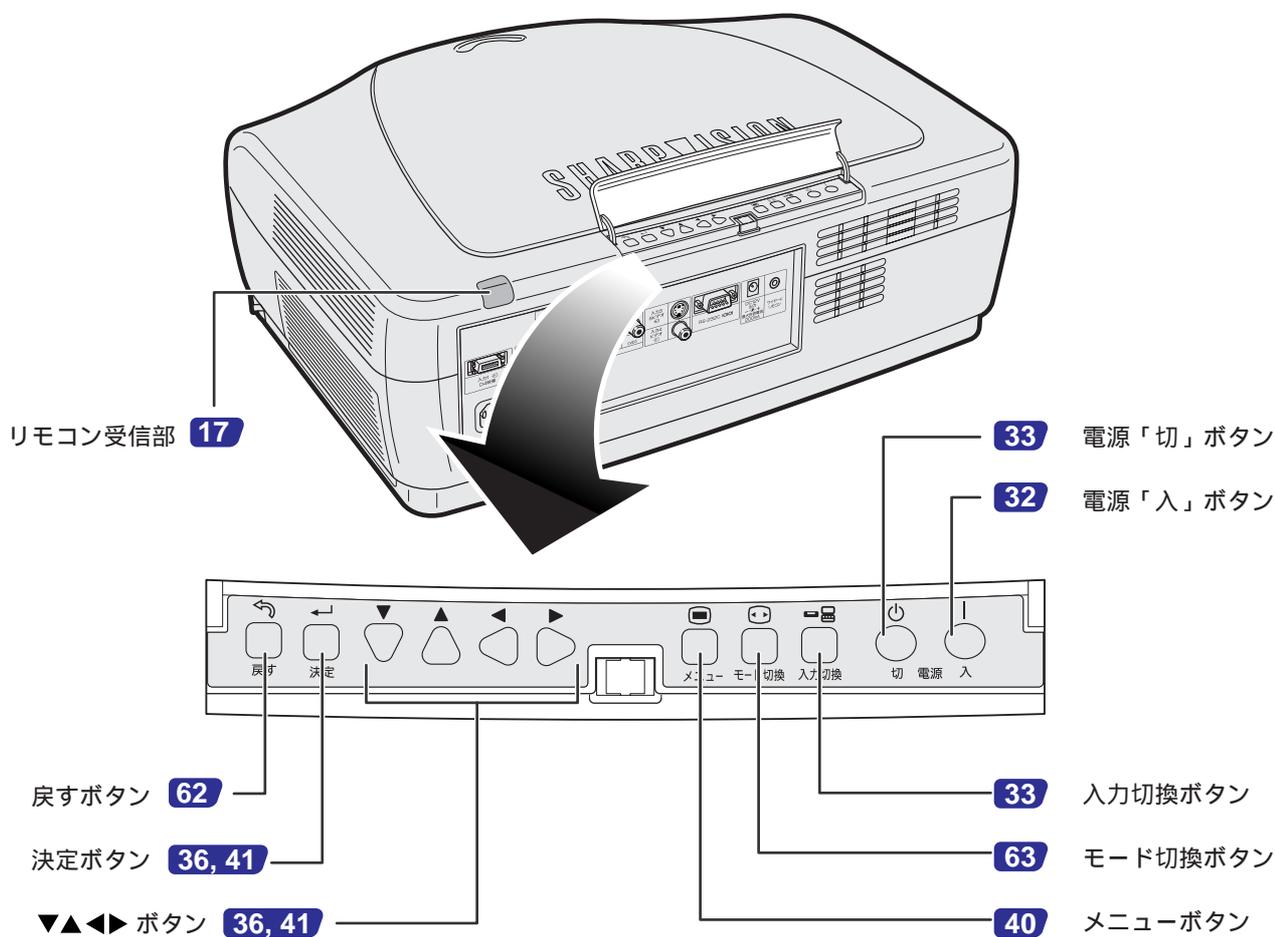
### 正面

■ は参照ページを示しています。



各部のなまえ	はたらき
レンズシフトダイヤル	投射位置を上下に移動します。
電源表示	待機状態では赤色で点灯。電源を入れると青色で点灯します。
ランプ交換お知らせ表示	通常は青色で点灯。赤色で点灯したときはランプ交換が必要です。
温度モニターお知らせ表示	内部温度が高温になると赤色で点灯します。

## 操作部



各部のなまえ	はたらき
戻すボタン	1つ前の操作の状態に戻します。
決定ボタン	メニューで選択調整した項目の決定を行います。
▼▲◀▶ ボタン	メニューの選択や各調整画面で調整を行うのに使用します。
電源「切」ボタン	電源を切ります。
電源「入」ボタン	電源を入れます。
入力切換ボタン	「入力1」～「入力5」に接続された外部機器の入力信号を選択します。
モード切換ボタン	画像表示モードを切換えます。
メニューボタン	メニューを表示させます。



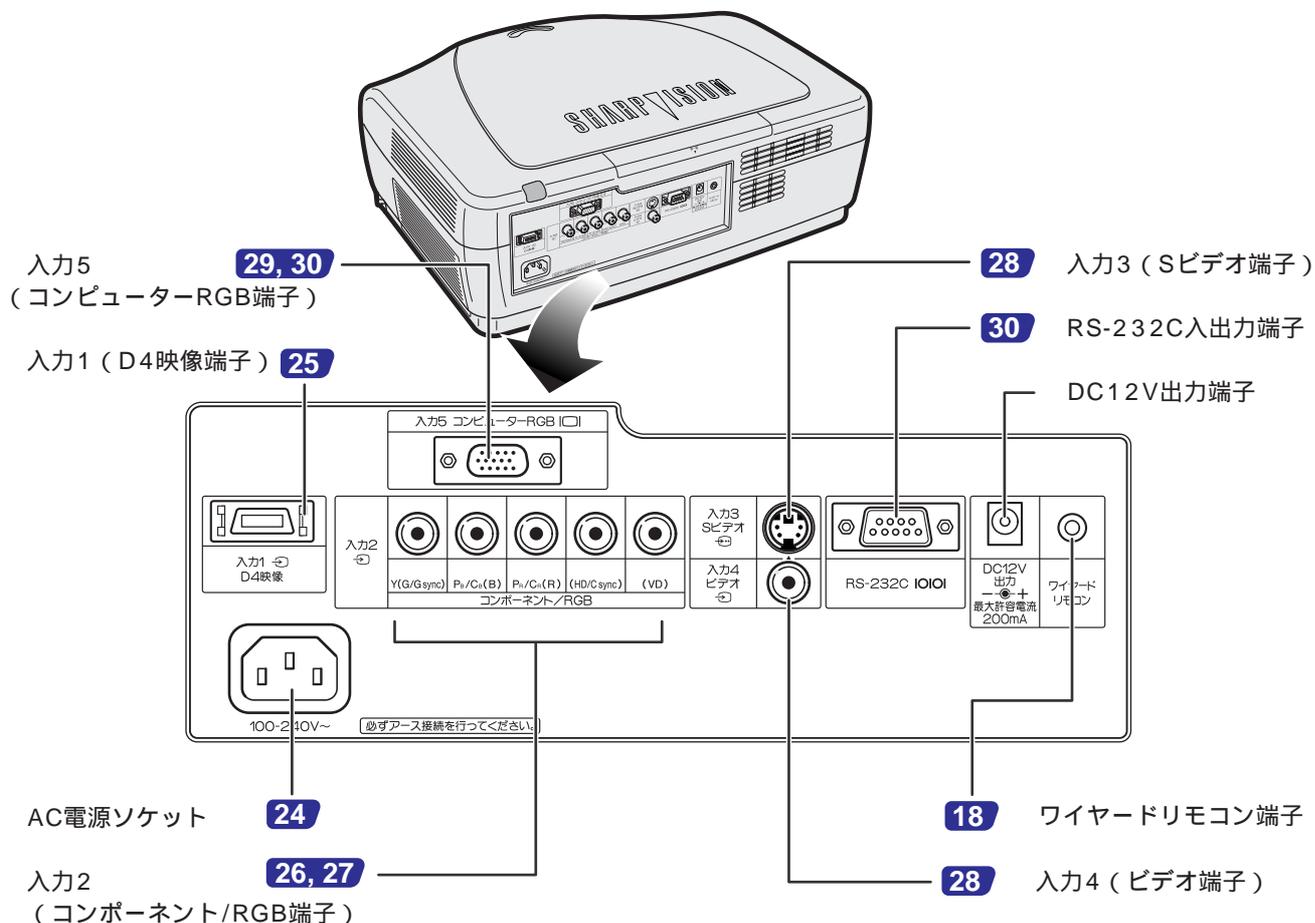
# 各部のなまえ(つづき)

はじめに

各部のなまえ(つづき)

## 後面端子部

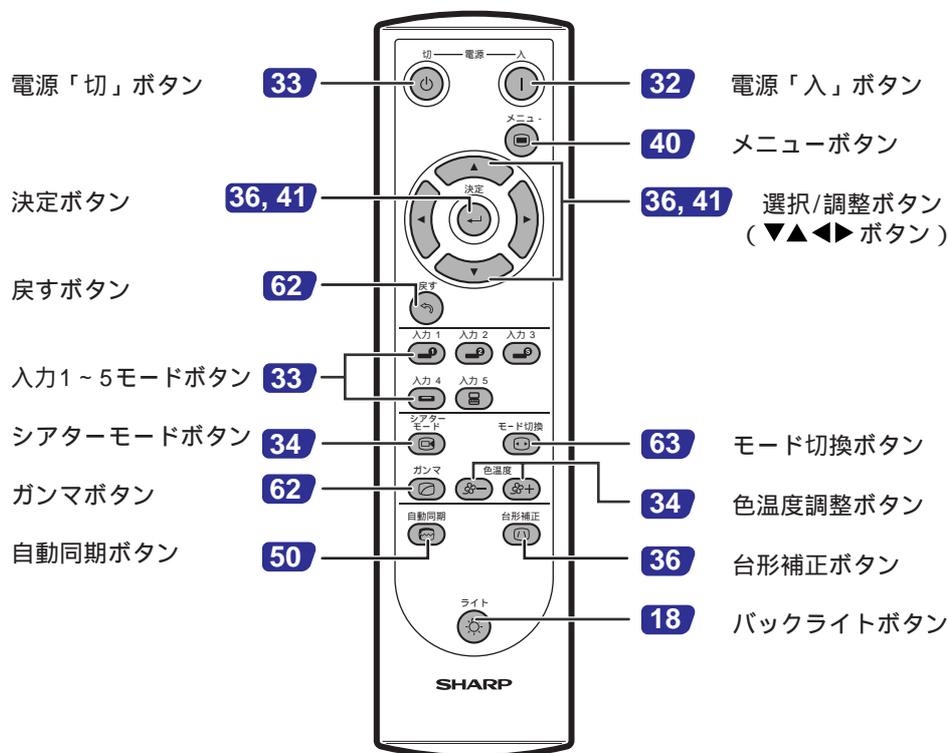
■ は参照ページを示しています。



各部のなまえ	はたらき
入力5 (コンピュータ-RGB端子)	コンピュータ-RGB (15ピンミニD-sub) 接続用端子です。
入力1 (D4映像端子)	D4接続用端子です。
AC電源ソケット	付属の電源コードをつなぎます。
入力2 (コンポーネント/RGB端子)	ピンジャック (3連、5連) を使って機器を接続する場合に使用します。
入力3 (Sビデオ端子)	S端子付ビデオ機器などを接続するときに使用します。
RS-232C入出力端子	RS-232Cケーブル (クロスタイプ・市販品) を使ってコンピュータなどと接続します。
DC12V出力端子	DC12V出力端子です。
ワイヤードリモコン端子	リモコン信号が届かない場所で使用する場合に、リモコンのワイヤードリモコン端子と接続し使用します。
入力4 (ビデオ端子)	ビデオ機器などを接続するときに使用します。

## リモコン

## 上面



## 前面



各部のなまえ	はたらき
電源「切」ボタン	電源を切ります。
決定ボタン	各操作の区切りや選択項目の決定などを行うときに使用します。
戻すボタン	1つ前の操作の状態に戻します。
入力1～5モードボタン	「入力1」～「入力5」に接続された外部機器の入力信号を選択します。
シアターモードボタン	投映される光の量を2段階で切換えることができます。
ガンマボタン	部屋の明るさの違いなどに合わせて、最適な見やすい映像に補正します。
自動同期ボタン	コンピュータの画面を自動調整します。
電源「入」ボタン	電源を入れます。
メニューボタン	メニューを表示させます。
選択/調整ボタン (▼▲◀▶ボタン)	メニューの選択や各調整画面で調整を行うときに使用します。
モード切換ボタン	画像表示モードを切換えます。
色温度調整ボタン	色温度を調整します。
台形補正ボタン	画面の台形歪みを補正します。
バックライトボタン	このボタンを押すと各ボタンが発光します。
ワイヤードリモコン端子	リモコン信号が届かない場所で使用する場合に、リモコンのワイヤードリモコン端子と接続し使用します。

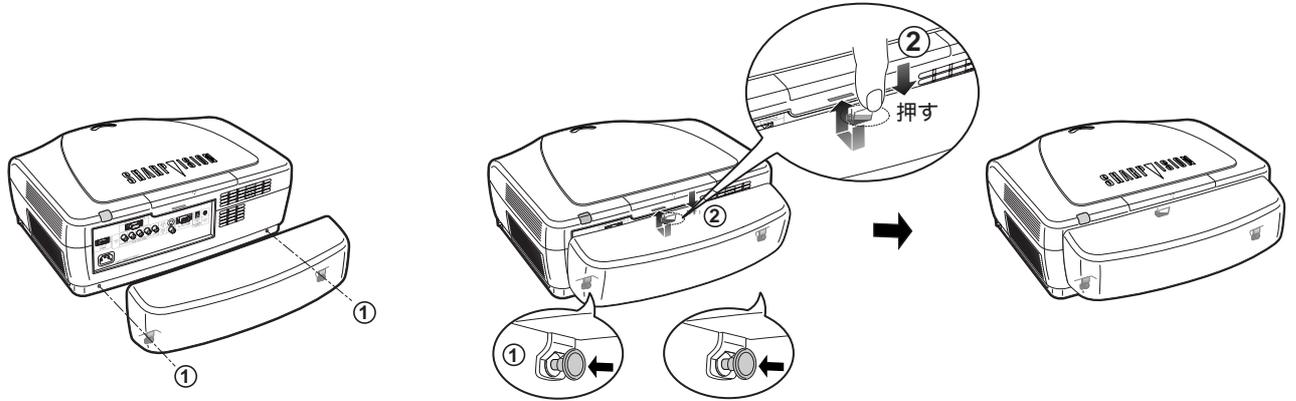


# 各部のなまえ(つづき)



## ターミナルカバーの取り付けかた

ターミナルカバーのツメを本体後方の溝にさし込み、ホックを2つ使用して本体に取り付けます。

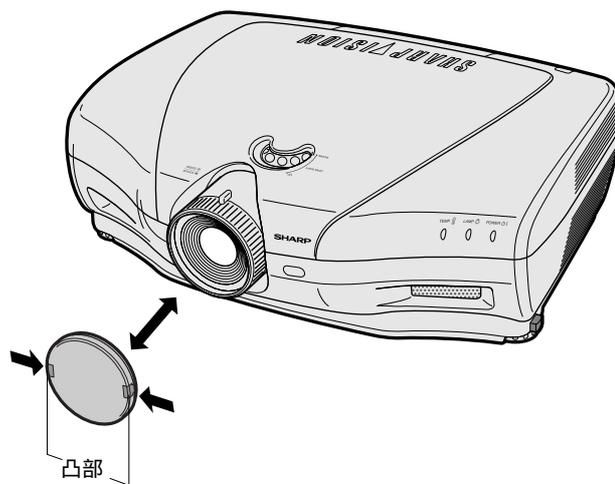


① ターミナルカバーのホックと本体後方のホック差し込み穴を合わせます。

② 矢印の方向にホックを押して、ターミナルカバーを本体に固定します。  
ターミナルカバー内側のツメあたりを指で外側から押しながら本体の取り付け溝に差し込みます。

## レンズキャップの取り付け・取り外しかた

① レンズキャップの凸部を押しながら取り付け・取り外しします。

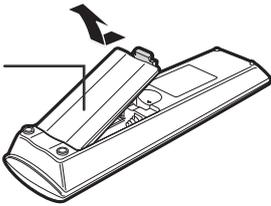
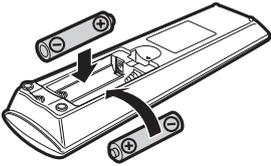
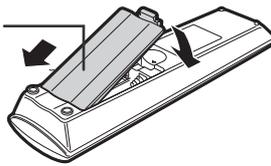




# リモコンの使いかた

## 乾電池の入れかた

乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。〔単3形 R06〕2本

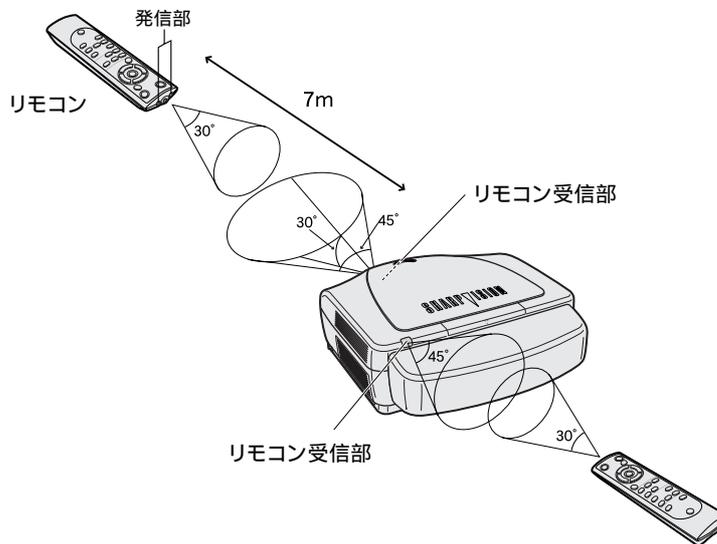
<p><b>1</b> カバーのつめを押して矢印の方向に開けます</p>	<p><b>2</b> 付属の乾電池を入れます</p>	<p><b>3</b> カバーの突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉めます</p>
<p>カバー</p> 	<p>プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。</p> 	<p>カバー</p> 

## リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は下図のとおりです。



リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。





# リモコンの使いかた(つづき)

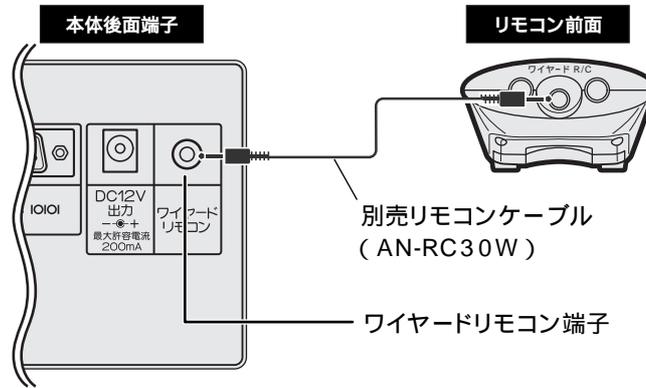
はじめに



リモコンの使いかた(つづき)

## ワイヤードリモコン端子について

プロジェクターの設置方法により、リモコン信号が届かない場合は、別売のリモコンケーブル(AN-RC30W)を使って、リモコンの前面にあるワイヤードリモコン端子と、プロジェクターの後面にあるワイヤードリモコン端子を接続してご使用ください。



### ! 注意

リモコンの使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。

暗いところでリモコンを使うとき



バックライトボタンを押します

バックライトボタンを押すと、約5秒間、各ボタンが光ります。

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

### ! 注意

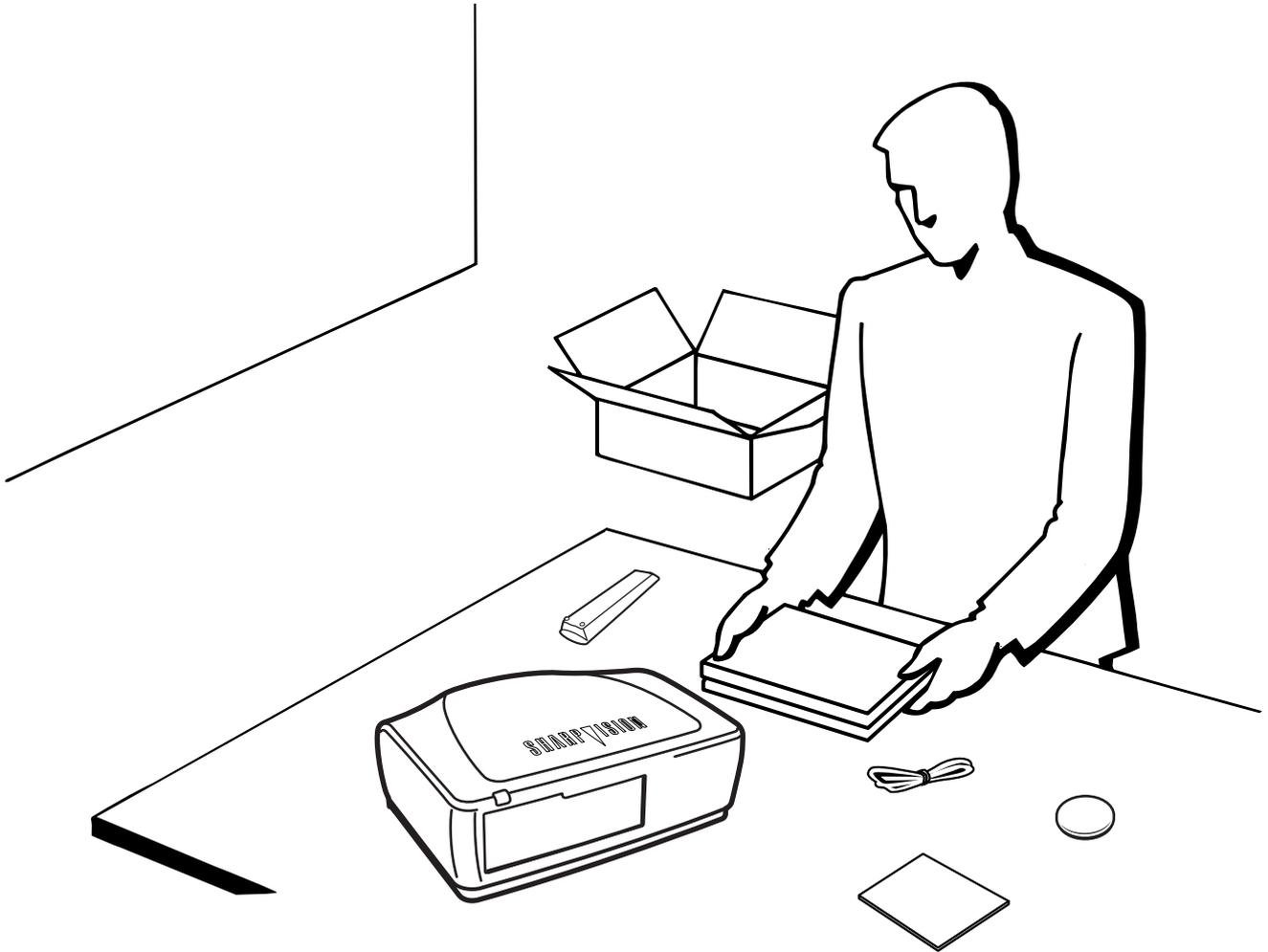
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。  
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。  
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。



- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。



# 設置と接続のしかた



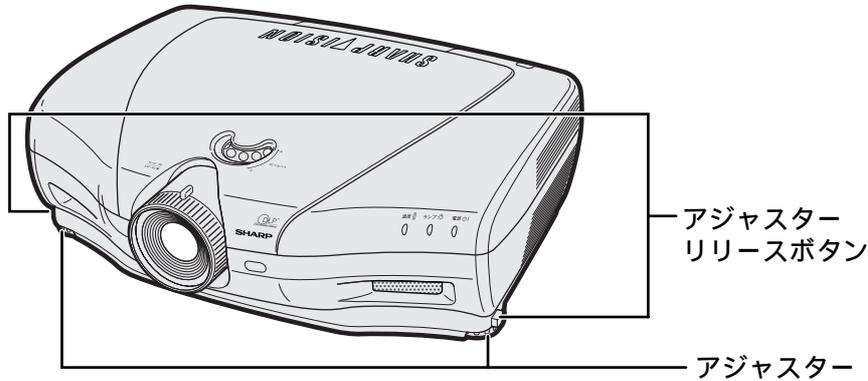


# 設置のしかた

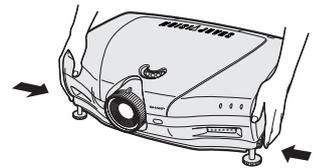
## アジャスターの使いかた

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投映画面を高くすることができます。

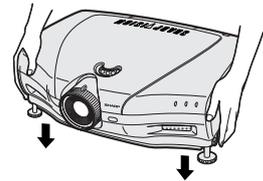


### 1 アジャスターリリースボタンを押す



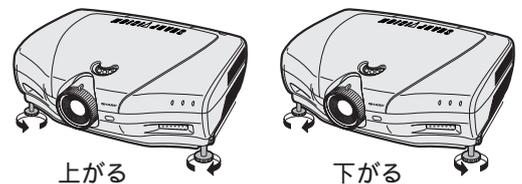
### 2 プロジェクターを持ち上げて高さを調節し、アジャスターリリースボタンから手を離す

伸びたアジャスターが設置面に届いていることを確認してください。



### 3 アジャスターをまわして、微調整する

アジャスターをまわすと少しずつ上下します。ぐらつきがないようにしてください。



元に戻すときは、プロジェクターをしっかりとってアジャスターリリースボタンを押さえて下へおろします。プロジェクターは標準位置から約5度まで角度調節することができます。

### ! 注意

アジャスターが伸びている状態でアジャスターリリースボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりとささえて高さを調整してください。

プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。

プロジェクターを下げるとき、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。

# スクリーンを設置する

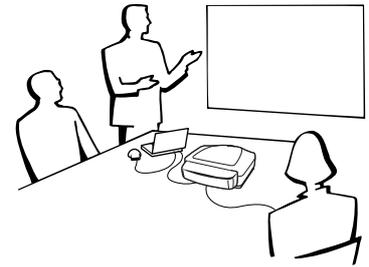
プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

**メモ**

プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

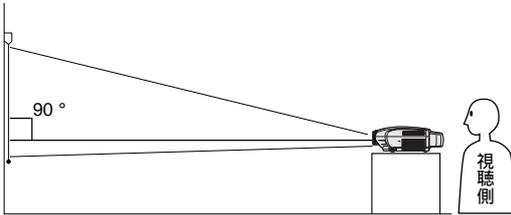
## 基本的な設置(前面からの投射)

投射したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(次ページ表参照)



### 基本設置例

**横から見たとき**



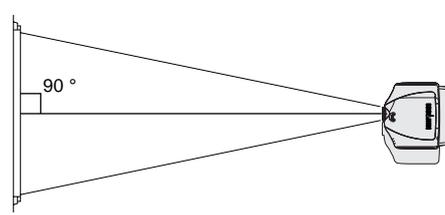
スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

22ページ

スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままです。投射した画面の上下左右が反転している場合は、「投射方式」のサブメニューで、標準に設定しなおしてください。

60ページ

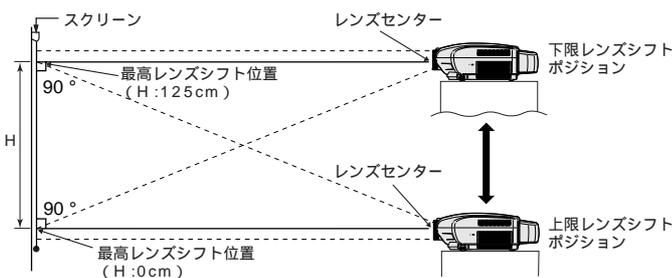
**上から見たとき**



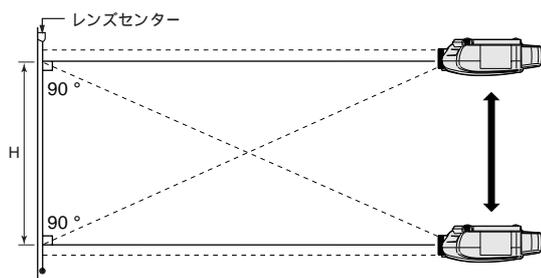
レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

**通常設置**

(16:9スクリーン  
100型ワイドモード投射時)

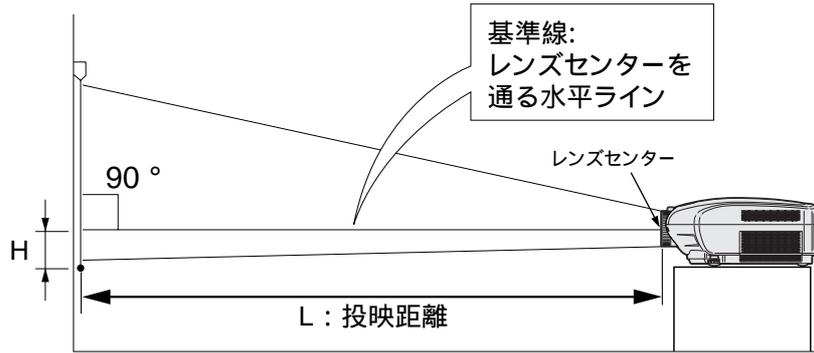


**天吊り**





# 設置のしかた(つづき)



## スクリーン(4:3)/ワイドモード

4:3のスクリーンを使用時



スクリーン

映像

スクリーンサイズ			投射距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)	
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長 (m)	L2: 最短 (m)	H1: 下限	H2: 上限
250	約5.1	約3.8	12.6	9.3	286	0
200	約4.1	約3.0	10.1	7.4	229	0
150	約3.0	約2.8	7.5	5.6	171	0
120	約2.4	約1.8	6.0	4.4	137	0
110	約2.2	約1.7	5.5	4.1	126	0
100	約2.0	約1.5	5.0	3.7	114	0
80	約1.6	約1.2	4.0	2.9	91	0
60	約1.2	約0.9	3.0	2.2	69	0

スクリーンサイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.05058x - 0.04216 \text{ (m)}$$

$$L2 = 0.03734x - 0.0401 \text{ (m)}$$

$$H1 \text{ (レンズシフト下限時)} = 1.143x \text{ (cm)}$$

$$H2 \text{ (レンズシフト上限時)} = 0 \text{ (cm)}$$

x : スクリーンサイズ(対角 $\gamma$ 型)

L1 : 最長投射距離 (m)

L2 : 最短投射距離 (m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)

## スクリーン(16:9)/ワイドモード

16:9のスクリーンを使用時



映像

スクリーン(映像)サイズ			投射距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)	
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長 (m)	L2: 最短 (m)	H1: 下限	H2: 上限
300	約6.6	約3.7	16.5	12.2	374	0
250	約5.1	約2.9	13.7	10.1	311	0
200	約4.4	約2.5	11.0	8.1	249	0
150	約3.3	約1.9	8.2	6.1	187	0
120	約2.7	約1.5	6.6	4.8	149	0
110	約2.4	約1.4	6.0	4.4	137	0
100	約2.2	約1.2	5.5	4.0	125	0
80	約1.8	約1.0	4.4	3.2	100	0
60	約1.3	約0.7	3.3	2.4	75	0
40	約0.9	約0.4	2.2	1.6	50	0

スクリーン(映像)サイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.05510x - 0.04593 \text{ (m)}$$

$$L2 = 0.04068x - 0.04369 \text{ (m)}$$

$$H1 \text{ (レンズシフト下限時)} = 1.2456x \text{ (cm)}$$

$$H2 \text{ (レンズシフト上限時)} = 0 \text{ (cm)}$$

x : スクリーン(映像)サイズ(対角 $\gamma$ 型)

L1 : 最長投射距離 (m)

L2 : 最短投射距離 (m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)

### ! 注意

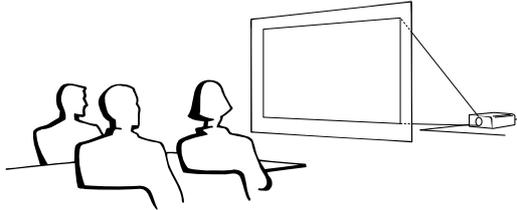
近似式には $\pm 3\%$ の誤差があります。

## 反転映像を投映するとき

### スクリーン背後からの投映

透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。

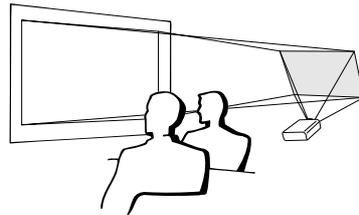
メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(60ページ参照)



### ミラーを使った投映

レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。

視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(60ページ参照)



### ! 注意

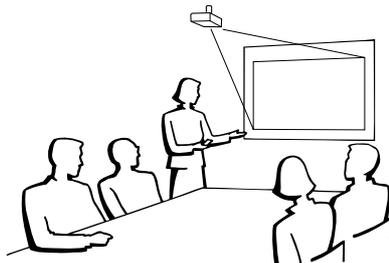
ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

### 天井取り付けによる投映

天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニット「AN-TK201」「AN-TK202」および取り付けアダプタ「AN-NV6T」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

プロジェクターを天井に設置するときは、22ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。

メニューの投映方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。

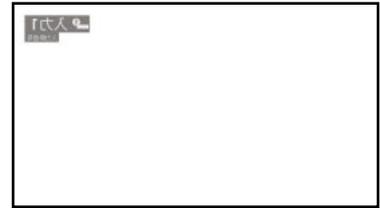


画面表示 工場出荷時の設定で投映すると...



映像の左右を反転します

画面表示 工場出荷時の設定で投映すると...



映像の左右を反転します

画面表示 工場出荷時の設定で投映すると...



映像の上下を反転します



# 接続のしかた

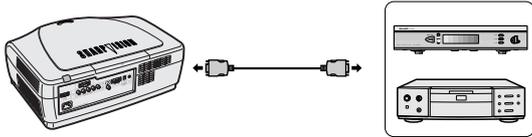
## 接続例

設置と接続のしかた

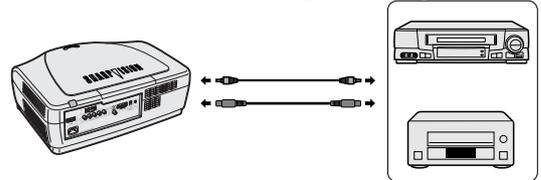
接続のしかた

### AV 機器との接続

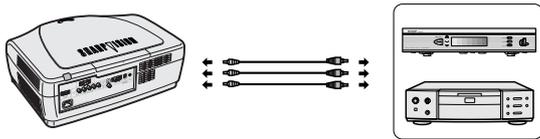
市販の D 端子ケーブルを使い、BS デジタルチューナーや DVD プレーヤーなどと接続します。くわしくは 25 ページをご覧ください。



市販の S 映像ケーブルまたはビデオケーブルを使い、ビデオそのやレーザーディスクプレーヤーなどと接続します。くわしくは 28 ページをご覧ください。



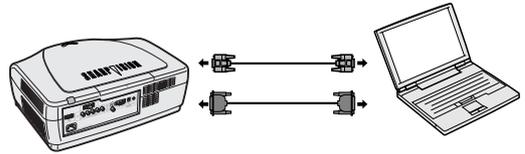
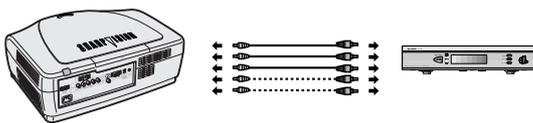
市販のビデオケーブルを使い、DVD プレーヤーや BS デジタルチューナーなどコンポーネント(色差)出力端子付機器と接続します。くわしくは 26 ページをご覧ください。



### コンピュータとの接続

市販または別売(5 ページ)のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続します。くわしくは 29 ページをご覧ください。RS-232C ケーブル(クロス・メス・メスタイプ)を使って接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作(制御)できます。くわしくは 30 ページをご覧ください。

市販のビデオケーブルを使って RGB 出力端子付き AV 機器と接続します。くわしくは 27 ページをご覧ください。

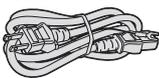


## 電源コードの接続

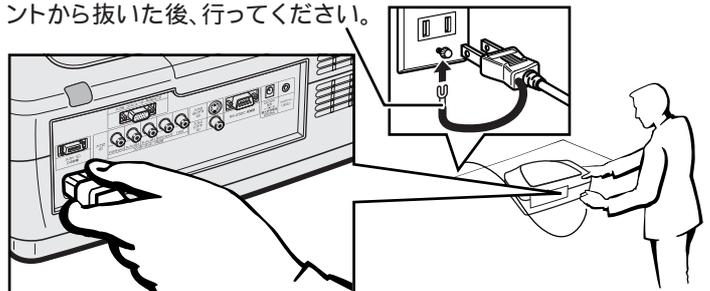
プロジェクターの背面にある AC 電源ソケットに電源コードを接続します。

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品

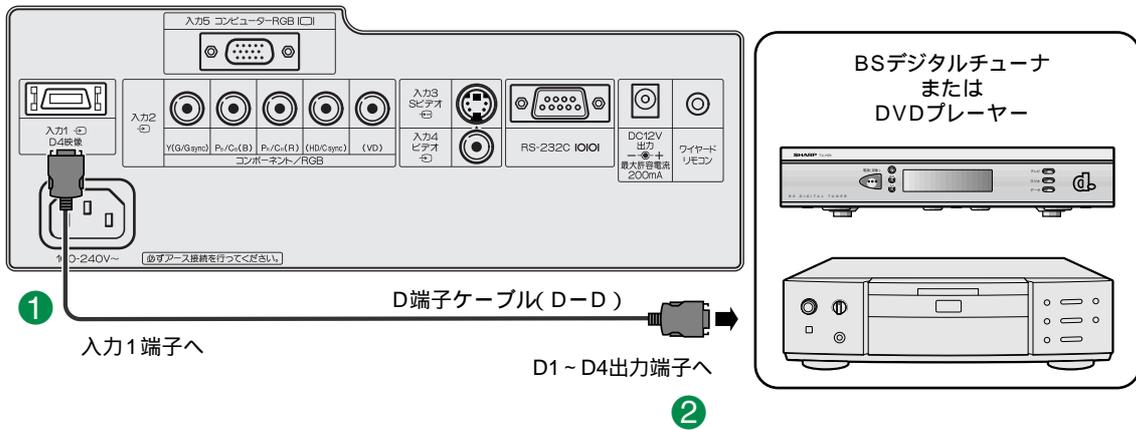
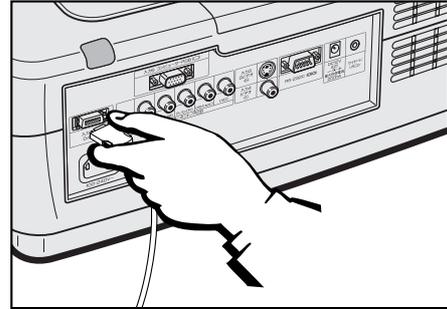


電源コード



# プロジェクターにAV機器を接続する

市販のD端子ケーブルを使い、BSデジタルチューナーやDVDプレーヤーなどと接続する



- 1 入力1端子に市販のD端子ケーブルを接続します。
- 2 もう一方を接続する機器のD出力端子に接続します。

## メモ

市販のコンポーネント-D端子変換ケーブルを使って入力1端子に接続したときは、「オプションメニュー」の「D端子制御」を「切」に設定してください。(70ページ参照)

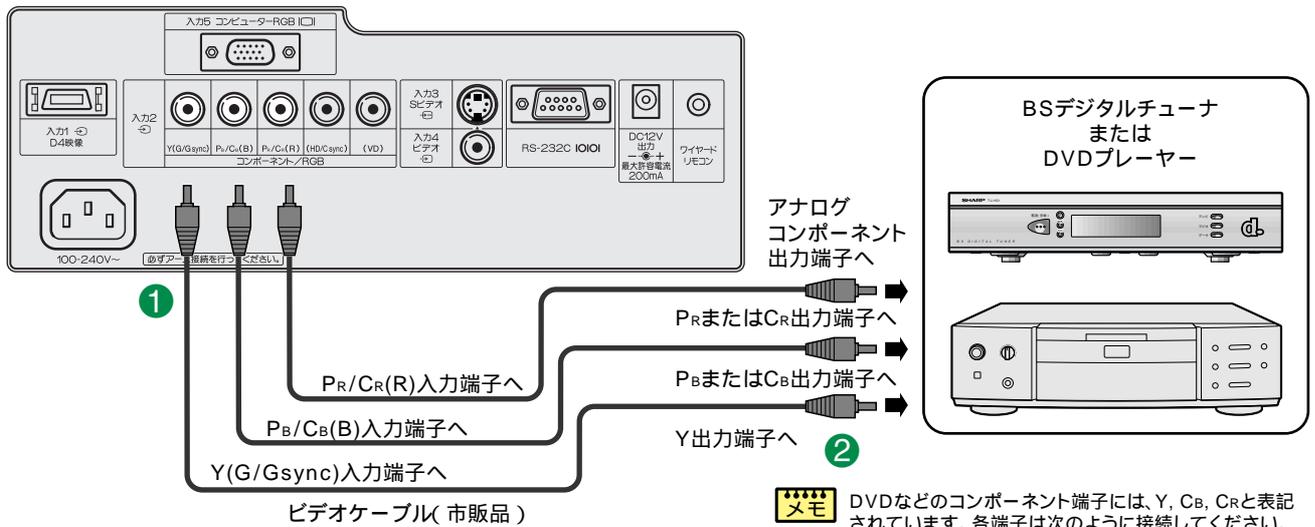


# 接続のしかた(つづき)

## プロジェクターにAV機器を接続する

市販のビデオケーブルを使い、BSデジタルチューナー・DVDプレーヤーなどコンポーネント(色差)出力端子付ビデオ機器と接続する

この方法で入力2に接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定してください。



**メモ** DVDなどのコンポーネント端子には、Y、Cb、Crと表記されています。各端子は次のように接続してください。

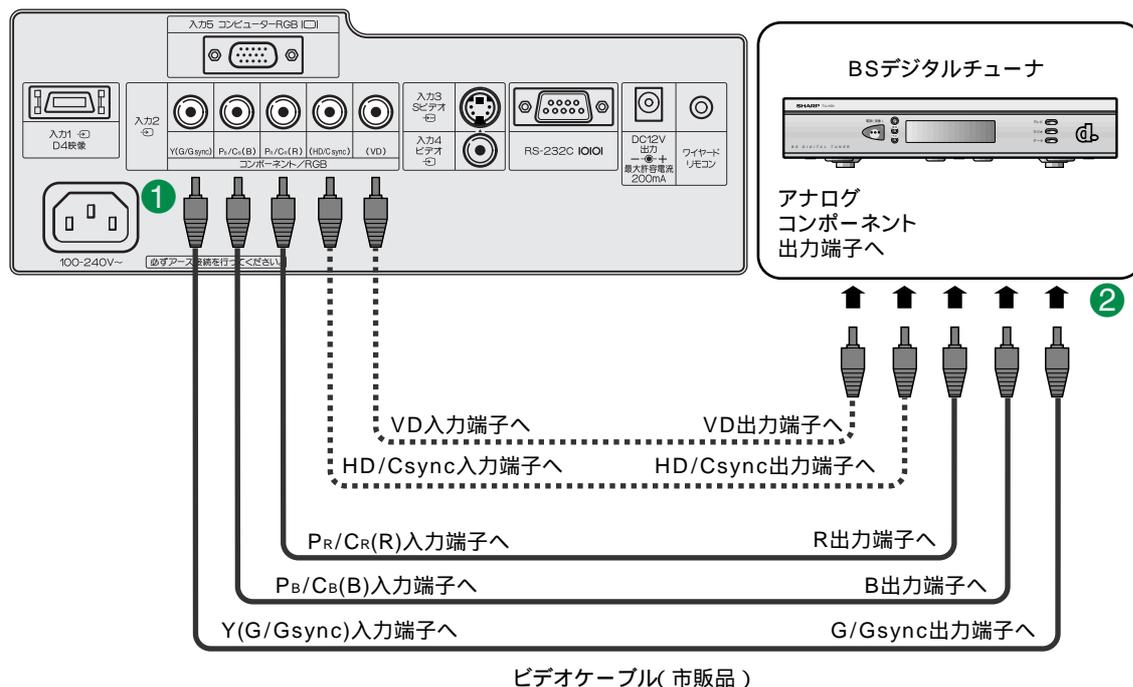
プロジェクター	Y(G/G sync)	Pb/Cb(B)	Pr/Cr(R)
DVDなど	↑ ↓ Y	↑ ↓ Cb	↑ ↓ Cr

- 1 入力2端子「Y」「Pb/Cb」「Pr/Cr」それぞれの端子に市販のビデオケーブル(コンポーネントケーブル)を接続します。
- 2 もう一方を接続する機器のコンポーネント(色差)出力端子に接続します。

## 市販のビデオケーブルを使い、RGB出力端子付きBSデジタルチューナーを接続する

BSデジタルチューナーなどRGB映像出力端子付き機器を接続するときは、市販のビデオケーブルを使い、入力2端子に接続します。

この方法で入力2に接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB」に設定してください。



- 1 入力2端子「G/Gsync」「B」「R」(「HD/Csync」「VD」)それぞれの端子に市販のビデオケーブルを接続します。
- 2 もう一方を接続する機器のRGB出力端子に接続します。



入力2のRGBは、映像機器専用です。  
コンピュータRGB信号は、入力5端子に接続してください。



# 接続のしかた(つづき)

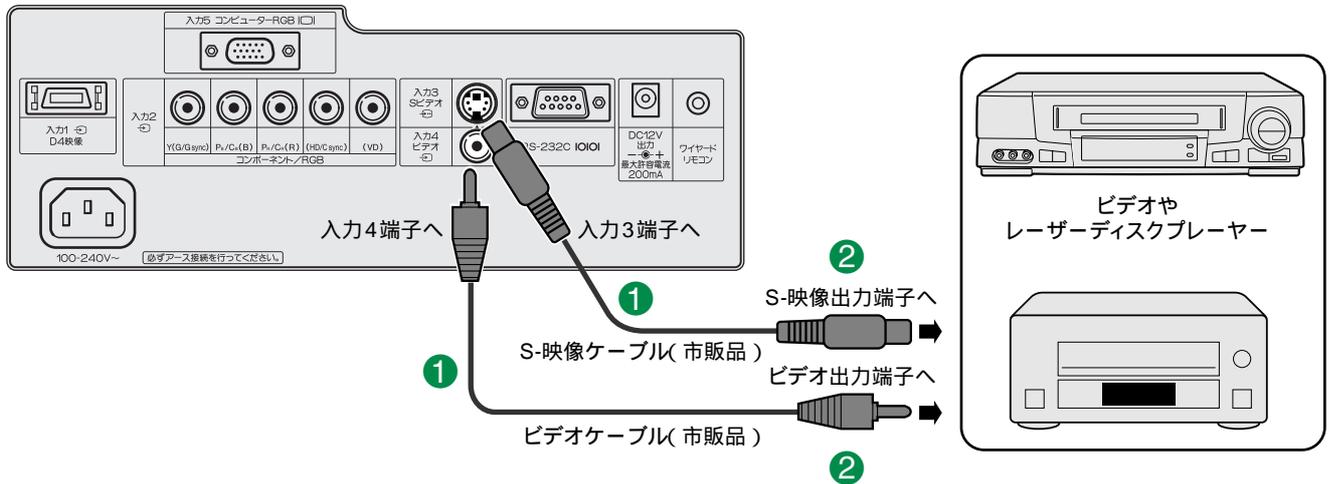
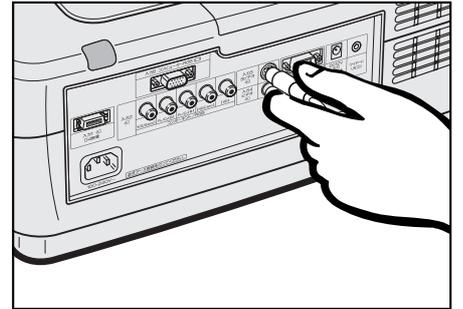
## プロジェクターにAV機器を接続する

市販のS映像ケーブルまたはビデオケーブルを使い、ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他のAV機器を接続する

### メモ

S映像端子付きビデオ機器を接続するときは、より高品位な画像再生のため、プロジェクターの入力3(Sビデオ)端子とビデオ機器のS映像出力端子を市販のS映像ケーブルで接続してお使いください。

お持ちのビデオ機器にS映像出力端子がない場合は、プロジェクターの入力4(ビデオ)端子とビデオ機器のビデオ出力端子を市販のビデオケーブルで接続してお使いください。



**1** S映像出力端子付きのビデオ機器を接続するとき  
プロジェクターの入力3(Sビデオ入力)端子に市販のS映像ケーブルを接続します。

ビデオ出力端子付きのビデオ機器を接続するとき  
プロジェクターの入力4(ビデオ入力4)端子に市販のビデオケーブルを接続します。

**2** S映像ケーブルまたはビデオケーブルのもう一方をそれぞれの機器に接続します。

# コンピュータと接続する

接続を始める前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を先に入れ、一番最後にコンピュータの電源を入れます。接続の際は、コンピュータの取扱説明書をよくお読みください。

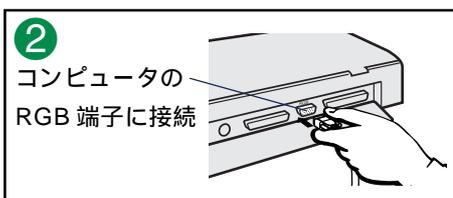
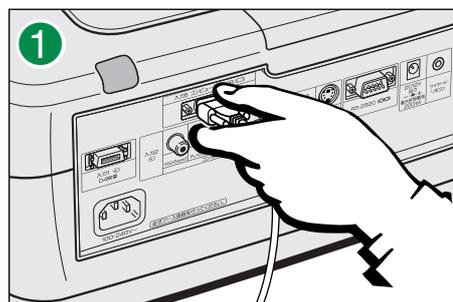
## ！ 注意

対応しているコンピュータの表示モードについてのくわしくは、85ページの一覧表をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

## 市販または別売(5ページ)のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する

### IBM-PC または Macintosh と接続する

- ① 市販のコンピュータ(RGB)ケーブルの一方をプロジェクターの入力5端子に接続します。
- ② もう一方をコンピュータのRGB出力端子に接続します。(ねじを締めて確実に接続してください。)



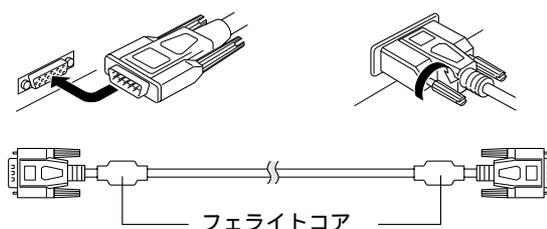
## メモ

Macintosh と接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

## コンピュータ(RGB)ケーブルの取り扱いについて

本機とコンピュータに接続するコンピュータ(RGB)ケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

コンピュータ(RGB)ケーブルについているフェライトコアは、電気用品取締法基準に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



## メモ

入力2のRGB入力は、映像機器専用です。コンピュータRGB信号には対応していません。



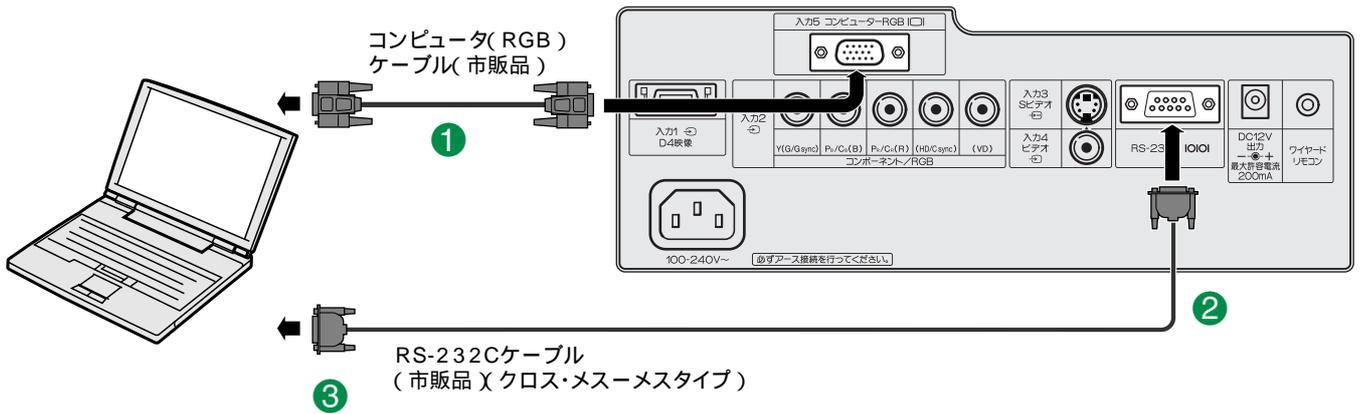
# 接続のしかた(つづき)

## シリアル(RS-232C)端子へ接続する

市販または別売のRS-232Cケーブル(クロスタイプ)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作したり、プロジェクターの状態をチェックすることができます。くわしくは81ページをご覧ください。

設置と接続のしかた

接続のしかた(つづき)



- ① コンピュータ(RGB)ケーブルを接続します。(29ページ参照)
- ② 市販のRS-232Cケーブル(クロス・メスマスタイプ)の一方をプロジェクターのRS-232C端子に接続します。
- ③ もう一方をコンピュータのRS-232C端子に接続します。

### 注意

RS-232Cケーブルを接続するときは

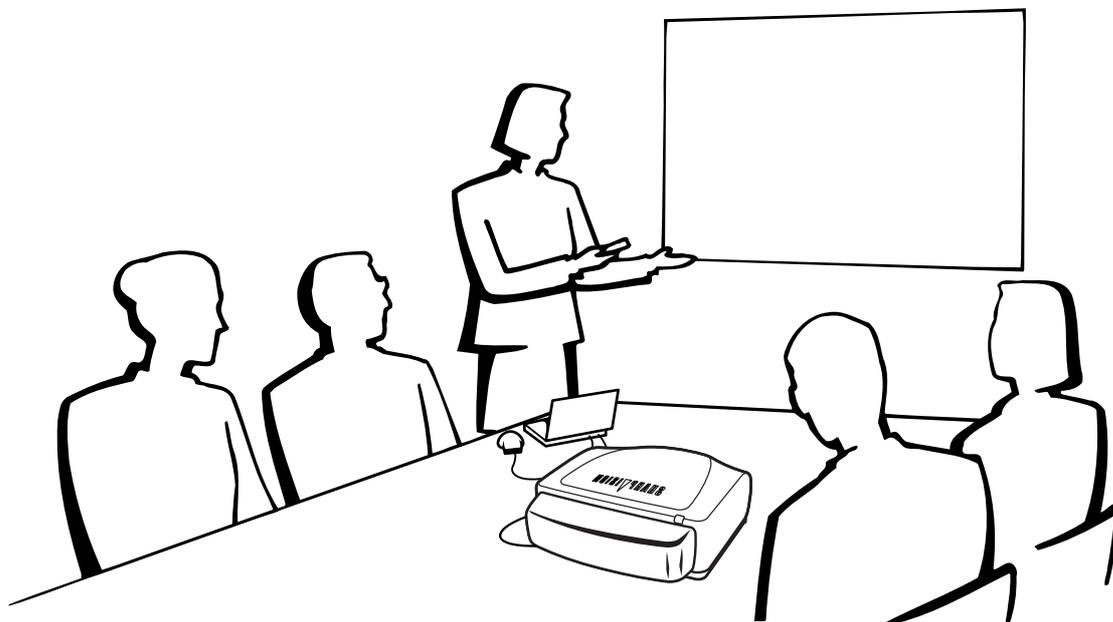
コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータにRS-232Cケーブルを接続したり、外したりしないでください。DIN/D-sub RS-232Cケーブル以外は接続しないでください。パソコン側のRS-232C端子以外には接続しないでください。コンピュータまたはプロジェクターが破損する恐れがあります。

### メモ

Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。



# 基本操作

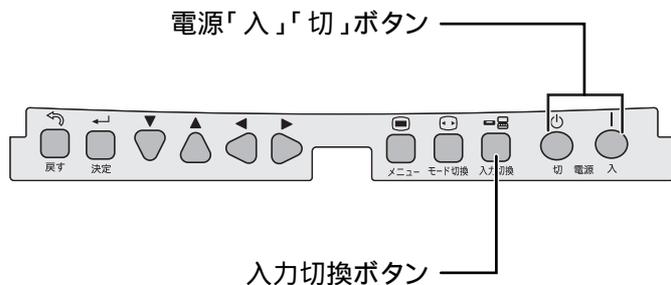


# 投映のしかた

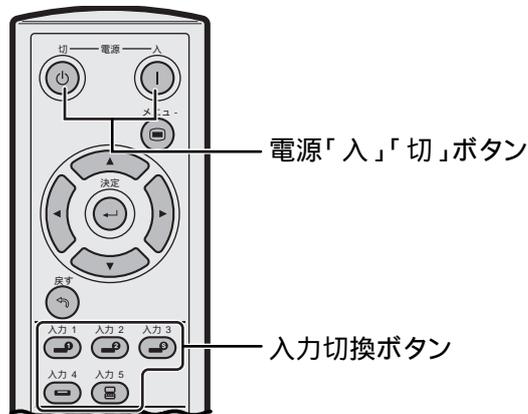
## 電源を入れてから切るまで

操作を始める前に、外部機器との接続をすませておいてください。

### 本体操作部



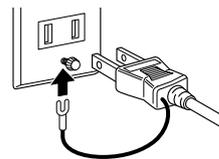
### リモコン



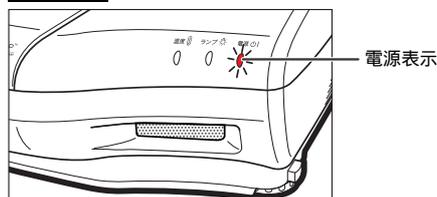
## 1 電源プラグをコンセントに接続する

コンセントに接続する前に、アースコードを取り付けてください。

プロジェクターの電源表示ランプが赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。



### 本体ランプ

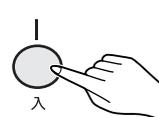


## 2 電源「入」ボタンを押す

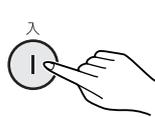
電源表示が青色で点灯します。ランプの起動中は、ランプ交換お知らせ表示が青色で点滅します。点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。

電源を切った直後に、再び電源を入れると、ランプ交換お知らせ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

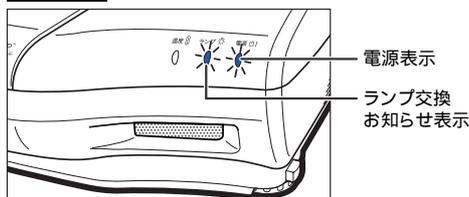
### 本体



### リモコン



### 本体ランプ



ランプ交換お知らせ表示はランプの状態をお知らせします。

青色点灯：ランプ点灯中

青色点滅：ランプ起動中

赤色点灯：ランプ交換

### 3 入力切換ボタンを押して、入力モードを選ぶ

本体の入力切換ボタンは、押すごとに  
 「入力1 入力2...入力4 入力5」

の順番で切換わります。



信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで再生できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。

画面のフォーカスが合っていない場合は、35ページの「レンズ調整」を行ってください。

#### 本体操作部



#### リモコン



#### 表示画面(例)



#### 入力モードについて

入力 1(D4 映像)	入力 1 端子に接続した機器を投射したいとき
入力 2(RGB/ 色差)	入力 2 端子に接続した機器を投射したいとき
入力 3(S ビデオ)	入力 3 端子に接続した機器を投射したいとき
入力 4(ビデオ)	入力 4 端子に接続した機器を投射したいとき
入力 5(RGB)	入力 5 端子に接続したコンピュータRGB 信号を投射したいとき

### 4 電源「切」ボタンを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、電源「切」ボタンを押す



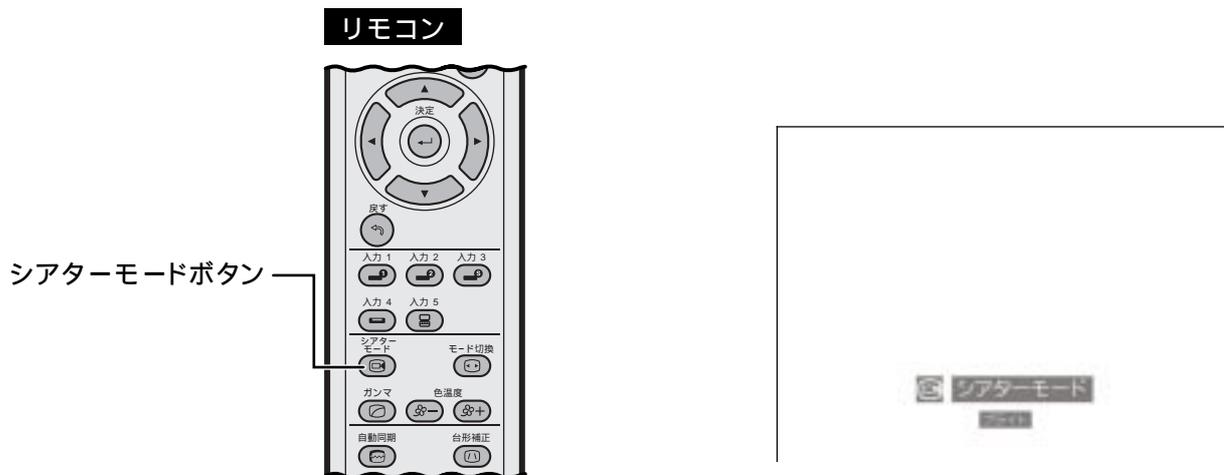
間違っても電源「切」ボタンを 1 回押したときは、そのまま放置してください。しばらくすると確認画面が消え操作に戻ることができます。

電源「切」ボタンを 2 回押すと、電源ランプが赤色に点灯し、冷却ファンが約 90 秒間動作します。その後、プロジェクターは待機状態になります。

投射中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

# 📺 投映のしかた(つづき)

## シアター(明るさ)モードを切換えるとき

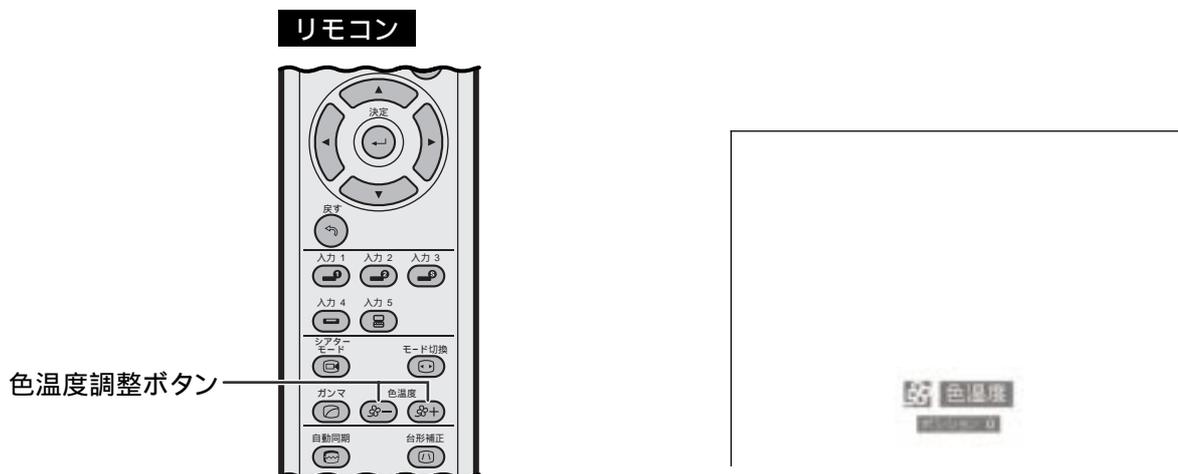


リモコンの**シアターモードボタン**を押す  
「ブライト」にすると明るくなります。  
「標準」にすると標準の明るさになります。  
押すごとに「標準」「ブライト」に切替わります。

メモ

メニュー画面でも切換えることができます。(74ページ参照)

## 色温度を調整するとき



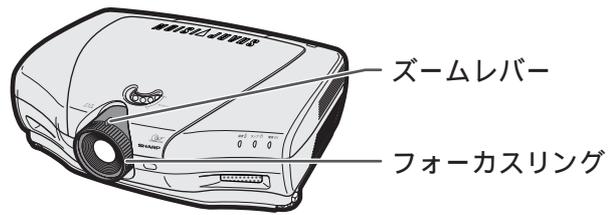
リモコンの**色温度調整ボタン** (色温度-) (色温度+) を押す  
(色温度-) ボタンを押すと赤みがかかった映像に補正できます。  
押すごとに「-1」「-2」「-3」の3段階に切替わります。  
(色温度+) ボタンを押すと青みがかかった映像に補正できます。  
押すごとに「+1」「+2」「+3」の3段階に切替わります。

メモ

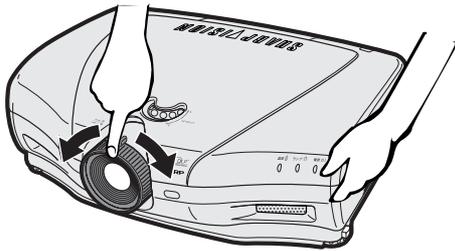
メニュー設定でも色温度が補正できます。(42ページ参照)

# レンズ調整

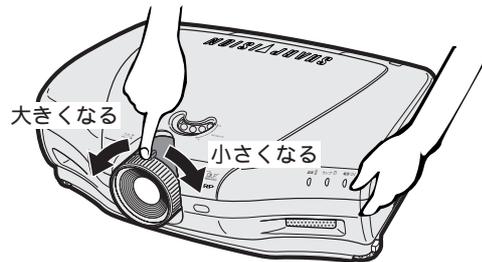
フォーカス(ピント)調整やズーム操作は本体で行います。



フォーカス(ピント)調整はフォーカスリングを回して調整します。

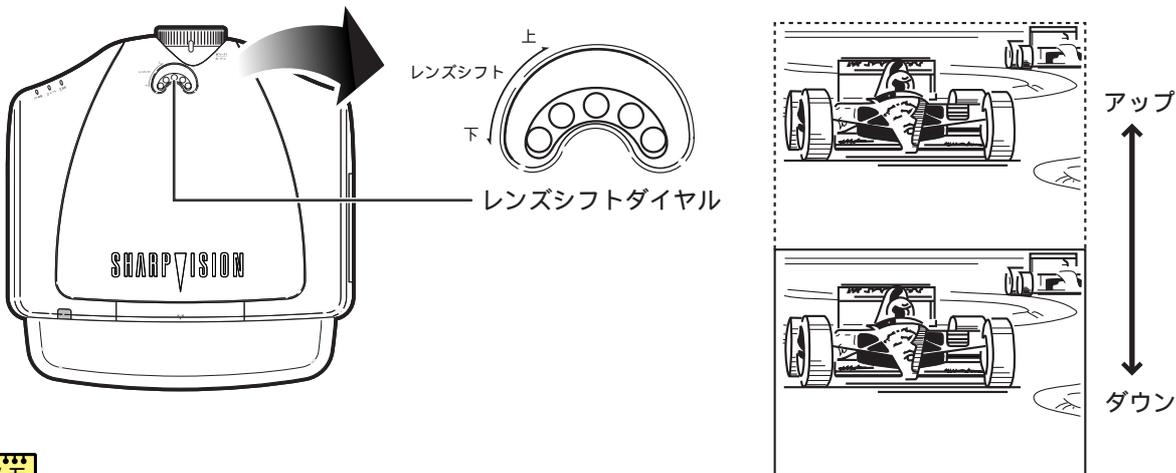


ズーム操作はズームレバーを動かし操作します。



# レンズシフトダイヤルの使いかた

プロジェクター上面のレンズシフトダイヤルを回すことにより、投映角度の調節をすることができます。



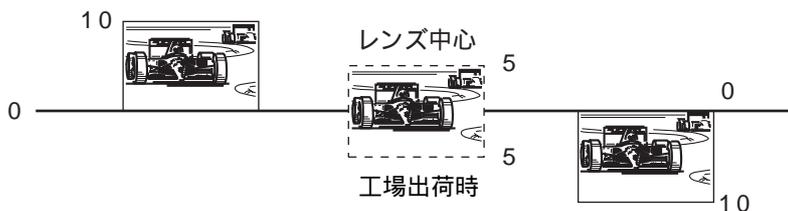
メモ

出荷時、レンズシフトダイヤルは、おおよそ中心に設定されています。投映角度を調整する場合は、レンズシフトダイヤルを回して調節してください。

上限位置：レンズの中心とスクリーン下端が同じ高さになるポイント(10:0)

下限位置：レンズの中心とスクリーンの上端が同じ高さになるポイント(0:10)

# レンズシフト



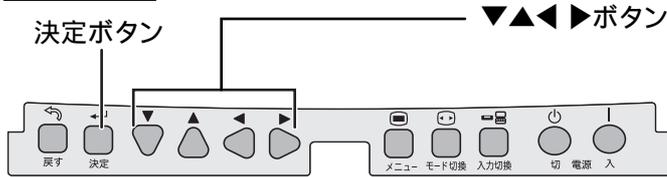
上限位置と下限位置の範囲外にレンズシフトダイヤルを無理に回さないでください。プロジェクターの故障の原因になることがあります。

# 📺 投映のしかた(つづき)

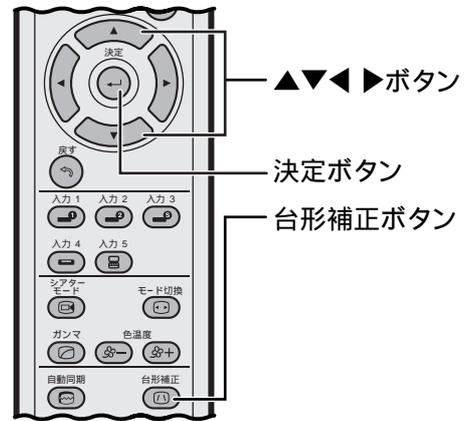
## 画面の台形歪みを補正する

本体操作部、リモコンを使って画面の台形補正(台形歪み補正)が調整できます。

### 本体操作部



### リモコン



画面の台形補正(台形歪み補正)とは

映像をスクリーンに対し上下から角度を付けて投映すると映像が台形に歪みます。

この台形を、16:9のアスペクト比を保持しながら補正するのが画面の台形補正(台形歪み補正)です。

基本操作

投映のしかた(つづき)

### 1 台形補正ボタンを押す



通常画面



台形補正調整画面



台形補正ボタンを押すと上のようになります。

### 2 ▲▼◀▶ボタンを押して、調整する

より忠実に補正したいときは、**決定ボタン**を押してテストパターンを表示させ、**▼▲◀▶ボタン**を押して調整します。

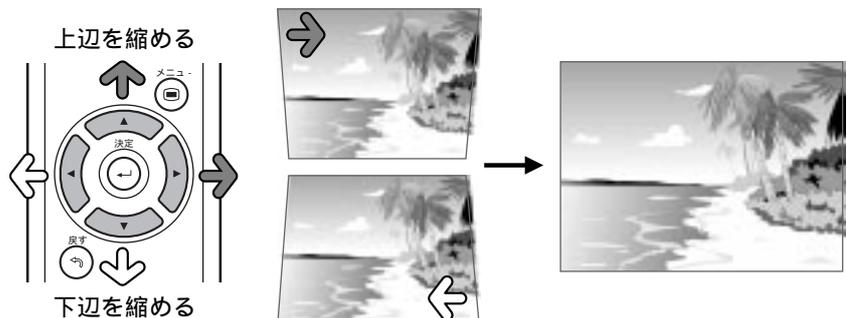


### 3 台形補正ボタンを押して終了する

#### 台形補正調整

▲または▶で投映されている上辺を縮めます。

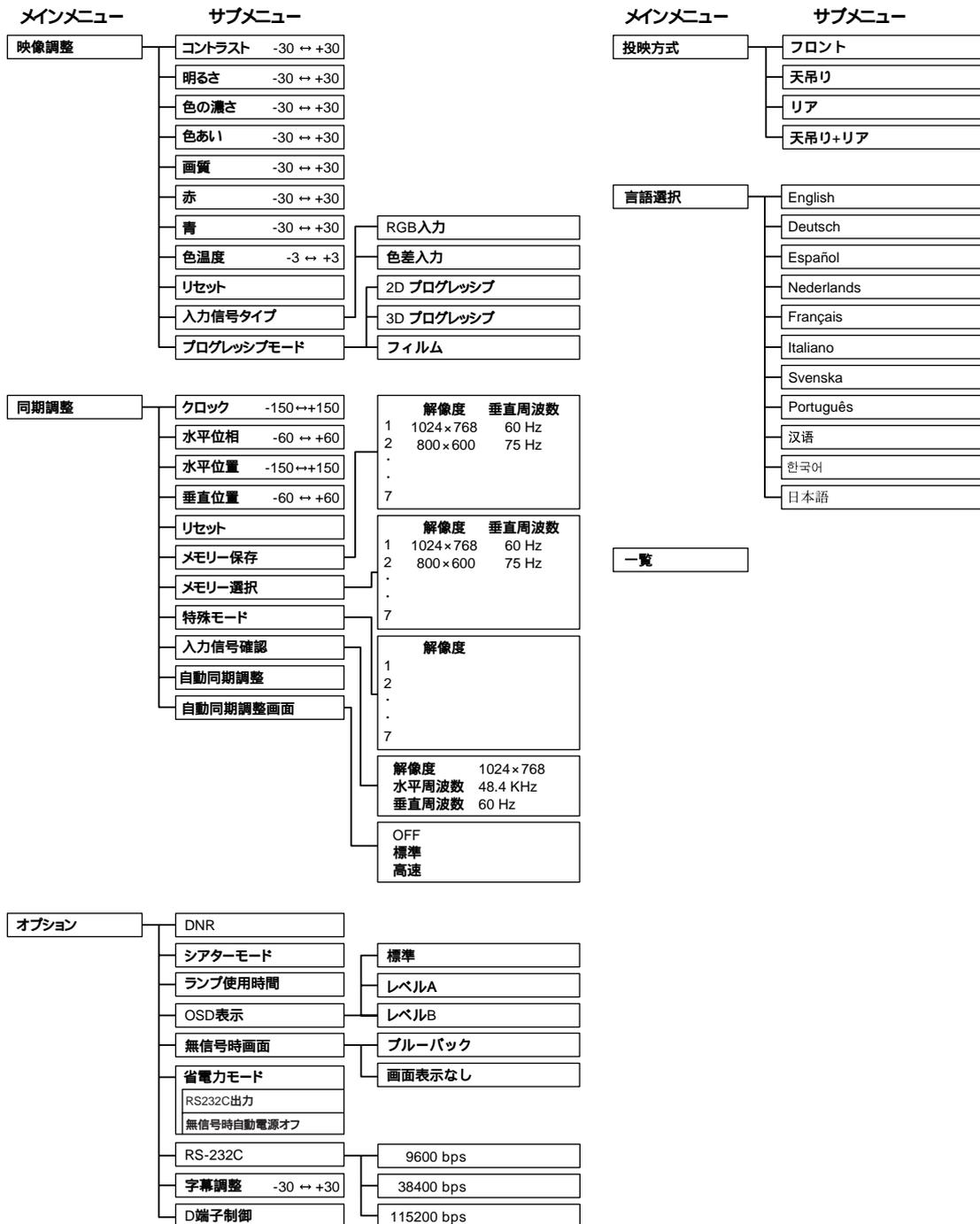
▼または◀で投映されている下辺を縮めます。



# メニューの使いかた

## メニュー表示内容一覧

入力1 / 入力2 / 入力5 モード



### メモ

チャートに示された解像度・垂直周波数・水平周波数の値は例として表示しています。

入力1モードのとき、映像調整の「入力信号タイプ」は表示されません。

入力2モードのとき、オプションの「D端子制御」は表示されません。

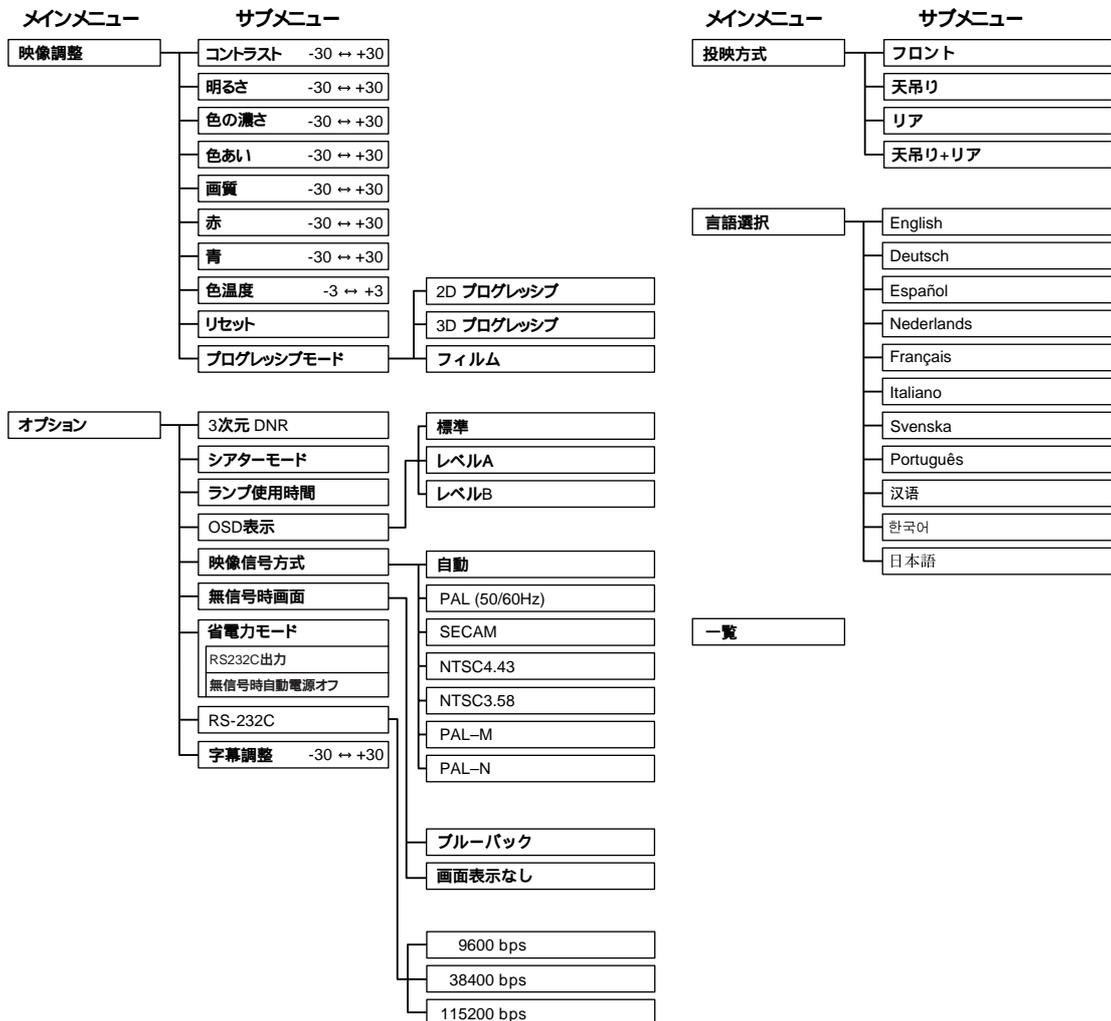
入力2モードのとき、入力信号タイプが色差入力に設定されていないと映像調整の「色の濃さ」「色あい」「画質」は表示されません。

入力5モードのとき、映像調整の「色の濃さ」「色あい」「画質」「入力信号タイプ」「プログレッシブモード」とオプションの「DNR」「字幕調整」「D端子制御」は表示されません。

字幕調整は、画像表示モード(63ページ)が「ワイド」または「ズーム」に設定されているときに働く機能です。

# メニューの使いかた(つづき)

## 入力3 / 入力4 モード



字幕調整は、画像表示モード(63ページ)が「ワイド」または「ズーム」に設定されているときに働く機能です。

# メニュー項目別の設定調整内容一覧

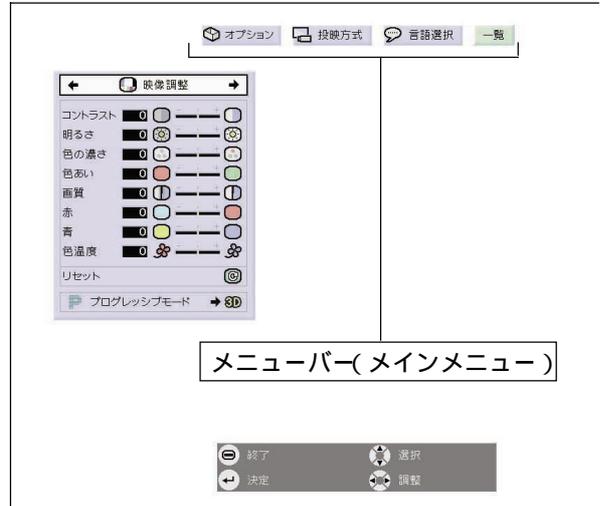
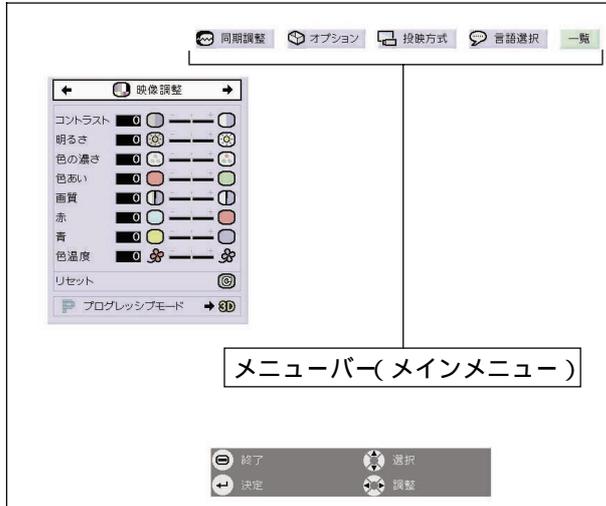
メインメニュー	調整設定内容	入力1/入力2/入力5 モードのとき	入力3/入力4 モードのとき
映像調整	画像のコントラスト、明るさ、赤み/青み、色温度（色差入力時は、色の濃さ、色あい、画質（入力2）も調整可能）	42・47	42
	RGB/色差入力の切換え（入力2）	43	
	映像に合ったプログレッシブモードの選択	46	46
同期調整	手動による同期調整（画面のノイズなど映り具合の調整、映像の位置調整）	48～49	
	調整した内容のメモリー登録・呼び出し	54～57	
	自動同期調整の設定	50～51	
	現在入力されている信号の解像度や周波数の表示など	71	
オプション	映像信号方式(PAL、NTSC等)の設定		44～45
	省電力モードの設定	64～65	64～65
	ランプ使用時間の表示	78	78
	無信号時の画面表示の設定	72～73	72～73
	RS-232Cの設定	75	75
	シアターモードの切換え	74	74
	字幕調整	69	69
	D端子制御の設定（入力1のみ）	70	
投映方式	投映方式の設定（天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに）	60	
言語選択	入力表示やメニューで使用する言語の選択	76	
一覧	現在の調整・設定状況の一覧表示	77	

# メニューの使いかた(つづき)

このプロジェクターには、画像の調整や、色々な設置に対応するため2つのメニューを用意しています。これらのメニューは、次の手順に従ってプロジェクター本体またはリモコンで操作できます。

入力1(D4映像)、入力2(コンポーネント/RGB)、  
入力5(コンピューターRGB)モードのメニュー画面

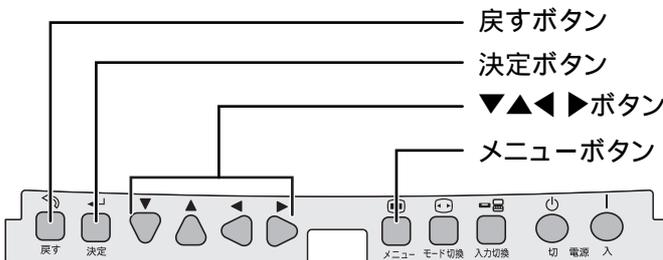
入力3(Sビデオ)、4(ビデオ)モードのメニュー画面



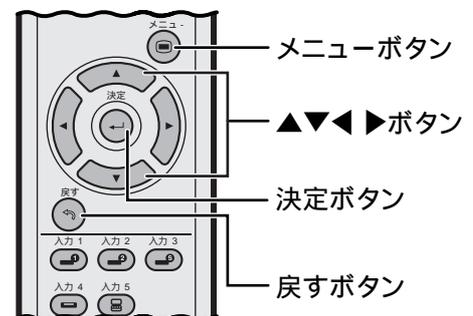
基本操作

## メニューの基本操作

### 本体操作部



### リモコン



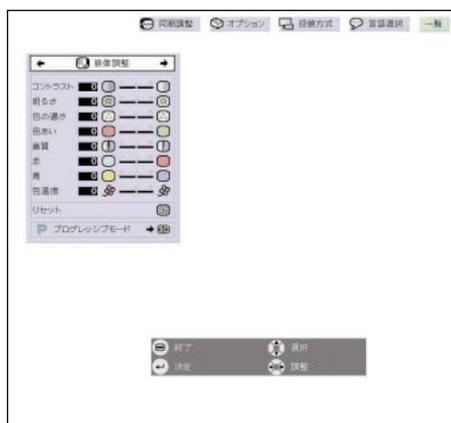
メニューの使いかた(つづき)

### 表示画面

#### 1 メニューボタンを押す



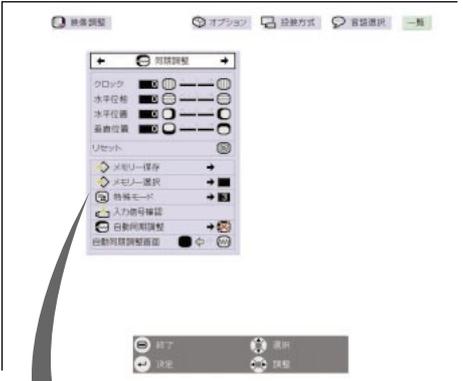
「入力1」、「入力2」、「入力5」モードまたは「入力3」、「入力4」モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。



#### メモ

左図は「入力2」モードの場合の表示画面です。

2 ◀または▶ ボタンを押して、調整するメニューを選ぶ



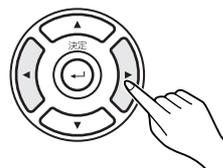
3 ▲または▼ ボタンを押して、調整する項目を選ぶ



メニューの項目によっては、サブメニューが表示されます。  
▶ ボタンを押して、サブメニューから調整する項目を選びます。



4 ◀または▶ ボタンを押して、選んだ項目の調整をする



5 メニューボタンを押して調整を終了する



メモ

調整項目をひとつだけ表示するには、調整する項目を選んだ後で決定ボタンを押してください。メニューバーと選んだ調整項目だけが表示されます。



この表示の状態では▲▼ボタンを押すと次の項目(明るさの次は色の濃さ)が表示されます。  
戻すボタンを押すと、前の画面に戻ります。  
メニューの詳細については37ページ、38ページのチャートをご覧ください。

# 映像を調整する

## ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する

BSデジタルチューナーやビデオ、DVDプレーヤーなどからの映像を表示したとき、濃淡や明るさを見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
色あい	色あいを調整したいとき	紫がかかる	緑がかかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	温かい感じの色にしたいとき、または冷たい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調

この項目は入力2の入力信号タイプが色差入力に設定されているときに調整できる項目です。

表示画面（入力2の入力信号タイプが色差に設定されているとき）

### 1 メニューボタンを押す



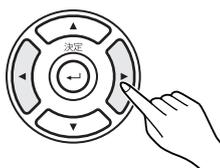
メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



### 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、調整したい項目を選ぶ



### 3 ◀ または ▶ ボタンを押して、映像を調整する



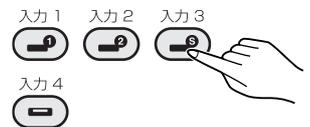
### 4 メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



### ！ 注意

入力切替ボタンを押して、「入力1」～「入力4」を選択し、調整する映像を表示させます。



### メモ

標準設定に戻りたいときは手順②で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

②、③の手順をくり返します。

### メモ

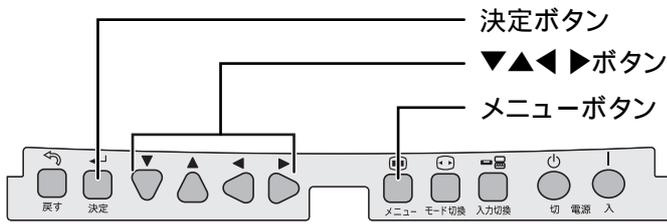
映像調整の内容は「入力1」～「入力4」で別々に記憶されます。

色温度は、リモコンの「色温度調整」ボタンでも調整できます。(34ページ参照)

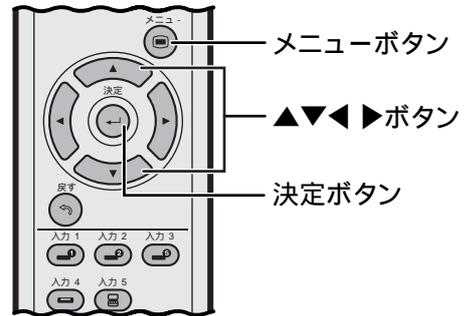
# 0 RGB またはコンポーネント(色差)信号の種類を選ぶ

入力 2 に接続した機器の入力信号に合わせて RGB か色差(コンポーネント)を選択します。

## 本体操作部



## リモコン

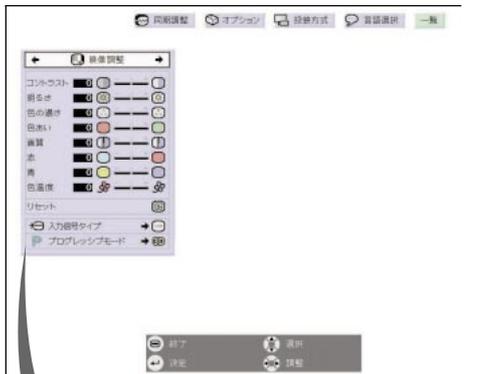


表示画面 (入力 2 以外では設定できません)

### 1 メニューボタンを押す

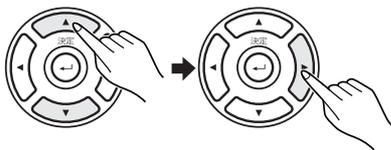


メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



### 2 ① ▲または▼ボタンを押して、「入力信号タイプ」を選ぶ

### ② ►ボタンを押す



### メモ

RGB入力  
RGB信号を入力したとき  
色差入力  
コンポーネント(色差)信号を入力したとき  
色の濃さ、色あいの調整が可能になります

### 3 ▲または▼ボタンを押して、「RGB入力」または「色差入力」を選ぶ



### 4 決定ボタンを押して、設定する



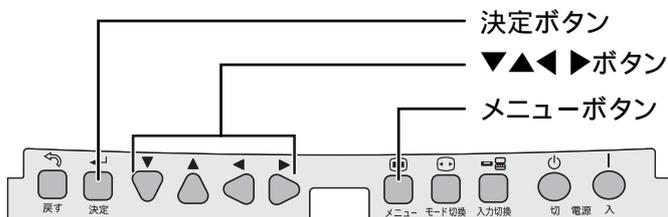
### 5 メニューボタンを押して終了する。



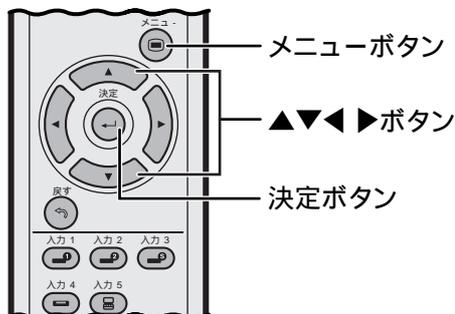
# 再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されていますが、選択されている映像方式で、接続したAV機器の映像が再生できなかった場合は、映像信号方式を切換えてください。

## 本体操作部



## リモコン



## 表示画面

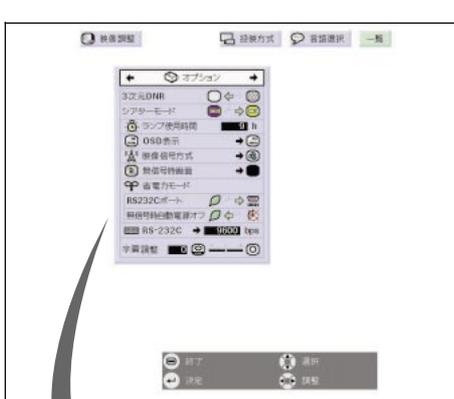
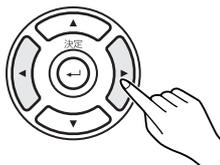
### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

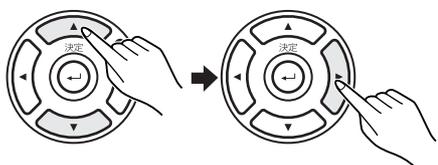


### 2 ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



### 3 ① ▲または▼ ボタンを押して、「映像信号方式」を選ぶ

#### ② ▶ ボタンを押す



## メモ

映像信号方式は、「入力3」、「入力4」以外では設定できません。

映像信号方式が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、ご覧のビデオシステムに切換えてください。

PAL  
PAL方式の映像機器を接続したとき

SECAM  
SECAM方式の映像機器を接続したとき

NTSC 4.43  
PAL方式の機器でNTSC方式の映像を再生したとき

NTSC 3.58  
NTSC方式の映像機器を接続したとき

「自動」では、PAL-NおよびPAL-Mを入力してもPAL表示になります。

**4** ▲ または ▼ ボタンを押して、設定したい映像信号方式を選ぶ



**5** 決定ボタンを押して、設定する

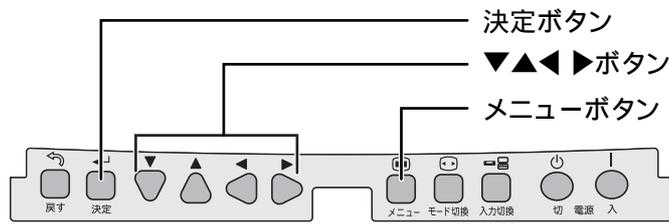


**6** メニューボタンを押して終了する

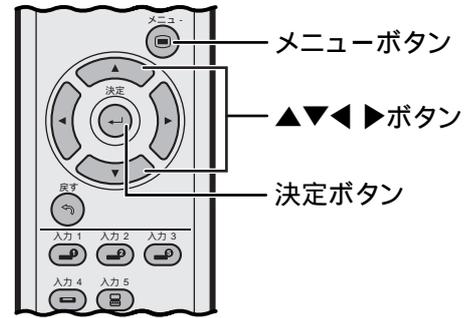


# 映像に合ったプログレッシブモードを選択する

投射している映像に合わせて、最適なプログレッシブモードを使うことでビデオ表示がよりスムーズになります。 **本体操作部**



## リモコン



## 表示画面

### 1 メニューボタンを押す

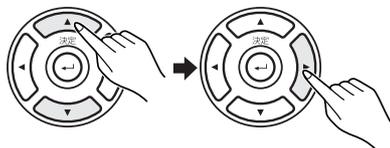


メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



### 2 ① ▲または▼ボタンを押して、「プログレッシブモード」を選ぶ

#### ② ▶ボタンを押す



### 3 ▲または▼ボタンを押して、「2D プログレッシブ」「3D プログレッシブ」「フィルム」の中から選ぶ



### 4 決定ボタンを押して設定する



### 5 メニューボタンを押して終了する



## メモ

本機では以下の3つのモードを持っています。

#### 2D プログレッシブ

スポーツやアクションなど動きの速い画像に有効です。

#### 3D プログレッシブ

ドラマやドキュメンタリーなど動きの遅い画像に有効です。

#### フィルム

フィルムイメージを再生する場合有効です。

フィルムイメージとは、24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどのことです。

本機は、そのような映像を60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。

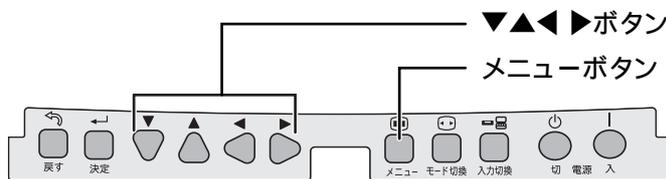
# コンピュータの画面を調整する

## コンピュータの映像を調整する

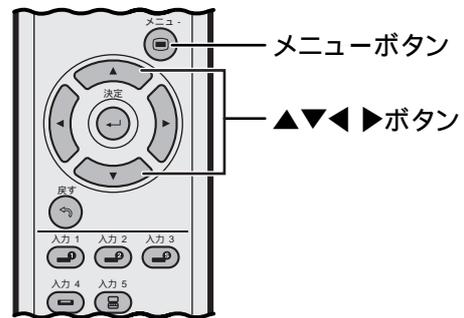
コンピュータの画面を表示したとき、状態に応じてコントラストや明るさなどを調整できます。

調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	温かい感じの色にしたいとき、または冷たい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調

### 本体操作部



### リモコン

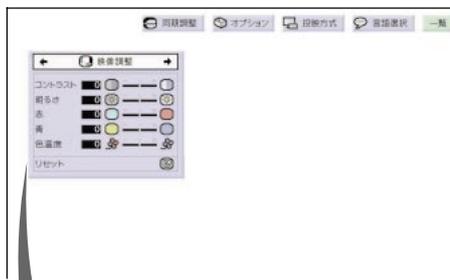


### 表示画面

#### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



#### 2 ▲または▼ ボタンを押して、調整したい項目を選ぶ



#### 3 ◀または▶ ボタンを押して、映像を調整する



#### 4 メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



#### ！ 注意

入力切替ボタンを押して、「入力 5」を選択し、調整する映像を表示させます。



#### メモ

標準設定に戻りたいときは手順 ② で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

②、③ の手順をくり返します。

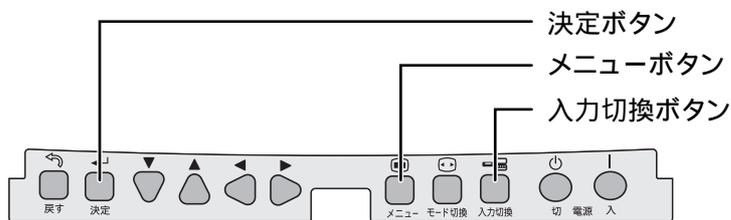
# コンピュータの画面を調整する(つづき)

## 自動同期調整がOFFのとき

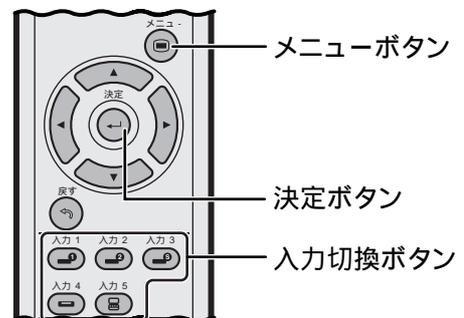
自動同期調整がOFFのときにタイルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキ・縦縞が出たりコントラストがつかないなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる。

### 本体操作部



### リモコン



### 表示画面

#### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



#### 注意

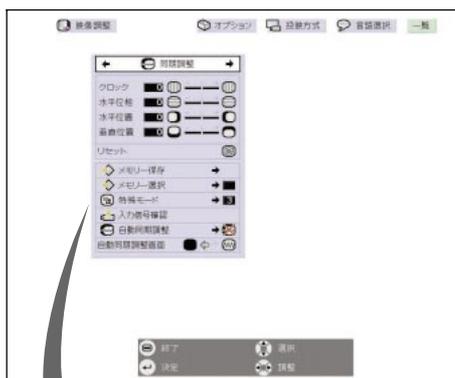
入力切替ボタンを押して、「入力5」を選んでください。



#### メモ

コンピュータの画面は自動同期ボタンを使うと、簡単に調整できます。詳細は50ページをお読みください。

2 ◀または▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ



3 ▲または▼ ボタンを押して、調整したい項目を選ぶ



4 ◀または▶ ボタンを押して、画面を調整する



5 メニューボタンを押す  
表示が消え、調整した内容が記憶されます。



標準設定に戻りたいときは手順③で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

③、④の手順をくり返します。

# コンピュータの画面を調整する(つづき)

## 自動同期調整を設定する

コンピュータの画面を自動調整します。

自動同期調整を手動で行う場合は、リモコンの**自動同期ボタン**を押します。自動調整する場合は、プロジェクターのメニューで「同期調整」項目の「自動同期調整」を「標準」または「高速」に設定します。



### 「標準」または「高速」に設定すると

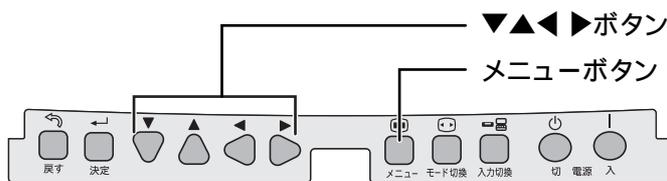
プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切ったときに、自動的に同期調整を行います。

前回設定された自動同期調整内容は、新たな自動同期調整により変更されます。

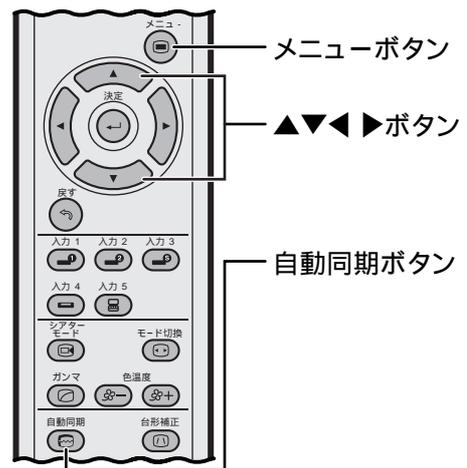
### 「標準」と「高速」の差について

「標準」は「高速」の場合に比べて、正確に同期調整を行います。このため、同期調整処理の時間が若干長くなります。

本体操作部



リモコン

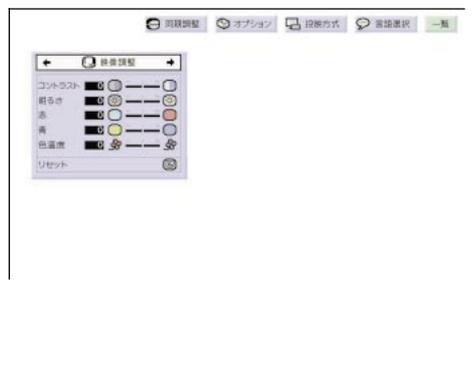


表示画面

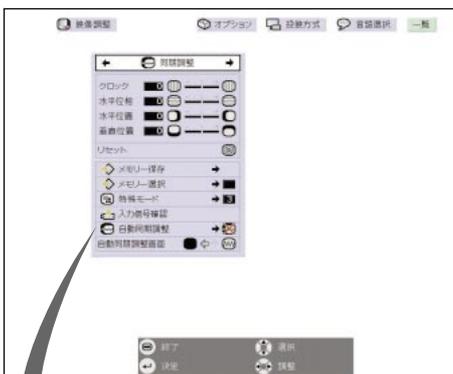
### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

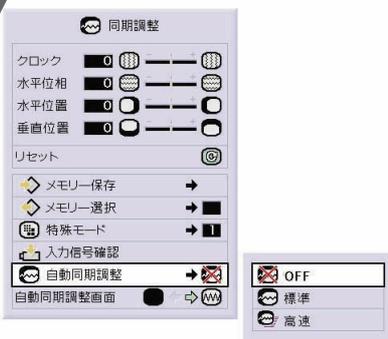
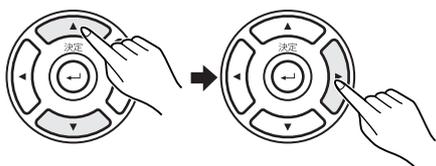


**2** ◀または▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ



**3** ① ▲または▼ ボタンを押して、「自動同期調整」を選ぶ

② ▶ ボタンを押す



**4** ▲または▼ ボタンを押して、「標準」または「高速」を選ぶ



**5** 決定ボタンを押す



**6** メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。

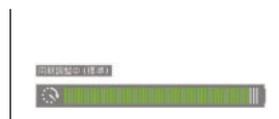


**メモ**

自動同期調整を手動で行うとき

自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で調整してください。(48ページをお読みください。)

リモコンの自動同期ボタンを押しても働きます。自動同期調整を実行中は下のような表示が出ます。



プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、自動同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき

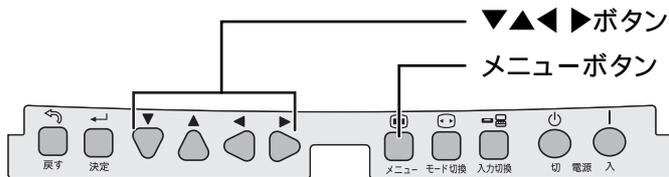
リモコンの自動同期ボタンを押すと、高速モードで自動調整を行います。1分以内に再度押すと、標準モードで自動調整を行います。

# コンピュータの画面を調整する(つづき)

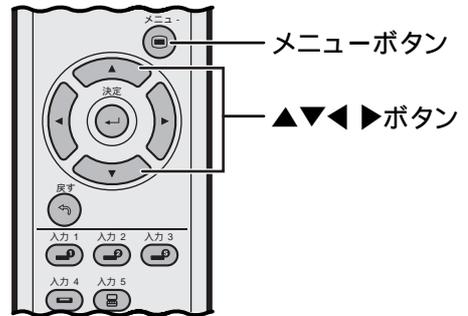
## 自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中は「オプション」項目の無信号時画面で設定した画面が投映されます。(72ページ参照)

### 本体操作部



### リモコン



### 表示画面

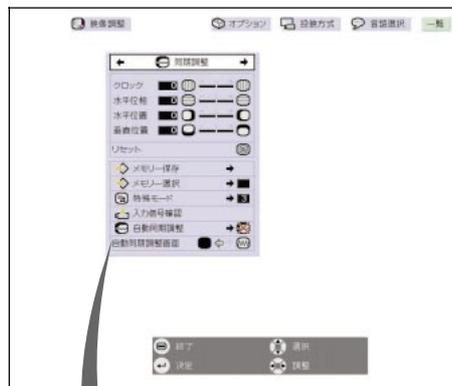
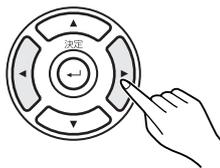
#### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



#### 2 ◀または▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ



#### 3 ▲または▼ ボタンを押して、「自動同期調整画面」を選ぶ



4 自動同期調整中に無信号時画面を投映するためには、◀ボタンを押して、"●"を選ぶ

消去するためには、▶ボタンを押して、"📶"を選ぶ



メモ

●を選ぶと、無信号時画面で設定されている画面が投映されます。

📶を選ぶと、調整中のコンピュータ画面が表示されます。

5 メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。

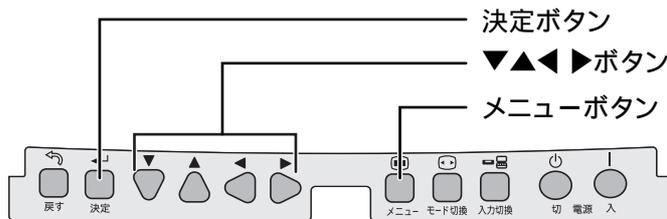


# コンピュータの画面を調整する(つづき)

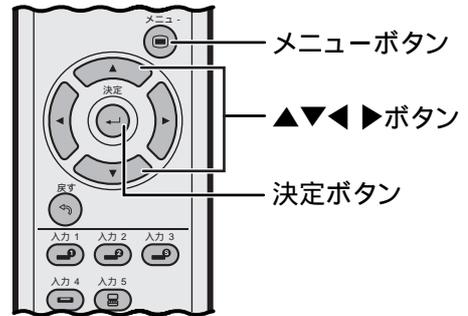
## 画面調整の内容をメモリー登録する / 呼び出す

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。いったん調整内容をメモリー登録すれば、プロジェクターにコンピュータを接続したとき、簡単にそのコンピュータ用に登録した調整内容を呼び出すことができます。

### 本体操作部



### リモコン



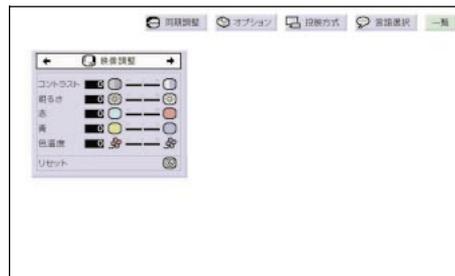
## メモリー登録をする

## 表示画面

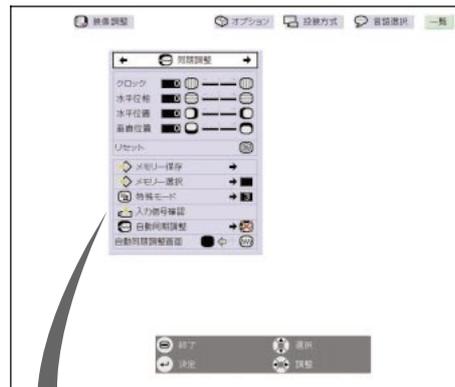
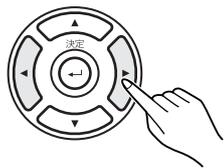
### 1 メニューボタンを押す



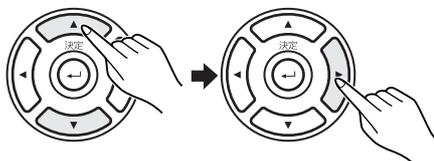
メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



### 2 ◀または▶ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ

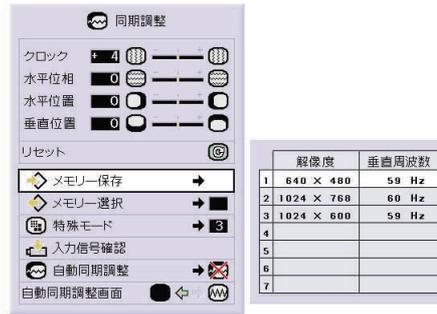


### 3 ▲または▼ボタンを押して、「メモリー保存」を選び、▶ボタンを押す

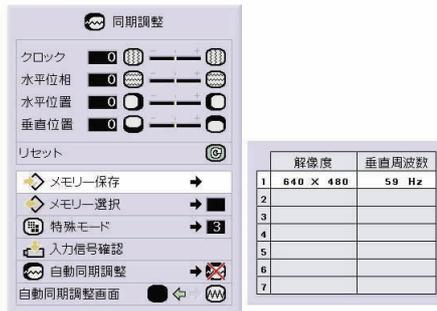


	解像度	垂直周波数
1	640 X 480	59 Hz
2	1024 X 768	60 Hz
3	1024 X 600	59 Hz
4		
5		
6		
7		

- 4 ▲ または ▼ ボタンを押して、調整内容を登録するメモリー番号を選ぶ



- 5 決定ボタンを押して、調整内容をメモリー登録する



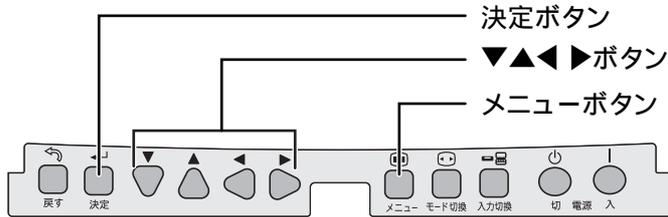
- 6 メニューボタンを押す  
表示が消え、調整した内容が記憶されます。



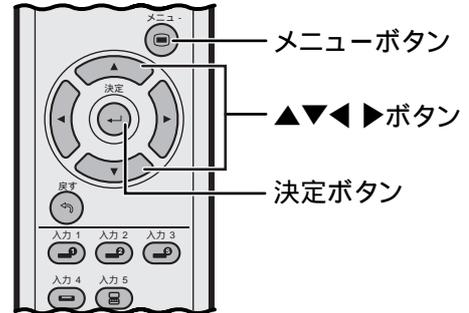
# コンピュータの画面を調整する(つづき)

## 登録済みの調整内容を読み出す

### 本体操作部



### リモコン



## 表示画面

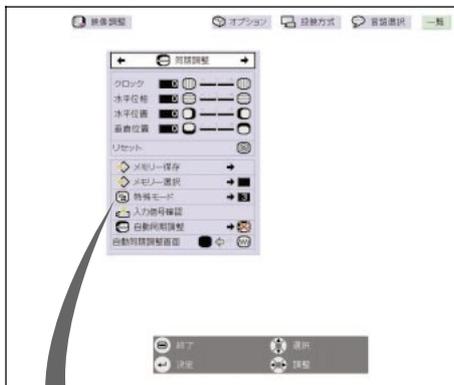
### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

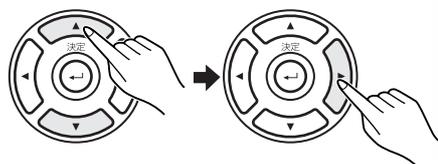


### 2 ◀または▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ



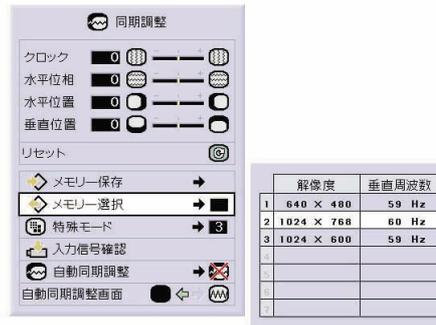
### 3 ① ▲または▼ ボタンを押して、「メモリー選択」を選ぶ

### ② ▶ ボタンを押す



	解像度	垂直周波数
1	800 × 600	59 Hz
2	640 × 480	59 Hz

#### 4 ▲ または ▼ ボタンを押して、メモリー番号を選ぶ



#### メモ

メモリー番号を設定しなければ、解像度と周波数は表示されません。

「メモリー選択」項目ですでに登録済みの調整内容を呼び出すと、接続しているコンピュータを登録済みの調整内容に設定できます。

#### 5 決定ボタンを押して、調整内容を呼び出す



#### 6 メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



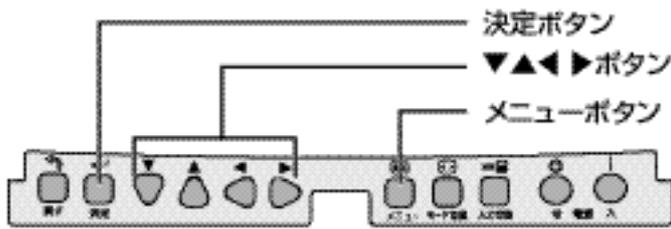
# コンピュータの画面を調整する(つづき)

## 特殊モード設定

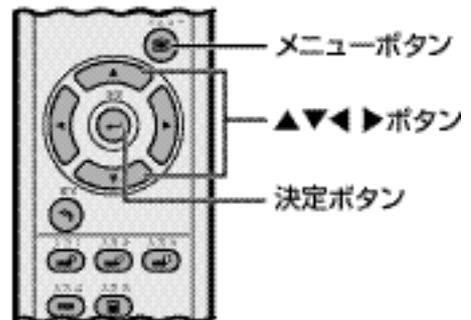
通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、「同期調整」メニュー画面で「特殊モード」を選び、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

- 例えば Macintosh 16 インチモード(832 × 624)入力時は、入力表示が800 × 600のモード表示となり、入力信号と一致しないときに特殊モードで832 × 624を選択します。
- 720p(1280 × 720)入力時は、特殊モードで1280 × 720を選択してください

本体操作部



リモコン



表示画面

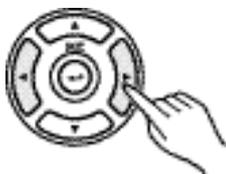
### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



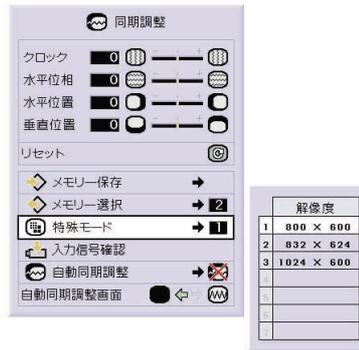
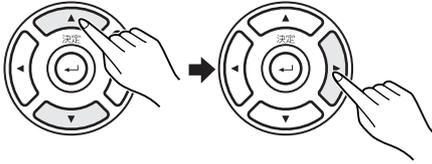
### 2 ◀または▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ



コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させないでください。(チラツキがおり、画面が見にくくなります。)

**3** ① ▲または▼ ボタンを押して、「特殊モード」を選ぶ

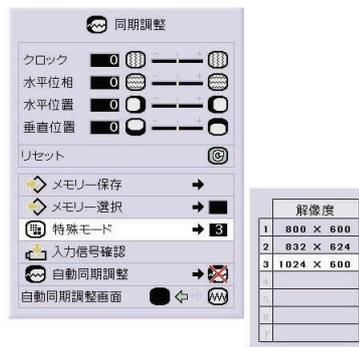
② ▶ ボタンを押す



**4** ▲または▼ ボタンを押して、最適な解像度モードを選ぶ



**5** 決定ボタンを押して、設定する



**6** メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



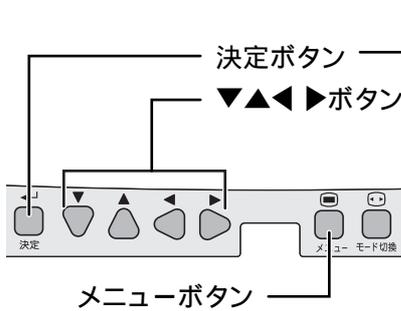
現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、71ページの「入力信号を確認する」をご覧ください。



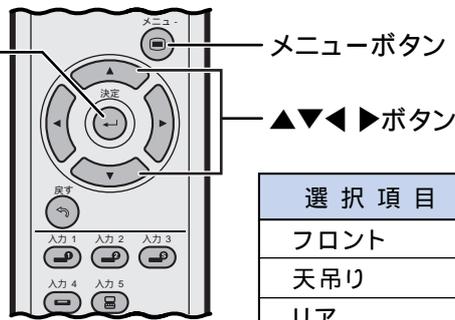
# 映像の左右反転 / 上下反転のしかた

このプロジェクターは映像左右 / 上下反転機能を備えており、投映された映像を左右反転・上下反転することができ、いろいろな対応が可能です。

## 本体操作部



## リモコン



## 表示画面

選択項目	画面
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右 / 上下反転された映像

### 1 メニューボタンを押す



### 2 ◀または▶ ボタンを押して、「投影方式」を選ぶ



### 3 ▲または▼ ボタンを押して、投影方式を選ぶ



### 4 決定ボタンを押して、設定する



### 5 メニューボタンを押して終了する



## メモ

この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については21～23ページをご参照ください。

## フロント 天吊り

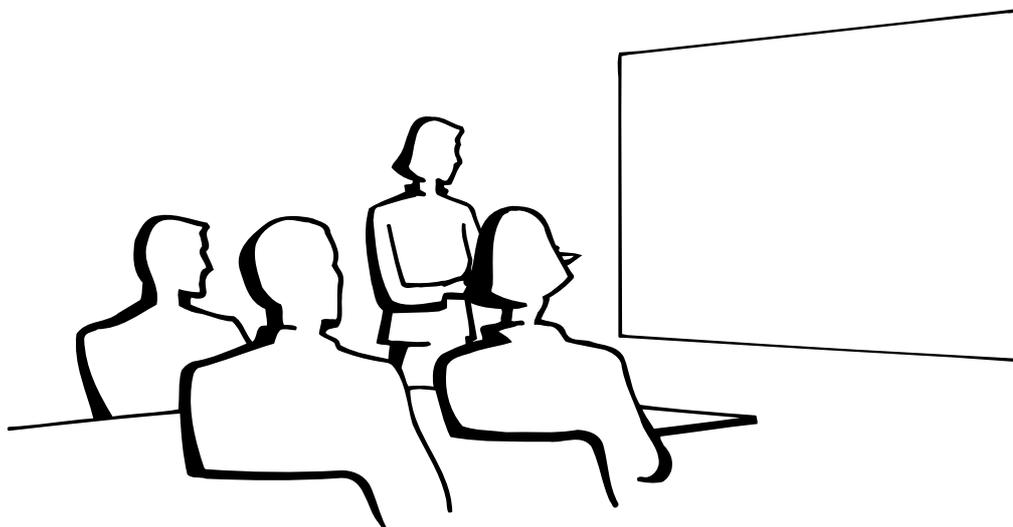


## リア 天吊り+リア





# 便利な機能を使う

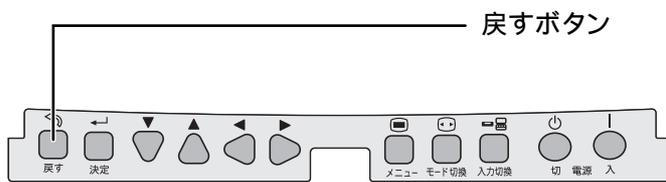


# ガンマ補正

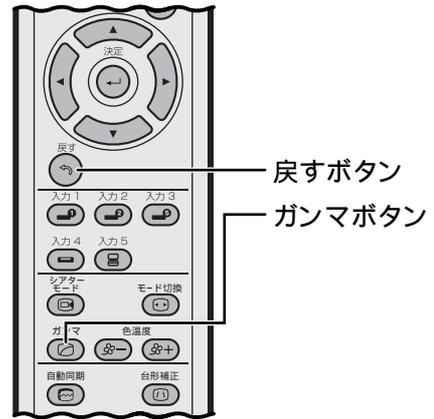
ガンマ補正機能とは、暗いシーンの多い映像では暗部を明るくし見やすくしたり、逆にギラツイ映像ではギラツキを抑え見やすくする機能です。

選択項目	補正内容
標準	ダイナミックガンマ補正が働きます。
ガンマ1	明るいシーンはそのままだ、暗いシーンを明るく見やすくします。
ガンマ2	コントラストとギラツキを抑え、しっとりとした映像を再現します。
ユーザー設定	Sharp Vision Manager を使って、ガンマ値を調整することができます

## 本体操作部



## リモコン



ガンマ補正

便利な機能を使う

### 1 リモコンのガンマボタンを押す



ガンマボタンを押す度に画面が下のようになります。

### 2 「ガンマ」が画面に表示されているときに戻るボタンを押す 標準映像に戻ります。



## 表示画面



# 画像表示モードを選ぶ

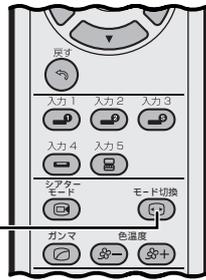
入力された映像に合わせ、カスタマイズすることができます。入力信号の種類によって、「標準」・「ワイド」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ドットバイドット」を選んでください。

## 本体操作部



モード切替ボタン

## リモコン



## 注意

初期の状態に戻るには、「画像表示モード」が画面に表示されているとき、戻すボタンを押してください。

「ワイド」は4:3の縦横比ではありません。SXGA(5:4)信号が入力された場合のみ表示されます。

## 1 モード切替ボタンを押す

モード切替ボタンを押す度に、画像表示モードは下記のように変わります。



## DVD/ビデオ

入力信号	表示イメージ			
	標準	ワイド	ズーム	スクイーズ(フル)
縦横比 4:3 525i 525P NTSC PAL SECAM				
スクイーズ				
750P 1125i 縦横比16:9				

		標準	ワイド	ズーム	スクイーズ(フル)
縦横比 4:3	525i/p NTSC PAL SECAM	960 x 720	1280 x 720	1280 x 720	1280 x 720
	525P	960 x 720	1280 x 720	1280 x 720	1280 x 720
縦横比 16:9	750P	-	-	-	1280 x 720
	1125i	-	-	-	1280 x 720

## コンピュータ

入力信号	表示イメージ	
	標準	ドットバイドット
SVGA 縦横比4:3 (800 x 600)		
XGA 縦横比 4:3 (1024 x 768)		
SXGA 縦横比5:4 (1280 x 1024)		

		標準	ドットバイドット
縦横比 4:3	SVGA (800 x 600)	960 x 720	800 x 600
	XGA (1024 x 768)	960 x 720	1024 x 720
	SXGA (1280 x 960)	960 x 720	1280 x 720
縦横比 5:4	SXGA (1280 x 1024)	900 x 720	1280 x 720





# 省電力モードを選ぶ

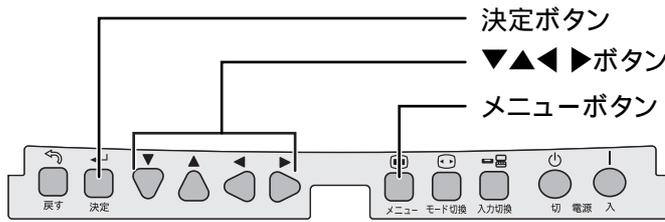
省電力モードは、電源スタンバイ時にプロジェクターの消費電力を減らすための設定です。

選択項目	省電力モード設定			
RS-232C( オフ )機能		RS-232C働かない		RS-232C働く
無信号時自動電源オフ機能		自動電源オフする		自動電源オフしない

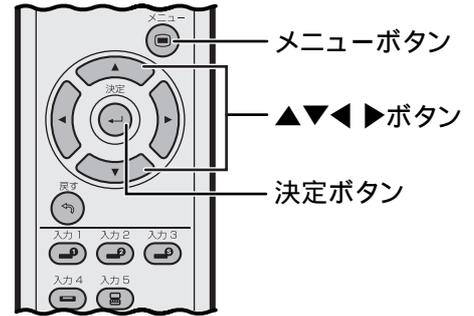
「RS-232C( オフ )機能」の (RS-232C 働かない)は、電源スタンバイ時にオフさせる機能です。

工場出荷状態

## 本体操作部

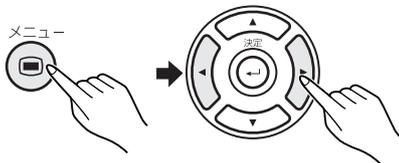


## リモコン



## 表示画面

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ② ▲または▼ ボタンを押して、「省電力モード」の中の「RS232C ポート」または「無信号時自動電源オフ」を選ぶ



- ③ ◀または▶ ボタンを押して、「 (RS-232C 働かない)」か、「 (RS-232C 働く)」を選ぶ



## メモ

手順②で「無信号時自動電源オフ」を選んで設定する場合は、手順③で「 自動電源オフする」か、「 (自動電源オフしない)」を選びます。

4 メニューボタンを押して終了する



## 自動電源オフ機能

無信号時自動電源オフ機能が「 (自動電源オフ)」に設定されているとき、15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは、自動的に電源を切ります。電源が切れる5分前になると、1分ごとに「 分後に電源オフ」の表示が出ます。

5分後に電源オフ





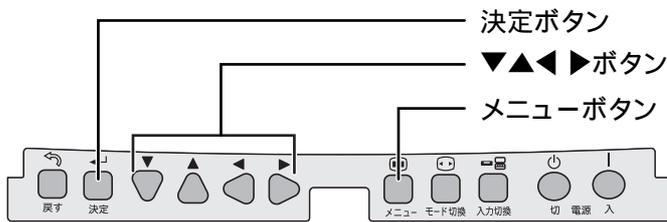
# 画面表示設定機能

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を" (レベルA)"または" (レベルB)"に設定すると、入力切換ボタンを押しても、「入力1」などの画面表示が表れません。

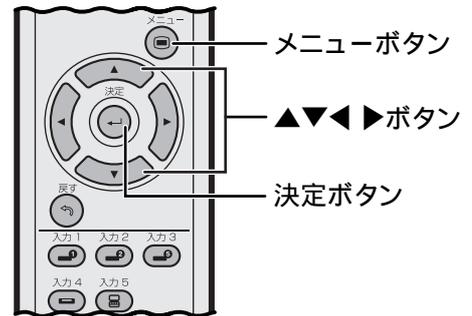
## OSD表示の内容

選択項目	内容
標準	画面表示のすべてが表示されます。
レベルA	入力、自動同期は表示されません。
レベルB	メニューおよび警告用のメッセージ(温度、ランプなど)以外は表示されません。

### 本体操作部

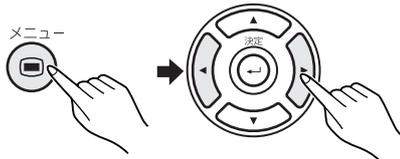


### リモコン

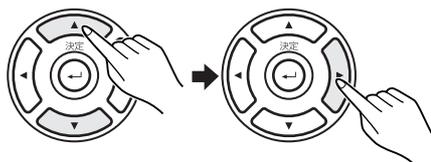


## 表示画面

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ② ▲または▼ボタンを押して、「OSD表示」を選び、▶ボタンを押す



- 3** ▲ または ▼ ボタンを押して、「標準」「レベル A」「レベル B」を選ぶ



- 4** 決定ボタンを押して設定する



- 5** メニューボタンを押して終了する

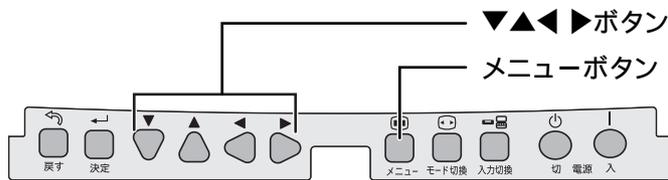




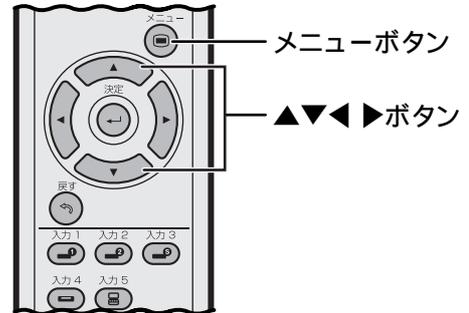
# ノイズを軽減する(DNR)

入力1から入力4に接続した機器の映像を投射しているとき、デジタルノイズリダクション(DNR)を使うことで、微細なドットのチラツキやクロスカラーノイズを軽減できます。

## 本体操作部

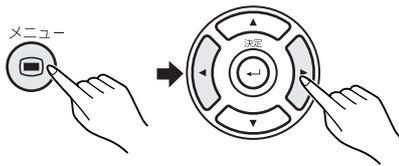


## リモコン



表示画面 (入力5では動きません。)

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ② ▲または▼ ボタンを押して、「3次元 DNR」を選ぶ



- ③ ◀または▶ ボタンを押して、マーク「○(入)」または「●(切)」を選ぶ



- ④ メニューボタンを押して終了する



## メモ

つぎのような場合は、「切」にします。

画像がぼやけて見えるとき。

動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき。

電波が弱いテレビ放送を投射しているとき。

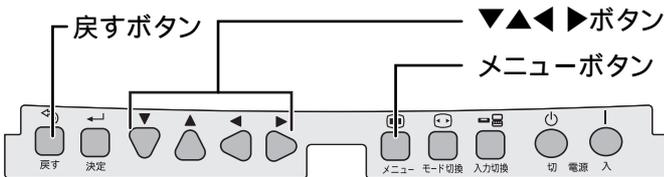
「入力1」、「入力2」では、「3次元DNR」が「DNR」表示に変わります。

# 字幕調整をする

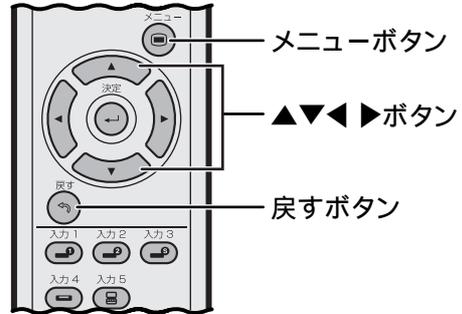
この機能は、映画など字幕の付いた映像を投映したとき、字幕がスクリーンからはみ出したときなど、スクリーン内に収まるように縦方向の画面サイズを調整することができる機能です。

入力1～入力4に接続した機器の画面サイズ(モード切換)をワイドまたはズームに設定しているときに働く機能です。(標準やスクイーズ(フル)では働きません。)

## 本体操作部

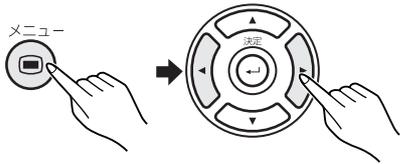


## リモコン



表示画面(入力5では設定できません。)

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ② ▲または▼ボタンを押して、「字幕調整」を選ぶ



- ③ ◀または▶ボタンを押して、画面サイズを調整する



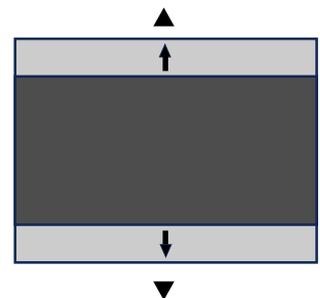
- ④ メニューボタンを押して終了する



## メモ

入力2に入力した信号がRGB信号のときや750p、1125iの信号を入力したときは、字幕調整が動きません。

字幕調整をしたあとに▲または▼ボタンを押すと投映した映像を上下に移動することができます。



戻るボタンを押すと標準の位置に戻ります。

字幕調整をする

便利な機能を使う



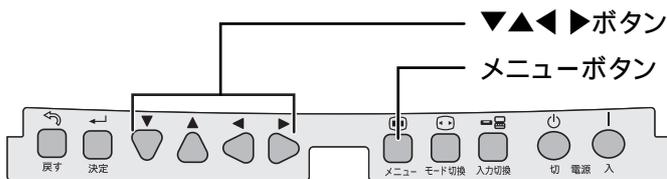


# D 端子制御を設定する

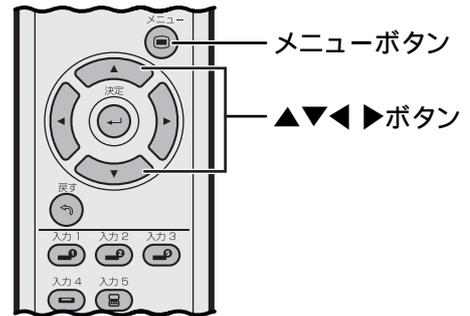
この機能は、入力 1(D 端子)に接続された機器の映像を投映するとき、入力される映像信号に合わせ、最適な画面サイズに自動で切替える機能です。

D 端子制御	(オート)	D 端子からの入力信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、モード切替 (63 ページ) を自動的に最適化します。
	(切)	コンポーネント→D 端子変換ケーブルを使って接続したときや、手で画像表示モードを切替えたいときは「切」に設定してください。

## 本体操作部

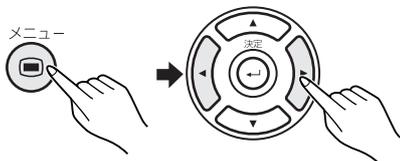


## リモコン



表示画面(入力 1 以外では設定できません。)

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ② ▲または▼ ボタンを押して、「D 端子制御」を選ぶ



- ③ ◀または▶ ボタンを押して、マーク「 (オート)」または「 (切)」を選ぶ



- ④ メニューボタンを押して終了する

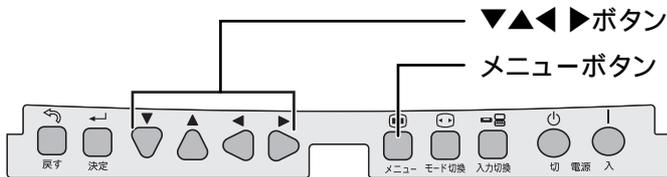




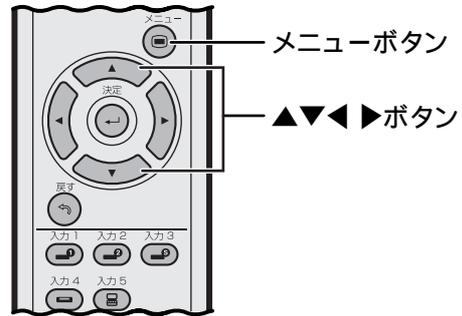
# 入力信号を確認する

この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

## 本体操作部

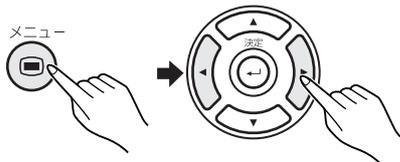


## リモコン



## 表示画面

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ

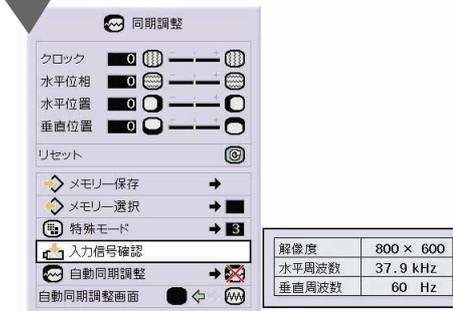


「入力3」、「入力4」では入力信号が確認できません。

- ② ▲または▼ ボタンを押して、「入力信号確認」を選ぶ



現在選択されている入力信号の情報が表示されます。



- ③ メニューボタンを押して終了する



入力信号を確認する

便利な機能を使う



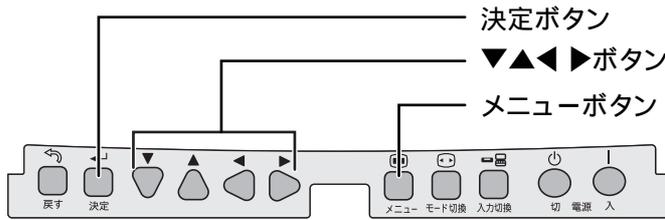


# 無信号時に表示する画面を設定する

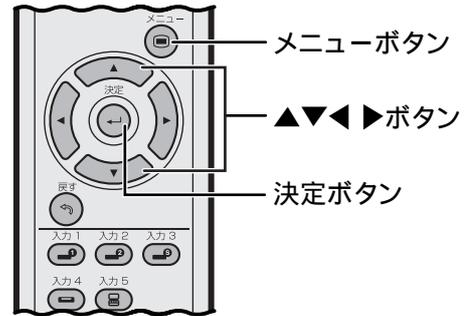
この機能を使って、プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選びます。

選択項目	無信号時画面
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	黒い画面

## 本体操作部

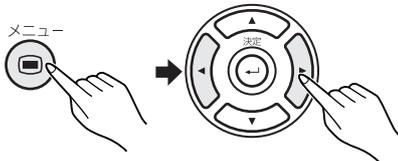


## リモコン

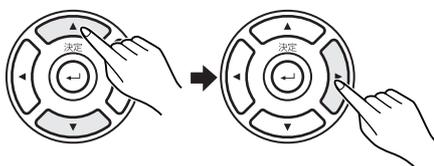


## 表示画面

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ① ▲または▼ ボタンを押して、「無信号時画面」を選ぶ
- ② ▶ ボタンを押す



- ③ ▲または▼ ボタンを押して、無信号時、スクリーンに表示したい画面を選ぶ



## メモ

無信号時画面は、工場出荷時、●画面表示なし(黒い画面)に設定されています。

無信号時に表示する画面を設定する

便利な機能を使う

#### 4 決定ボタンを押して、設定する



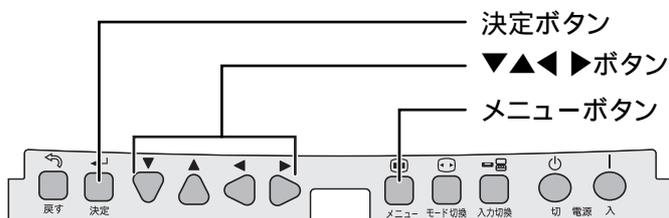
#### 5 メニューボタンを押して終了する



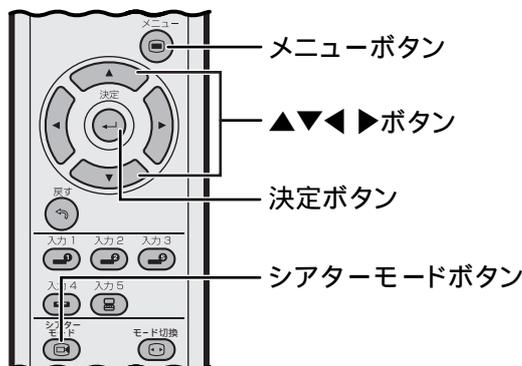
# シアター(明るさ)モード切換えのしかた

投射される光の量を2段階に切換えることができます。画面の明るさを見ながら、お好みの状態に設定してください。

## 本体操作部

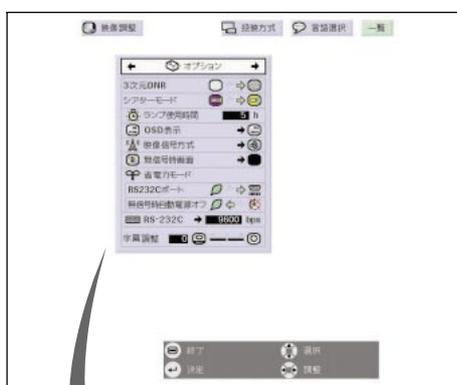
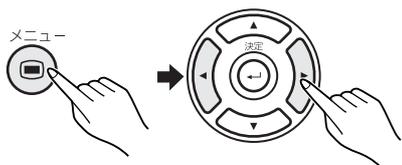


## リモコン



## 表示画面

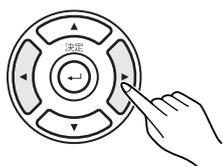
- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ② ▲または▼を押して、「シアターモード」を選ぶ



- ③ ◀または▶を押して、「(ブライツ)」または「(標準)」を選ぶ



- ④ メニューボタンを押して終了する

表示が消え、設定した内容が記憶されます。



## メモ

シアターモード  
 (ブライツ)  
 …… 光の量が100%の状態です。

 (標準)  
 …… 光の量が「 (ブライツ)」に対して70%の状態です。

工場出荷時は「 (ブライツ)」に設定されています。

シアターモードを「 (ブライツ)」にすると冷却ファンの回転が早まり、ファン音が大きくなります。

シアターモード「 (標準)」時でも内部温度が上昇すると冷却のため、冷却ファンの回転が早まりファン音が大きくなる場合があります。

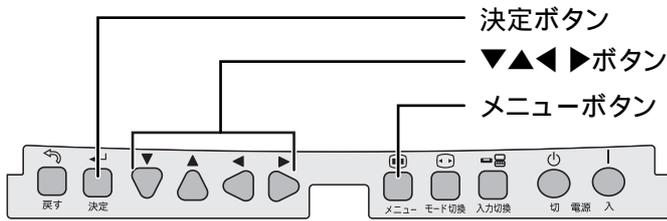
リモコンのシアターモードボタンでも切換えられます。(34ページ参照)



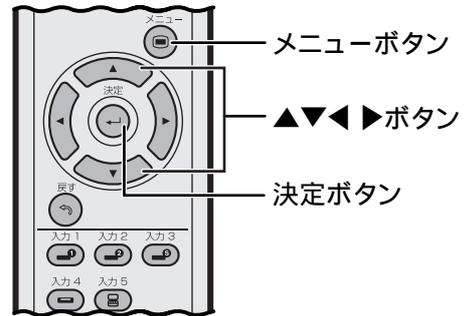
# RS-232Cの通信速度を設定する

RS-232Cの通信速度を選択できます。

## 本体操作部

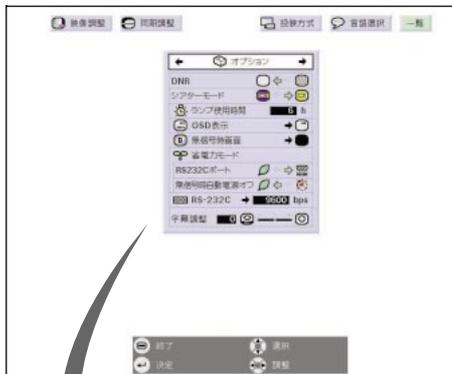
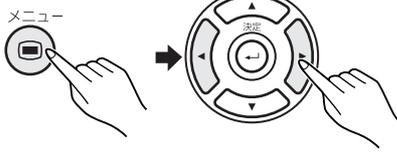


## リモコン

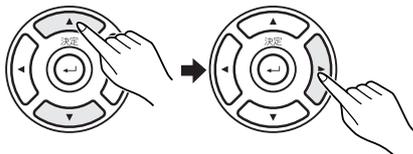


## 表示画面

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



- ① ▲または▼ ボタンを押して、「RS-232C」を選ぶ
- ② ▶ ボタンを押す



- ③ ▲または▼ ボタンを押して、通信速度を選ぶ



- ④ 決定ボタンを押し、設定内容を記憶する



- ⑤ メニューボタンを押して終了する



## メモ

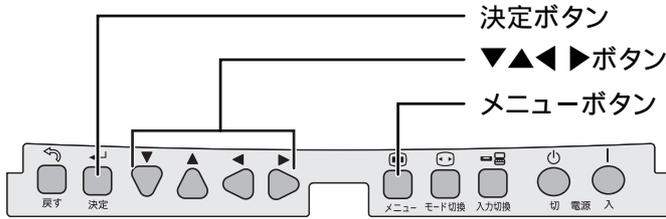
コンピュータとプロジェクターの両方の通信速度を合わせてください。コンピュータの通信速度の設定のしかたは、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。



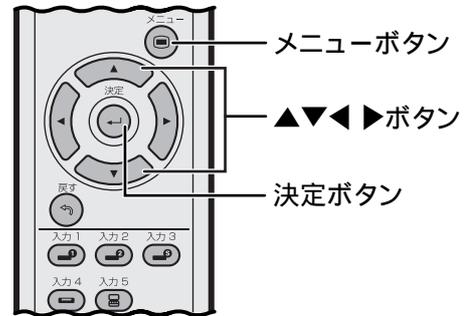
# 画面表示言語を選ぶ

表示画面の言語として、工場出荷時、日本語が設定されています。英語・ドイツ語・スペイン語・オランダ語・フランス語・イタリア語・スウェーデン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・日本語に切替えることができます。

## 本体操作部

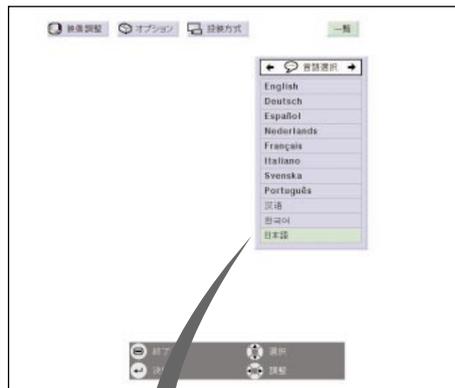
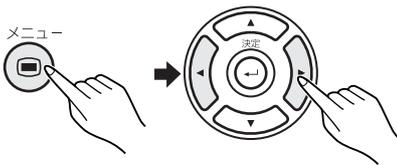


## リモコン



## 表示画面

- ① **メニューボタン**を押す
- ② **◀または▶ボタン**を押して、「言語選択」を選ぶ



- ② **▲または▼ボタン**を押して、表示したい言語を選ぶ



- ③ **決定ボタン**を押して、設定する



表示画面が選択された言語で表示されます。



- ④ **メニューボタン**を押して終了する



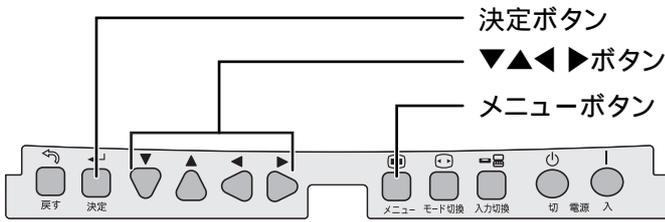
左の例は、日本語から英語に切替える例です。



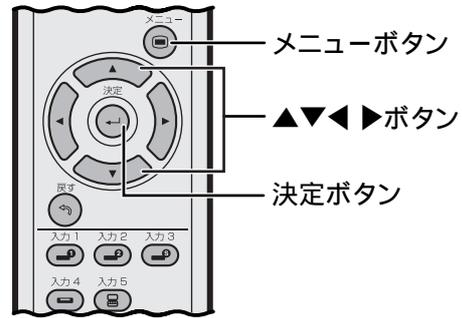
# 調整内容を一覧表示する

この機能を使うと、調整した設定内容をスクリーンに一度にすべて表示することができます。

## 本体操作部

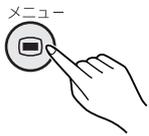


## リモコン

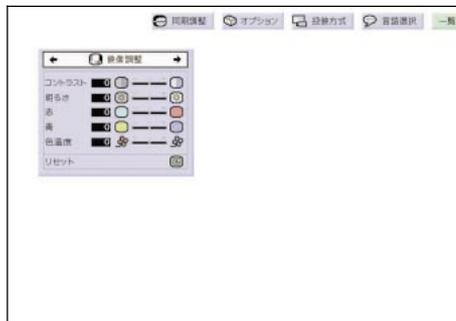


## 表示画面

### 1 メニューボタンを押す



メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



### 2 ◀または▶ボタンを押して、メニューバーの「一覧」を選ぶ



### 3 決定ボタンを押す



調整した設定内容がすべて表示されます。



### 4 メニューボタンを押して終了する



左の例は、入力 1、2、5 モードのものです。入力 3、4 モードでは以下の内容が表示されます。

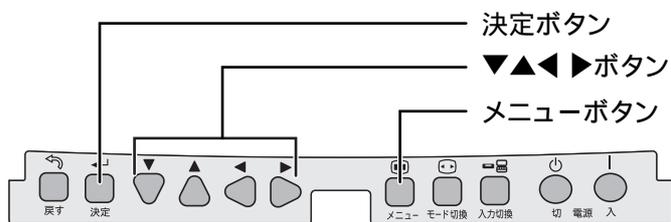


# ランプについて

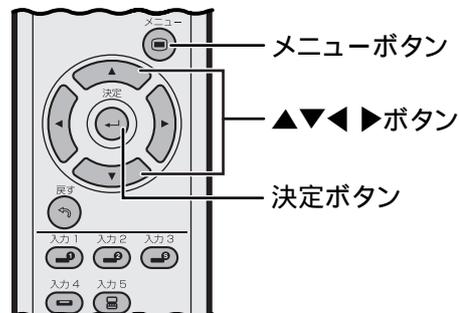
## ランプ使用時間を確認するには

ランプの使用時間が表示されます。

### 本体操作部

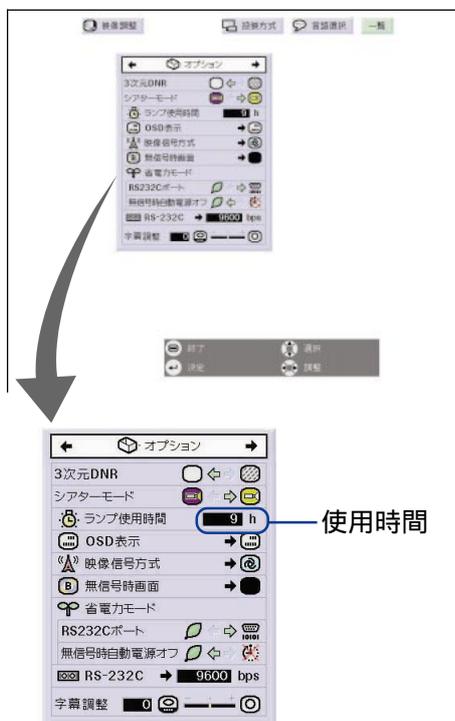
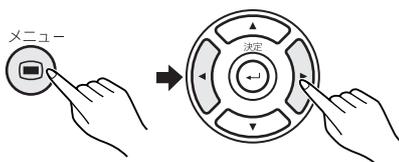


### リモコン



### 表示画面

- ① メニューボタンを押す
- ② ◀または▶ ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



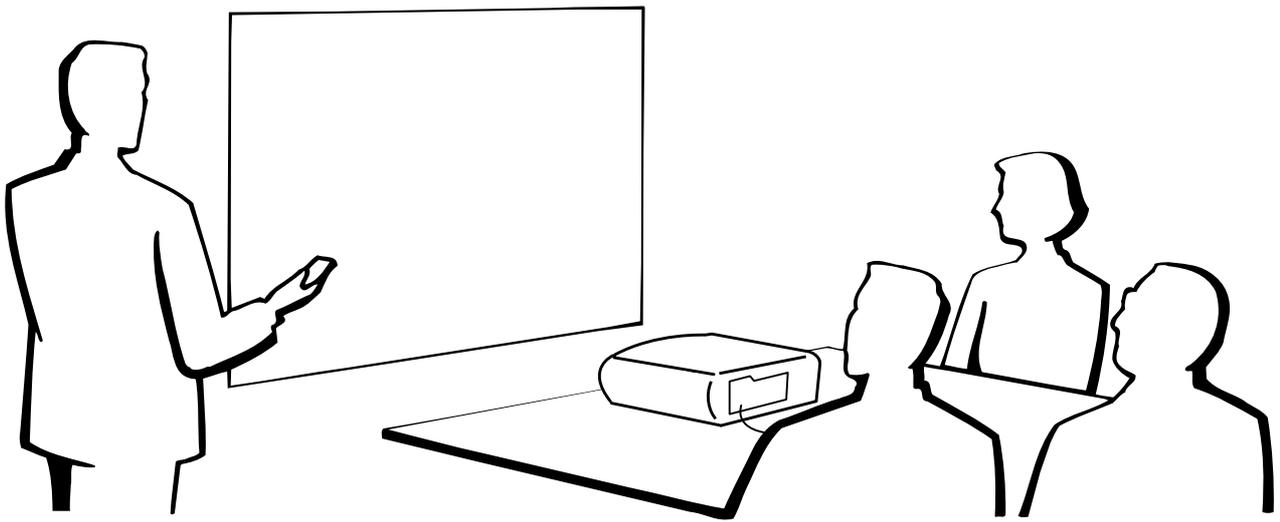
### メモ

ランプは約1900時間の使用で交換することをお奨めします。ランプの交換は、お買い上げの販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口(94ページ)にお問い合わせください。





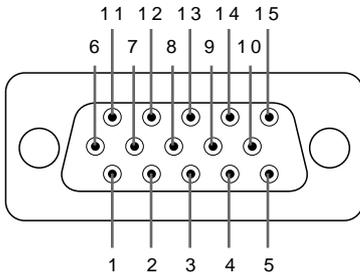
# 付録





# 本体のコネクタのピン配置

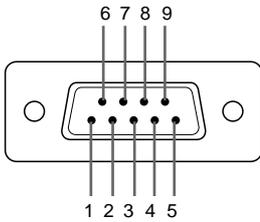
コンピュータRGB入力端子（入力5）  
15ピンミニD-subコネクタ（メス）



・RGB入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	映像入力(赤)	8.	接地(映像青)
2.	映像入力(緑)/グリーンオンシンク	9.	NC
3.	映像入力(青)	10.	接地
4.	予備入力	11.	接地
5.	複合同期信号	12.	データ
6.	接地(映像赤)	13.	水平同期信号
7.	接地(映像緑)/グリーンオンシンク	14.	垂直同期信号
		15.	クロック

PCコントロールケーブル：RS-232Cコネクタ  
9ピンD-subコネクタ（オス）



ピン番号	信号	信号名	I/O	備考
1	CD			NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4	ER			内部回路に接続
5	SG	接地		内部回路に接続
6	DR			内部回路に接続
7	RS			内部回路に接続
8	CS			内部回路に接続
9	CI			NC







# RS-232Cポート仕様(つづき)

## コマンド一覧

"パラメータ"の中でアンダーバー( )で表記されている箇所はスペースを指定します。アスタリスク(\*)で表記されている箇所は「制御内容」( )内の中の範囲で数値を指定します。

制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
電源「入」	POWER	__ 1	OK または ERR
電源「切」	POWER	__ 0	OK または ERR
台形補正(-127 ~ +127)	KEYS	* * *	OK または ERR
入力1 (D4映像)	IRGB	__ 1	OK または ERR
入力2 (コンポーネント/RGB)	IRGB	__ 2	OK または ERR
入力3 (Sビデオ)	I VED	__ 2	OK または ERR
入力4 (ビデオ)	I VED	__ 1	OK または ERR
入力5 (コンピュータRGB)	IRGB	__ 3	OK または ERR
入力確認	ICLK	__ 0	OK または ERR
自動同期調整開始	ADJS	__ 1	OK または ERR
入力1 (D4映像)画面サイズ:標準	RASR	__ 3	OK または ERR
入力1 (D4映像)画面サイズ:ワイド	RASR	__ 4	OK または ERR
入力1 (D4映像)画面サイズ:ズーム	RASR	__ 1	OK または ERR
入力1 (D4映像)画面サイズ:スクイーズ(フル)	RASR	__ 2	OK または ERR
入力2 (コンポーネント/RGB)画面サイズ:標準	RBSR	__ 3	OK または ERR
入力2 (コンポーネント/RGB)画面サイズ:ワイド	RBSR	__ 4	OK または ERR
入力2 (コンポーネント/RGB)画面サイズ:ズーム	RBSR	__ 1	OK または ERR
入力2 (コンポーネント/RGB)画面サイズ:スクイーズ(フル)	RBSR	__ 2	OK または ERR
入力3 (Sビデオ)画面サイズ:標準	RBSV	__ 3	OK または ERR
入力3 (Sビデオ)画面サイズ:ワイド	RBSV	__ 4	OK または ERR
入力3 (Sビデオ)画面サイズ:ズーム	RBSV	__ 1	OK または ERR
入力3 (Sビデオ)画面サイズ:スクイーズ(フル)	RBSV	__ 2	OK または ERR
入力4 (ビデオ)画面サイズ:標準	RASV	__ 3	OK または ERR
入力4 (ビデオ)画面サイズ:ワイド	RASV	__ 4	OK または ERR
入力4 (ビデオ)画面サイズ:ズーム	RASV	__ 1	OK または ERR
入力4 (ビデオ)画面サイズ:スクイーズ(フル)	RASV	__ 2	OK または ERR
入力5 (コンピュータRGB)画面サイズ:標準	RCSR	__ 1	OK または ERR
入力5 (コンピュータRGB)画面サイズ:ドットバイドット	RCSR	__ 3	OK または ERR
RGBガンマ補正:標準	GAMR	__ 1	OK または ERR
RGBガンマ補正:ガンマ1	GAMR	__ 2	OK または ERR
RGBガンマ補正:ガンマ2	GAMR	__ 3	OK または ERR
RGBガンマ補正:ユーザー設定	GAMR	__ 4	OK または ERR
ビデオガンマ補正:標準	GAMV	__ 1	OK または ERR
ビデオガンマ補正:ガンマ1	GAMV	__ 2	OK または ERR
ビデオガンマ補正:ガンマ2	GAMV	__ 3	OK または ERR
ビデオガンマ補正:ユーザー設定	GAMV	__ 4	OK または ERR
入力1 コントラスト(-30 ~ +30)	RAPI	* * *	OK または ERR
入力1 明るさ(-30 ~ +30)	RABR	* * *	OK または ERR
入力1 赤(-30 ~ +30)	RARD	* * *	OK または ERR
入力1 青(-30 ~ +30)	RABE	* * *	OK または ERR
入力1 色の濃さ(-30 ~ +30)	RACO	* * *	OK または ERR
入力1 色合い(-30 ~ +30)	RATI	* * *	OK または ERR
入力1 画質(-30 ~ +30)	RASH	* * *	OK または ERR
入力1 色温度(-3 ~ +3)	RACT	* * *	OK または ERR
入力1 入力項目表示	RARE	__ 0	OK または ERR
入力1 リセット	RARE	__ 1	OK または ERR
入力1 2Dプログレッシブ	RAIP	__ 0	OK または ERR
入力1 3Dプログレッシブ	RAIP	__ 1	OK または ERR
入力1 フィルムモード	RAIP	__ 2	OK または ERR
入力2 コントラスト(-30 ~ +30)	RBPI	* * *	OK または ERR
入力2 明るさ(-30 ~ +30)	RBBR	* * *	OK または ERR
入力2 赤(-30 ~ +30)	RBRD	* * *	OK または ERR
入力2 青(-30 ~ +30)	RBBE	* * *	OK または ERR
入力2 色の濃さ(-30 ~ +30)	RBCO	* * *	OK または ERR
入力2 色合い(-30 ~ +30)	RBTI	* * *	OK または ERR
入力2 画質(-30 ~ +30)	RBSH	* * *	OK または ERR
入力2 色温度(-3 ~ +3)	RBC T	* * *	OK または ERR
入力2 入力項目表示	RBRE	__ 0	OK または ERR
入力2 リセット	RBRE	__ 1	OK または ERR
入力2 入力信号タイプ:RGB	IBSI	__ 1	OK または ERR
入力2 入力信号タイプ:色差入力	IBSI	__ 2	OK または ERR

ボタン・リモート制御

制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
入力2 2Dプログレッシブ	RBIP	__ 0	OK または ERR
入力2 3Dプログレッシブ	RBIP	__ 1	OK または ERR
入力2 フィルムモード	RBIP	__ 2	OK または ERR
入力3 コントラスト(-30 ~ +30)	VBPI	* * *	OK または ERR
入力3 明るさ(-30 ~ +30)	VBBR	* * *	OK または ERR
入力3 赤(-30 ~ +30)	VBRD	* * *	OK または ERR
入力3 青(-30 ~ +30)	VBBE	* * *	OK または ERR
入力3 色の濃さ(-30 ~ +30)	VBCO	* * *	OK または ERR
入力3 色合い(-30 ~ +30)	VBTI	* * *	OK または ERR
入力3 画質(-30 ~ +30)	VBSH	* * *	OK または ERR
入力3 色温度(-3 ~ +3)	VBC T	* * *	OK または ERR
入力3 入力項目表示	VBRE	__ 0	OK または ERR
入力3 リセット	VBRE	__ 1	OK または ERR
入力3 2Dプログレッシブ	VBIP	__ 0	OK または ERR
入力3 3Dプログレッシブ	VBIP	__ 1	OK または ERR
入力3 フィルムモード	VBIP	__ 2	OK または ERR
入力4 コントラスト(-30 ~ +30)	VAPI	* * *	OK または ERR
入力4 明るさ(-30 ~ +30)	VABR	* * *	OK または ERR
入力4 赤(-30 ~ +30)	VAR D	* * *	OK または ERR
入力4 青(-30 ~ +30)	VABE	* * *	OK または ERR
入力4 色の濃さ(-30 ~ +30)	VACO	* * *	OK または ERR
入力4 色合い(-30 ~ +30)	VATI	* * *	OK または ERR
入力4 画質(-30 ~ +30)	VASH	* * *	OK または ERR
入力4 色温度(-3 ~ +3)	VACT	* * *	OK または ERR
入力4 入力項目表示	VA RE	__ 0	OK または ERR
入力4 リセット	VA RE	__ 1	OK または ERR
入力4 2Dプログレッシブ	VAIP	__ 0	OK または ERR
入力4 3Dプログレッシブ	VAIP	__ 1	OK または ERR
入力4 フィルムモード	VAIP	__ 2	OK または ERR
入力5 コントラスト(-30 ~ +30)	RCPI	* * *	OK または ERR
入力5 明るさ(-30 ~ +30)	RCBR	* * *	OK または ERR
入力5 赤(-30 ~ +30)	RCRD	* * *	OK または ERR
入力5 青(-30 ~ +30)	RCBE	* * *	OK または ERR
入力5 色温度(-3 ~ +3)	RCCT	* * *	OK または ERR
入力5 入力項目表示	RCRE	__ 0	OK または ERR
入力5 リセット	RCRE	__ 1	OK または ERR
クロック(-150 ~ +150)	INCL	* * *	OK または ERR
水平位相(-60 ~ +60)	INPH	* * *	OK または ERR
水平位置(-150 ~ +150)	IHP	* * *	OK または ERR
垂直位置(-60 ~ +60)	IAMP	* * *	OK または ERR
RGB 項目表示	IARE	__ 0	OK または ERR
RGB 同期調整リセット	IARE	__ 1	OK または ERR
メモリー保存(1~7)	MEMS	__ *	OK または ERR
メモリー選択(1~7)	MEML	__ *	OK または ERR
RGB水平周波数確認	TFRQ	__ 1 kHz (***) または ( )	
RGB垂直周波数確認	TFRQ	__ 2 kHz (***) または ( )	
自動同期調整OFF	AADJ	__ 0	OK または ERR
手動同期調整	AADJ	__ 1	OK または ERR
自動同期調整(高速)	AADJ	__ 2	OK または ERR
自動同期調整画面 ON	IMAS	__ 1	OK または ERR
自動同期調整画面 OFF	IMAS	__ 0	OK または ERR

映像調整

同期調整

RS-232Cポート仕様(つづき)

付録



制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
3次元 DNR (3次元 ビデオノイズリダクション) OFF	3DNR	0	OK または ERR
3次元 DNR (3次元 ビデオノイズリダクション) ON	3DNR	1	OK または ERR
シアターモード 標準	THMD	1	OK または ERR
シアターモード ブライト	THMD	0	OK または ERR
ランプ使用時間	TLTT	1 0 ~ 9999 (整数)	
OSD表示 標準	IMDI	1	OK または ERR
OSD表示 OFF (レベルA)	IMDI	2	OK または ERR
OSD表示 OFF (レベルB)	IMDI	0	OK または ERR
無信号時画面: ブルーバック	IMBG	1	OK または ERR
無信号時画面: 画面表示なし	IMBG	2	OK または ERR
無信号時自動電源オフ: しない	APOW	0	OK または ERR
無信号時自動電源オフ: する	APOW	1	OK または ERR
D端子制御: 切	DCTL	0	OK または ERR
D端子制御: オート	DCTL	1	OK または ERR
映像信号方式: 自動	MESY	1	OK または ERR
映像信号方式: PAL	MESY	2	OK または ERR
映像信号方式: SECAM	MESY	3	OK または ERR
映像信号方式: NTSC4.43	MESY	4	OK または ERR
映像信号方式: NTSC3.58	MESY	5	OK または ERR
映像信号方式: PAL_M	MESY	6	OK または ERR
映像信号方式: PAL_N	MESY	7	OK または ERR
入力1 字幕調整: ズーム時(-30 ~ +30)	RAS0	***	OK または ERR
入力1 字幕調整: ワイド時(-30 ~ +30)	RAS1	***	OK または ERR
入力2 字幕調整: ズーム時(-30 ~ +30)	RBS0	***	OK または ERR
入力2 字幕調整: ワイド時(-30 ~ +30)	RBS1	***	OK または ERR
入力3 字幕調整: ズーム時(-30 ~ +30)	VBS0	***	OK または ERR
入力3 字幕調整: ワイド時(-30 ~ +30)	VBS1	***	OK または ERR
入力4 字幕調整: ズーム時(-30 ~ +30)	VAS0	***	OK または ERR
入力4 字幕調整: ワイド時(-30 ~ +30)	VAS1	***	OK または ERR
投映方式: 左右反転OFF	IMRE	0	OK または ERR
投映方式: 左右反転ON	IMRE	1	OK または ERR
投映方式: 上下反転OFF	IMIN	0	OK または ERR
投映方式: 上下反転ON	IMIN	1	OK または ERR

制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
言語選択: ENGLISH	MELLA	1	OK または ERR
言語選択: DEUTSCH	MELLA	2	OK または ERR
言語選択: ESPAÑOL	MELLA	3	OK または ERR
言語選択: NEDERLANDS	MELLA	4	OK または ERR
言語選択: FRANÇAIS	MELLA	5	OK または ERR
言語選択: ITALIANO	MELLA	6	OK または ERR
言語選択: SVENSKA	MELLA	7	OK または ERR
言語選択: 日本語	MELLA	8	OK または ERR
言語選択: PORTUGUÊS	MELLA	9	OK または ERR
言語選択: 汉语	MELLA	10	OK または ERR
言語選択: 한국어	MELLA	11	OK または ERR

同期調整は、RGB モードで設定できます。





# ワイヤードリモコン端子仕様

## ワイヤードリモートコントロール入力仕様

- ・ 3.5 ミニジャック
- ・ 外部：GND
- ・ 内部：3.3V

## 機能および伝送コード

制御項目	システムコード					データコード								外部コード	
(機能)	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
電源「入」	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
電源「切」	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0
メニュー	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
▲	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0
▼	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0
◀	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
▶	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0
決定	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0
戻す	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0
シアターモード	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0

制御項目	システムコード					データコード								外部コード	
(機能)	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
モード切替	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0
ガンマ補正	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
色温度 +	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0
色温度 -	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0
自動同期調整	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0
台形補正	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0
入力1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0
入力2	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0
入力3	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0
入力4	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0
入力5	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0

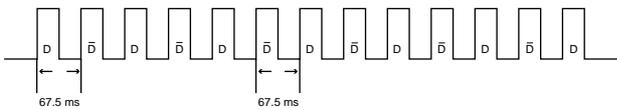
## ワイヤードリモートコントロール機能用コード

LSB					MSB										
C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	
1	0	1	1	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1	0

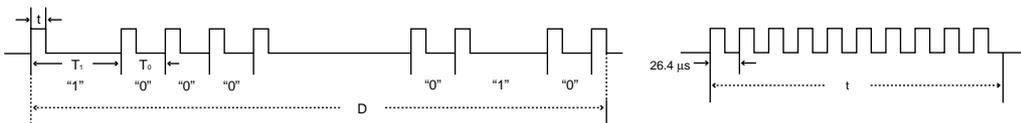
C1 から C5 までのシステムコードは "10110" 固定です。  
C14 と C15 のコードはリバース確定ビットで、"10" は「前」、"01" は「後」を示しています。

## シャープリモートコントロール信号形式

伝送フォーマット：15 ビット形式



出力信号の波形：パルスポジションモジュレーションを使用した出力



- ・  $t = 26.4 \mu s$
- ・  $T_1 = 2.10 ms$
- ・  $T_2 = 1.05 ms$
- ・ パルスキャリア周波数 = 455/12 kHz
- ・ デューティレシオ = 1:1

## 伝送制御コード

### 15ビット

C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
System Address					Function Key Data Bit					Data Expansion	Mask	Data Determination		
D to $\bar{D}$ Common Data Bit					Reverse in $\bar{D}$									

### リバースDto $\bar{D}$ への例

D	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
$\bar{D}$	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1





# RGB 入力信号(推奨信号)について

下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規準以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	Resolution	Horizontal Frequency (kHz)	Vertical Frequency (Hz)	VESA Standard	Display		
PC	640 x 350	27.0	60		Upscale		
		31.5	70				
		37.9	85	X			
		720 x 350	27.0	60			
			31.5	70			
			27.0	60			
	640 x 400	31.5	70				
		37.9	85	X			
		27.0	60				
	720 x 400	31.5	70				
		37.9	85	X			
		26.2	50				
	640 x 480	31.5	60	X			
		34.7	70				
		37.9	72	X			
		37.5	75	X			
		43.3	85	X			
		47.9	90				
		53.0	100				
		SVGA	800 x 600	31.4		50	
				35.1		56	X
				37.9		60	X
	44.5			70			
	48.1			72		X	
	46.9			75		X	
	53.7			85		X	
	56.8			90			
	64.0	100					
	XGA	1,024 x 768	35.5	43		X	
			40.3	50			
56.5			70	X			
58.1			72				
68.7			85	X			
73.5			90				
77.2			96				
80.6			100				

PC/MAC/WS	Resolution	Horizontal Frequency (kHz)	Vertical Frequency (Hz)	VESA Standard	Display	
PC	SXGA	1,152 x 864	54.3	60		Advanced Intelligent Compression
			64.0	70		
			64.1	72		
			67.5	75	X	
			75.7	80		
			54.8	60		
	1,152 x 882	65.9	72			
		67.4	74			
		64.0	60	X		
PC/MAC 13"	VGA	640 x 480	34.9	67		Upscale
PC/MAC 19"	XGA	1,024 x 768	48.4	60	X	Advanced Intelligent Compression
			60.0	75	X	
MAC 16"	SVGA	832 x 624	46.8	75		Upscale
			49.6	75		
MAC 21"	SXGA	1,152 x 870	68.5	75		Advanced Intelligent Compression
PC (WS)	SXGA	1,280 x 960	60.0	60	X	
SGI (WS)			53.5	50		
SUN (WS)	SXGA	1,152 x 900	60.9	66		
PC			720p	1,280 x 720	45.0	60

RGB 入力信号(推奨信号)について

付録



本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型パソコンからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型パソコン側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型パソコンの操作マニュアルに記載されています。

本機は 640 x 350 VESA 形式の VGA 信号を受け取ることができますが、スクリーン上では"640 x 400"と表示されます。

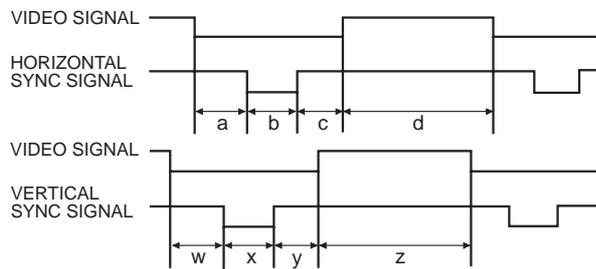
選択したモードによっては、プロジェクターは 130Hz 以下でも映像をはっきりと投射します。



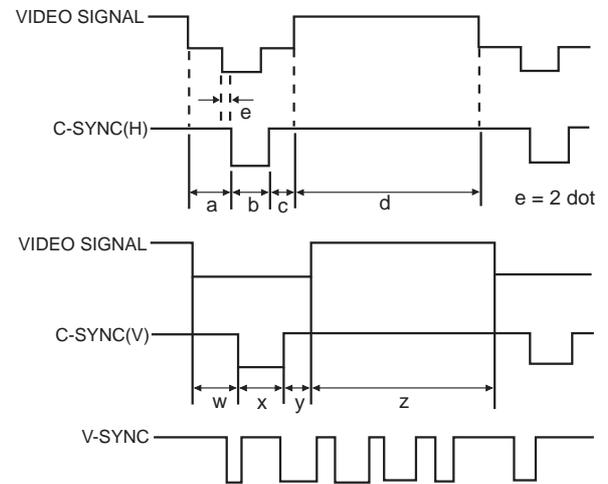
# RGB入力信号(推奨信号)について(つづき)

種類の違うコンピュータ信号のコンピュータ出力信号のタイミングを参考までに示します。

## IBMコンピュータ・互換機



## Macintoshシリーズ





正しくお使いいただくために





# お手入れのしかた

## キャビネットの手入れのしかた

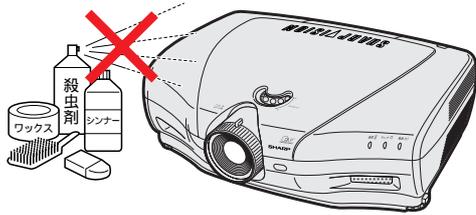
キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

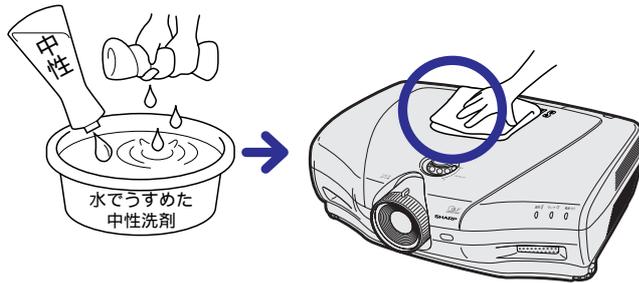
殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるといった原因となります。



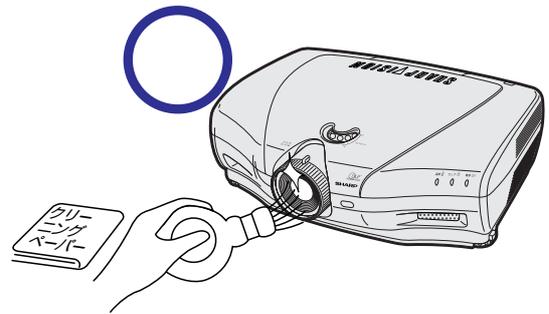
汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



## レンズの手入れのしかた

レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。

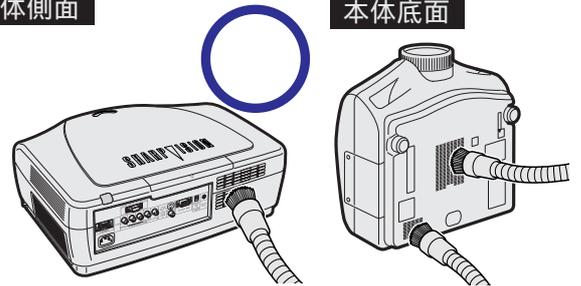


## フィルター部(固定)の手入れのしかた

フィルター部(固定)の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

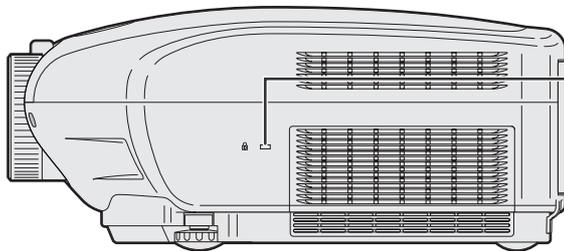
本体側面

本体底面



## 盗難防止用コネクターについて

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。



盗難防止用コネクター  
(Kensington Security Standard connector)



盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラロイド株式会社 電子映像グループ

〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル Tel:03-3438-8879 Fax:03-5473-1630

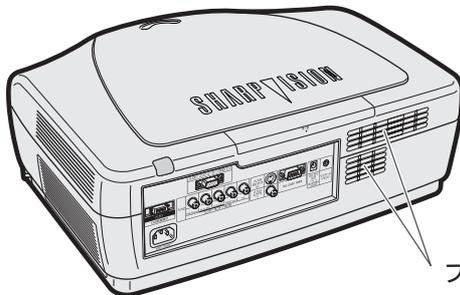




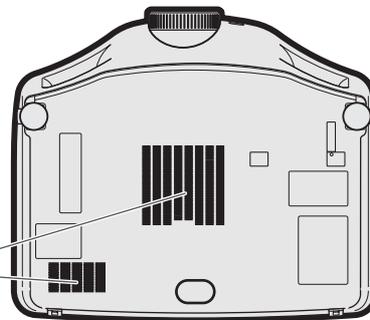
# フィルターのお手入れ

フィルターは、約 100 時間使用毎を目安に掃除を行ってください。特にほこりの多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。

本体背面

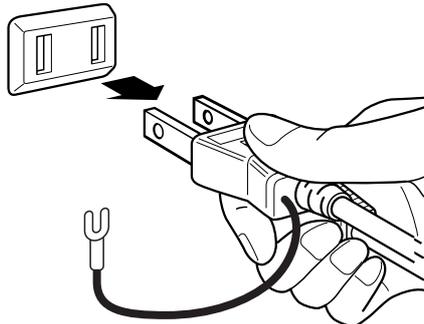


本体底面



フィルター部

## 1 電源プラグをコンセントから抜く



アース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

## 2 フィルターを掃除する

掃除機でフィルターのほこりを吸い取ります。



### ! 注意

プロジェクターの動作中にフィルターの掃除を行う場合は、電源「切」ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約 90 秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

フィルターの  
お手入れ

正しく  
お使いいただく  
ために



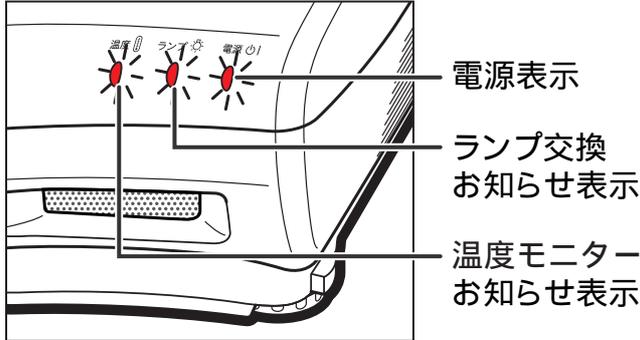


# お知らせ表示について

本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。

お知らせ表示には温度モニターお知らせ表示とランプ交換お知らせ表示があります。

内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターお知らせ表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。



## 温度モニター機能について

設置状況やフィルターのめづまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が点滅します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



お知らせランプ		現象	考えられる原因	処置のしかた
正常	異常			
温度モニター お知らせ表示	消灯	内部温度が高温になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通風孔がふさがれている。</li> <li>●フィルターのめづまり</li> <li>●冷却ファンの故障</li> <li>●内部回路の故障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しい設置場所に設置してください。</li> <li>●89ページの手順に従ってフィルターの手入れをしてください。</li> <li>●販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口にて修理を依頼してください。</li> </ul>
	青色点灯 青色点滅は光源起動中	赤色点灯 電源・切  赤色点滅	ランプが点灯しない  ランプ交換時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランプが切れた</li> <li>●ランプ点灯回路故障</li> <li>●ランプの使用時間が1900時間を超えた</li> </ul>

## ！ 注意

温度モニターお知らせ表示が点灯し、電源が切れた場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて上記の処置を行った後、電源を入れ直してください。(約5分以上)

一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。

プロジェクターの動作中にフィルターの掃除または交換を行う場合は、電源「切」ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。



## ランプについて

光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は、のべ使用時間が約 2,000 時間です。1,900 時間を超えたら、なるべく早めに新しいランプ(別売)と交換してください。1,900 時間を超えなくても使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は、早めに新しいランプと交換してください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。(78 ページ参照)ランプの保証期間は、6 ヶ月 1,000 時間以内です。6 ヶ月以内でも 1,000 時間を超えたり、1,000 時間以内でも 6 ヶ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。

ランプの取り替えは、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(94 ページ)にお問い合わせください。

 **注意** ランプの光は有害です。プロジェクターを操作しているときは、プロジェクターの部品やレンズをのぞきこまないでください。

 プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命は 2,000 時間以下になることがあります。

## ランプ交換お知らせ機能について

ランプの総使用時間数が 1,900 時間を越えると、画面に黄色「ランプ」が表示され、2,000 時間になると「ランプ」表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。

ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4 回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。





# 故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像が出ない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	24
	接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	表示させる画面の選択(入力切換)がまちがっていませんか。	33
	プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	24～30
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。	17
	ノートパソコンを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	-
 色がうすい、色あいが悪い	映像調整は、正しく調整されていますか。	42・47
	ビデオ入力するとき ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	44
	入力2の映像を投射しているときは、入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	43
 映像がボヤける ノイズが発生する	レンズのフォーカスは合っていますか。	35
	投射距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	22
	コンピュータ入力するとき 同期調整(クロック調整)を行ってみてください。	48～49
	同期調整(位相調整)を行ってください。 コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	48～49 -
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせランプが点灯する	「お知らせ表示について」をご覧ください。	90～91
リモコンが正しく動作しない	乾電池が消耗していませんか。 乾電池は正しく入っていますか。	17～18
冷却ファンの音が急に大きくなる	周囲温度が高くなっていませんか。 フィルターのお手入れを実施してください。	90 89
シアターモードを「  (ブライト)」にすると、冷却ファンの音が大きくなる	シアターモードを「  (ブライト)」にすると明るくできますが内部温度の上昇を防ぐため、冷却ファンの回転数を自動的に早めます。そのためファン音が大きくなります。	74
D端子制御でモード切換が正しく働かない	コンポーネント出力端子(Y/Cb(Pb)/Cr(Pr)端子)から出力される信号をコンポーネント-D端子変換ケーブルを使って入力1端子に接続したときは、モード切換が正しく動きません。D端子制御を「  (切)」にしてください。	70

故障かな？と思ったら

正しくお使いいただくために





# アフターサービスについて

## 保証について

- ① このシアタープロジェクターには、保証書がついています。  
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、光源(ランプ)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。  
故障のときは、お申し付けにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- ④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

## 保証期間

光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。  
光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。

## 補修用性能部品について

シアタープロジェクターの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

## 修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申し付けください。故障のままお使いになったり、ご自分で修理は危険です。  
ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理依頼時につぎのことをお知らせください。

商品名 シアタープロジェクター  
形名 XV-Z9000  
故障状況(できるだけくわしく)  
ご氏名  
ご住所(付近の目印など道順)  
お電話番号

## お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

## 愛情点検



## 長年ご使用のシアタープロジェクターの点検をこんな症状はありませんか？

電源コードやプラグが異常に熱い。電源ボタンを入れても映像が出ない、また出るまでに時間がかかる。画面が映ったり、消えたりする。映像が乱れたり、色がきれいにでない。その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。





# お客様ご相談窓口のご案内

修理サービスを依頼される前に92ページの「故障かな?と思ったら」をお読みください。

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室またはお客様ご相談窓口へお寄せください。  
お電話でお寄せいただく場合は、電話番号をよくお確かめのうえおかけいただくようお願い申し上げます。  
まちがい電話は相手の方に迷惑になるだけでなく、お客様にとっても不経済なものとなります。

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ  
なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

製品の故障や部品のご購入などのご相談は..... **修理ご相談窓口** へ

(注) \*印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。

製品に対するご意見・ご要望などは..... **一般ご相談窓口** へ

## 修理ご相談窓口

出張修理のご相談はCSセンターにご連絡ください。

受付時間:月曜日～土曜日 午前9時～午後5時40分

(日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

## シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地	
北海道	CSセンター	(011)641-4690		東京都	*城北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町 1-33-11	
	*札幌	(011)641-4685	札幌市西区二十四軒 1条 7-3-17		*世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀 3-8-18	
	北見	(0157)36-4649	北見市三輪 435		*田端	(03)5692-7765	東京都北区東田端 2-13-17	
	帯広	(0155)21-6925	帯広市西 8 条南 3-17		*三多摩	(042)586-6059	日野市日野台 5-5-4	
	青森県	室蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町 1-9	神奈川県	CSセンター	(03)5692-7722	
		釧路	(0154)25-4649	釧路市光陽町 8-13		*横浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原 1-2-23
		旭川	(0166)25-4649	旭川市一条通 4-左 10		*湘南	(0463)54-4738	平塚市田村 1381
		函館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町 31-17		*相模原	(0427)59-4195	相模原市横山 2-2-12
秋田県		青森	(0177)38-0281	青森市妙見 3-3-4	山梨県	CSセンター	(03)5692-7722	
		弘前	(0172)27-4649	弘前市豊田 3-5-1		*山梨	(055)228-5375	甲府市富竹 2-1-17
		八戸	(0178)44-4649	八戸市小中野 2-8-16		静岡県	CSセンター	(054)285-9360
岩手県		秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反 170-56	*静岡		(054)285-9340	静岡市曲金 6-8-44
	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口 5	*沼津	(0559)22-5249		沼津市宮前町 11-4	
宮城県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南 3-1-1	*浜松	(053)463-4680	浜松市植松町 1476-2		
	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町 4-6-43	長野県	CSセンター	(026)293-6612		
山形県	CSセンター	(022)288-9250			*松本	(0263)27-4694	松本市芳野 8-14	
	*宮城	(022)288-9142	仙台市若林区卸町東 3-1-27	*長野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢 6877-1		
福島県	山形	(023)631-4649	山形市飯田 2-7-43	愛知県	CSセンター	(052)332-5880		
	酒田	(0234)24-4649	酒田市大町 19-5		*名古屋	(052)332-2623	名古屋市中区山王 3-5-5	
新潟県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁 33-1		*岡崎	(0564)24-2343	岡崎市柿田町 1-2-1	
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町 41-2	*豊橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口 17-1		
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘 37-10	岐阜県	CSセンター	(052)332-5880		
栃木県	CSセンター	(025)285-1513			*岐阜	(058)273-4969	岐阜市六条南 3-12-9	
	*新潟	(025)285-3663	新潟市上所中 1-7-21	三重県	CSセンター	(052)332-5880		
	*長岡	(0258)23-1819	長岡市埴田屋町崩 2600		*三重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池 328	
群馬県	CSセンター	(03)5692-7722		富山県	CSセンター	(076)269-1875		
	*群馬	(027)252-4706	前橋市問屋町 1-3-7		*富山	(076)451-2459	富山市金泉寺 71-1	
	茨城県	*小山	(0282)62-5466	下都賀郡藤岡町藤岡 5201	石川県	CSセンター	(076)269-1875	
CSセンター		(03)5692-7722		*金沢		(076)249-2434	石川郡野々市町御経塚町 1096-1	
*茨城		(029)241-4930	水戸市千波町 1963	福井県	CSセンター	(076)269-1875		
*南茨城	(0298)57-9130	つくば市栗原 2857-9	*福井		(0776)54-2459	福井市北四ツ居町 625		
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722		滋賀県	CSセンター	(06)6795-2899		
	*埼玉中央	(048)666-7987	さいたま市宮原町 2-107-2		*滋賀	(077)545-4692	大津市栗林町 11-35	
	*埼玉東	(0489)78-7101	越谷市南荻島 346-1	*彦根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町 133		
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722		京都府	CSセンター	(06)6795-2899		
	*千葉	(043)299-8840	千葉市美浜区中瀬 1-9-2		*京都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町 48	
	*西千葉	(0473)68-4766	松戸市稔台 295-1		*北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町 6-13	
	*東千葉	(0479)79-1181	八日市場市高字東 2779-4		大阪府	CSセンター	(06)6795-2800	
	*木更津	(0438)37-7912	木更津市請西 2-5-22			*大阪	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西 1-2-9
東京都	CSセンター	(03)5692-7722		*堺		(0722)45-4651	堺市老松町 1-39	
	*江東	(03)3626-4642	東京都墨田区石原 2-12-3	*大阪TC		(06)6794-5611	大阪市平野区加美南 3-7-19	
	*城南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込 1-5-15	*南大阪		(0724)31-1950	貝塚市沢 1215	
	(兵庫)			*北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川 5-15-3		
	*阪神	(06)6421-4877				尼崎市猪名寺 3-2-10		

お客様のご相談窓口のご案内

正しくお使いいただくために



担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地	
兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899	神戸市須磨区弥栄台 3-15-2 神戸市東灘区魚崎北町 1-6-18 姫路市青山 5-7-7	香川県	[ *香川	(087)823-4901	高松市朝日町 6-2-8	
	[ *兵庫	(078)791-1541		徳島県	CSセンター	(088)625-4684	徳島市中常三島町 3-11-14	
	[ *神戸	(078)453-4651			[ *徳島	(088)625-4654		
	[ *姫路	(0792)66-1819	愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	松山市高岡町 178-1		
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899		[ *愛媛	(089)971-4563			
	[ *奈良	(0743)53-6693	大和郡山市美濃庄町 492	高知県	CSセンター	(088)882-4021	高知市高須 960-1	
	[ *奈良南	(0745)65-1492	御所市茅原 4-3		[ *高知	(088)882-4635		
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	和歌山市西小二里 2-4-91 田辺市稲成町 441-1	福岡県	CSセンター	(092)586-1122	福岡市博多区井相田 2-12-1 久留米市御井旗崎 3-7-14 北九州市小倉北区大手町 6-12	
	[ *和歌山	(073)445-4615				[ *福岡		(092)572-4652
	[ *南紀	(0739)25-3121				[ *南福岡		(0942)45-8211
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町 2-204		[ *北九州	(093)592-4677		
岡山県	CSセンター	(086)292-1707	都窪郡早島町矢尾 828	佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	佐賀市鍋島町八戸五本松籠 2043-2	
	[ *岡山	(086)292-1709				[ *佐賀		(0952)24-9450
島根県	CSセンター	(0852)24-4811	松江市西津田 3-1-10	長崎県	CSセンター	(095)844-1870	大村市古賀島町 613-3	
	[ *松江	(0852)24-4810				[ *長崎		(0957)52-3511
広島県	CSセンター	(082)874-8071	広島市安佐南区西原 2-13-4 東広島市八本松東 4-3-30 福山市津之郷町津之郷上開地	大分県	CSセンター	(097)552-9416	大分市松原町 3-5-3	
	[ *広島	(082)874-8149				[ *大分		(097)552-2313
	CSセンター	(0824)28-7448			熊本県	CSセンター	(096)366-7070	熊本市新屋敷 3-15-17 本渡市港町 19-3
	[ *東広島	(0824)28-7490				[ *熊本	(096)364-4777	
	CSセンター	(0849)51-7644				天草	(0969)23-8711	
	[ *福山	(0849)51-7654	宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	宮崎市原町 4-12		
山口県	CSセンター	(083)972-0870	吉敷郡小郡町若草町 4-12 下松市西豊井 173-1	鹿児島県	CSセンター		(099)253-0250	鹿児島市鴨池新町 12-1
	[ *山口	(083)972-0891				[ *鹿児島	(099)253-4600	
	[ *東山口	(0833)44-0923						
香川県	CSセンター	(087)823-5513						

#### 沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙 2-10-1	鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町 8-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里 214-4				

#### 一般ご相談窓口

#### シャープ株式会社

東日本相談室	TEL(043)297-4649	FAX(043)299-8280	〒261-8520	千葉県美浜区中瀬 1-9-2
西日本相談室	TEL(06)6621-4649	FAX(06)6792-5993	〒581-8585	八尾市北亀井町 3-1-72

受付時間:月曜日～土曜日 午前9時～午後6時  
日曜日・祝日 午前10時～午後5時  
(12月30日～1月4日は休みです。)

#### シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801	札幌市西区二十四軒 1条 7-3-17
東北支店消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013	東京都北区東田端 2-13-17
中部支店消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721	名古屋市中川区山王 3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
中国支店消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
四国支店消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065	高松市朝日町 6-2-8
九州支店消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081	福岡市博多区井相田 2-12-1

受付時間:月曜日～金曜日 午前9時～午後5時40分  
(土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(01.07)





# 仕様

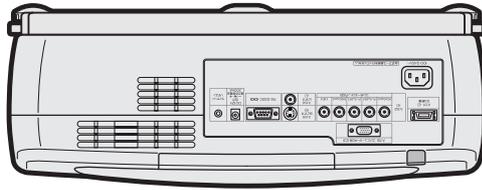
品名	シアタープロジェクター	
形名	XV-Z9000	
表示方式	単板DMD™ カラーホイール色分離方式	
表示パネル	パネルサイズ	0.8 型
	表示方式	高精細ワイドハイビジョンDMD™パネル
	駆動方式	DLP™方式
	画素数	921600 (1280×720) ドット
レンズ	1.35倍手動ズーム・フォーカス F3.0 f=32.5~44.0 mm	
ランプ	250 W NSH	
明るさ	800 ANSIルーメン / 600 ANSIルーメン (2段切換え方式)	
コントラスト比	1100:1	
周辺照度比	95 %以上	
水平解像度	720本 (DTV 750 P 入力時)、520本 (NTSC 入力時)	
投映画像	40~300型	
投映距離 (16:9スクリーン使用時)	40型 (1.6~2.2 m)、100型 (4.0~5.5 m)、300型 (12.2~16.5 m)	
定格電圧	AC 100 V~AC 240 V	
定格周波数	50/60 Hz	
消費電力	345 W (リモコン待機時 0.1 W)	
使用温度範囲	5 ~ 35	
保管温度範囲	-20 ~ 60	
ビデオ入力対応	BSデジタルハイビジョン放送対応 (525i/525p/750p/1125i) NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM	
コンピュータ対応	解像度	SXGA (1280×1024)、XGA (1024×768) 高品位コンプレッション表示
	接続端子	コンポーネント入力 2系統 (RCA×5、D4端子×1) ビデオ入力 2系統 (S端子×1、RCA×1) コンピュータ入力 1系統 (ミニ D-sub 15ピン) その他の端子 RS-232C端子
リモコン受光部	前面×1、背面×1	
キャビネット	プラスチック	
外形寸法	幅 475 mm、高さ 178 mm、奥行 397 mm (496 mm ターミナルカバー付) (突起部除く)	
質量	約 9.5 kg	
<p>&lt;付属品&gt; ・リモコン ・単3乾電池×2本 ・ターミナルカバー ・レンズキャップ ・電源コード ・CD-ROM ・取扱説明書(本書) ・SharpVision Manager ・保証書</p>		

**お願い** ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

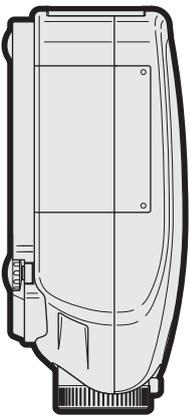


# 寸法図

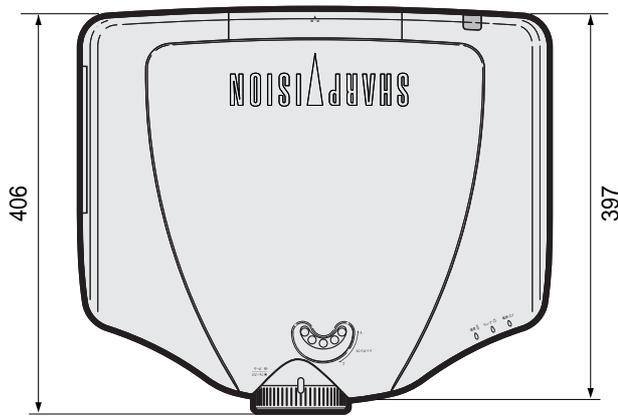
背面



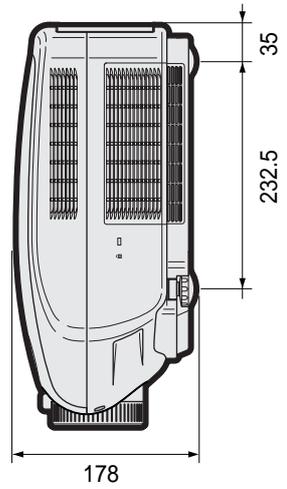
左側面



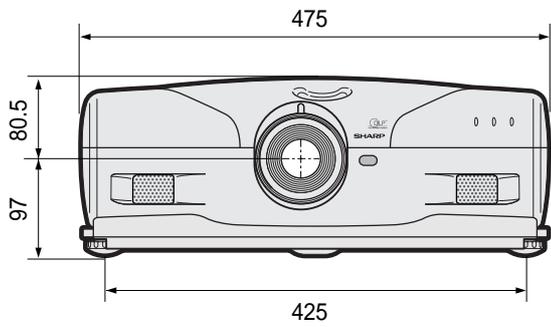
上面



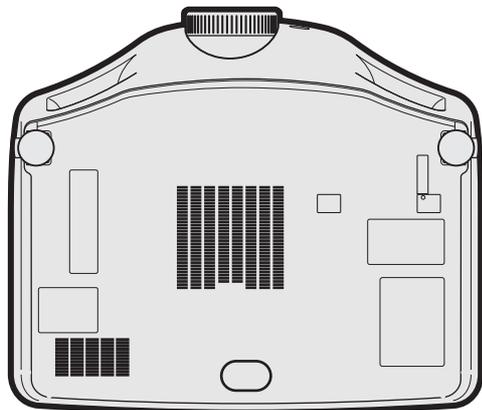
右側面



前面



裏面



単位：mm

仕様

正しくお使いいただくために





# 用語集

## D 端子制御

D端子からの入力信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、モード切換を自動的に最適なモードに切換えます。

## PDF

ポータブルドキュメントフォーマット。CD-ROM からテキストや映像を伝送するために使用されるドキュメンテーションフォーマットです。

## RS-232C

コンピュータからプロジェクターを制御するときに使用する端子です。

## 位相調整

コンピュータ入力時、画面の横方向に出るノイズを低減するための調整です。

## 一覧表示

各調整項目の設定内容を表示します。

## クロック調整

コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

## シアターモード

投射する部屋の明るさに合わせて画像の明るさを「標準」または「ブライト」の2段階に切換えることができます。

## 字幕調整

映画など字幕の付いた映像を投射したとき、スクリーンから字幕がはみ出したときなど、スクリーン内に納まるように縦方向の圧縮率を調整することができる機能です。

## 自動同期調整

コンピュータの画像を最良な状態で投射する機能です。

## スクイーズ(フル)

4:3の画面を均一に左右に引き伸ばして、ワイド画面で表示するモードです。

## ズーム

4:3レターボックスの映像を投射したとき、上下の黒帯をカットし、ワイド画面で表示するモードです。

## 縦横比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

## 台形補正

プロジェクターの映像を投射したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

## ドットバイドット

映像を元の解像度で投射するモードです。

## プログレッシブモード

プログレッシブ変換のモードを選択できます。2D プログレッシブ、3D プログレッシブ、フィルムから選択できます。

## 無信号時画面

信号が入力されていないときに投射される初期設定映像です。

## レンズシフト

スクリーンの位置に合わせて、投射角度が調整できます。

## ワイド

4:3の画面を、画面の中心部付近の縦横比を維持しながら、画面の左右だけを引き伸ばして、ワイド画面で表示するモードです。





# 索引

## 記号英数

3次元 DNR	68
◆ ボタン	13, 15, 36, 41
Acrobat Reader4.0J	4
D端子制御	70
OSD表示	66
PDF取扱説明書	4
RGB入力	85
RS-232C	30, 81
Sharp Vision Manager (SVM)	4

## ア行

アジャスター	20
アジャスターリリースボタン	20
色温度調整ボタン	15, 34
映像左右/上下反転機能	60
映像調整	42, 47
お客様ご相談窓口のご案内	94
オプション	39
温度モニターお知らせ表示	12, 90

## カ行

乾電池	17
ガンマボタン	15, 62
クロック	48
決定ボタン	13, 15, 36, 41
言語選択	39, 76

## サ行

色差入力	26, 43
自動電源オフ	65
シアターモードボタン	15, 34
省電力モード	64
自動同期ボタン	15, 50
字幕調整	69
スクイーズ(フル)	63
ズーム	63
ズーム(レバー)	35
垂直位置	48
水平位相	48
水平位置	48
スクリーンの設置	21

## タ行

ターミナルカバー	16
台形補正ボタン	15, 36
調整内容一覧	77
天吊り	60
電源ソケット	14, 24
電源表示	12, 32
電源入ボタン	13, 15, 32
電源切ボタン	13, 15, 33

投射距離	22
投射方式	60
同期調整	48 ~ 51
ドットバイドット	63

## ナ行

入力切換(入力1, 2, 3, 4, 5)ボタン	13, 15, 33
入力モード	33

## ハ行

バックライトボタン	15, 18
標準	63, 66
フィルター	88, 89
フォーカス(ピント調整)	35
付属品	5, 96
ブルーバック	72
フロント	60
プログレッシブモード	46

## マ行

無信号時表示画面	72
メニュー表示内容一覧	37, 38
メニューボタン	13, 15, 40
モード切換ボタン	15, 63
戻すボタン	15, 62

## ラ行

ランプ	78, 91
リア	60
リモコン	15, 17
レンズキャップ	16
レンズシフトダイヤル	12, 35
レンズ調整	35

## ワ行

ワイド	63
ワイヤードリモコン	84
ワイヤードリモコン端子	15, 18



お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

この製品についてのご意見・ご質問  
「一般ご相談窓口」へお申し付けください。

**東日本相談室**

☎(043)297-4649

FAX(043)299-8280

〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2

**西日本相談室**

☎(06)6621-4649

FAX(06)6792-5993

〒581-8585 八尾市北亀井町3丁目1番72号

受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後6時  
日曜日・祝日 午前10時～午後5時  
(12月30日～1月4日は休みます。)

その他の地域にお住まいのかたは、「お客様ご相談窓口のご案内」の「一般ご相談窓口(95ページ)へお申し付けください。

製品の故障や部品のご購入などの相談  
「修理ご相談窓口」へお申し付けください。  
(くわしくは、94・95ページをご覧ください。)

修理サービスを依頼される前に、92ページの「故障かな?と  
思ったら」をもう一度お読みください。

# シャープ株式会社

本	社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号
			電話 06(6621)1221 (大代表)
AVシステム事業本部		〒329-2193	栃木県矢板市早川町174番地
			電話 0287(43)1131 (大代表)